

運動・スポーツに関する市民意識調査

報 告 書

平成 27 年 1 月

松阪市教育委員会 スポーツ振興課

目 次

．調査概要	1
1．調査目的	1
2．調査設計	1
3．調査内容	1
4．回収結果	2
5．報告書の見方	2
．回答者の属性	4
．調査結果の分析	6
1．健康状態について【問1・問2】	6
2．スポーツ活動の状況について	10
2 - 1 運動・スポーツに対する関心度【問3】	10
2 - 2 運動・スポーツの実施状況【問4】	12
2 - 3 運動・スポーツの実施頻度【問5】	14
2 - 4 運動・スポーツを行う主な目的【問6】	16
2 - 5 運動・スポーツを行う主な相手【問7】	18
2 - 6 運動・スポーツを行わない理由【問8】	20
2 - 7 今後、運動・スポーツを行うための条件【問9】	22
2 - 8 今後、行いたい主な運動・スポーツと主な目的 【問10・問11】	24
3．公共スポーツ施設について	28
3 - 1 公共スポーツ施設の利用状況【問12】	28
3 - 2 公共スポーツ施設に対する満足度【問13】	30
3 - 3 松阪市体育施設予約システムの認知度【問14】	32
3 - 4 公共スポーツ施設で充実させる点【問15】	33
3 - 5 今後、整備すべきスポーツ施設【問16】	35
4．クラブや同好会、教室について	38
4 - 1 総合型地域スポーツクラブの認知度【問17】	38
4 - 2 クラブや同好会、教室などの加入状況【問18】	40
4 - 3 今後、クラブや同好会、教室などへの加入意向 【問19】	44
5．学校体育施設について	48
5 - 1 学校体育施設の利用状況【問20】	48
5 - 2 学校体育施設利用に対する意向【問21】	50

6 . スポーツ推進委員について	51
6 - 1 スポーツ推進委員についての認知度【問 22】	51
6 - 2 今後のスポーツ推進委員の活動【問 23】	52
7 . スポーツボランティアについて	53
7 - 1 スポーツボランティア活動参加の有無【問 24】	53
7 - 2 今後、スポーツボランティア活動参加の意向 【問 25】	54
8 . 障がい者スポーツについて	58
8 - 1 障がい者スポーツに対する関心度【問 26】	58
8 - 2 障がい者スポーツ普及・振興に重要な点【問 27】	60
9 . 今後のスポーツ振興のために必要な施策について	61
9 - 1 今後、松阪市がめざすスポーツ【問 28】	61
9 - 2 今後、スポーツ振興のために取り組むべき施策 【問 29】	63
10 . 現在のスポーツ行政に対する評価について	65
10 - 1 現在の松阪市のスポーツ政策に対する満足度 【問 30】	65
11 . 自由意見	67
12 . 分析とりまとめ	68
資 料	
運動・スポーツに関する市民意識調査票	83

・調査概要

1. 調査目的

松阪市では、より多くの皆様にスポーツに親しんでいただくために、市として目指していくスポーツ振興に関する計画の策定に向け取り組みを進めています。今回、この計画を策定するにあたり、市民の皆様の運動・スポーツの実施状況、運動・スポーツに対する意識やお考えなどを把握し、計画策定にあたっての基礎資料とすることを目的としています。

2. 調査設計

調査地域	松阪市全域
調査対象	松阪市に在住する 16 歳以上の男女
標本数	3,000 人
抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出
配布方法	郵送配布、郵送回収
調査時期	平成 26 年 9 月 1 日～9 月 30 日

3. 調査内容

調査内容は、下記に示す 10 項目で調査しました。

- (1) 回答者の健康状態について
- (2) スポーツ活動の状況について
- (3) 公共スポーツ施設について
- (4) クラブや同好会、教室について
- (5) 学校体育施設について
- (6) スポーツ推進委員について
- (7) スポーツボランティアについて
- (8) 障がい者スポーツについて
- (9) 今後のスポーツ振興のために必要な施策について
- (10) 現在のスポーツ行政に対する評価

調査の概要

4. 回収結果

今回の調査では有効回収率は43.0%となっています。

項目	回収状況
配布数	3,000 票
回収数	1,291 (43.0%)
有効回収数	1,291 (43.0%)

() 有効回収数は回収数から無効票数を除いた数。

なお、無効票は白票(すべての回答で全く記入が無いもの)とし、回収は11月15日到着分までを有効とする。

5. 報告書の見方

- ・グラフに表示されているn値とは、標本数のことを示しています。
- ・集計結果の%表示は、小数点以下第2位を四捨五入してありますので、内訳の合計がちょうど100.0%にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問の場合、構成比算出の母数は回答者数(票数)とし、その項目を選び印をつけた人が全体から見て何%なのかという見方をしています。そのため、各項目の比率の合計が100%以上になります。
- ・設問内容および回答の選択肢は文意に留意しながら簡略化しています。
- ・標本誤差については、下記の算出式(概算)より算出してみます。ただし、信頼度を95%とします。

ここで、信頼度95%とは、その標本が100回に5回がその標本誤差の範囲内におさまらないという意味です。通常のアンケート調査では信頼度95%として調査設計されることが多くなっています。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{n}}$$

n = 標本数 (1,291 票)

P = 回答比率 (%)

(注) Pは回答比率で、各設問で回答された構成比(%)です。

今回のアンケート調査では、各回答比率別の標本誤差は以下のとおりとなります。

標本数	回答比率(%)				
	10% or 90%	20% or 80%	30% or 70%	40% or 60%	50%
1,291 票	± 1.7	± 2.2	± 2.6	± 2.7	± 2.8

これは、ある設問において「はい」という回答の割合が50%であれば、16歳以上の松阪市民に同じ質問をしても、統計学的には「はい」という回答の割合は、95%の確率で47.2%(=50%-2.8%)~52.8%(=50%+2.8%)の範囲内にあることを示しています。

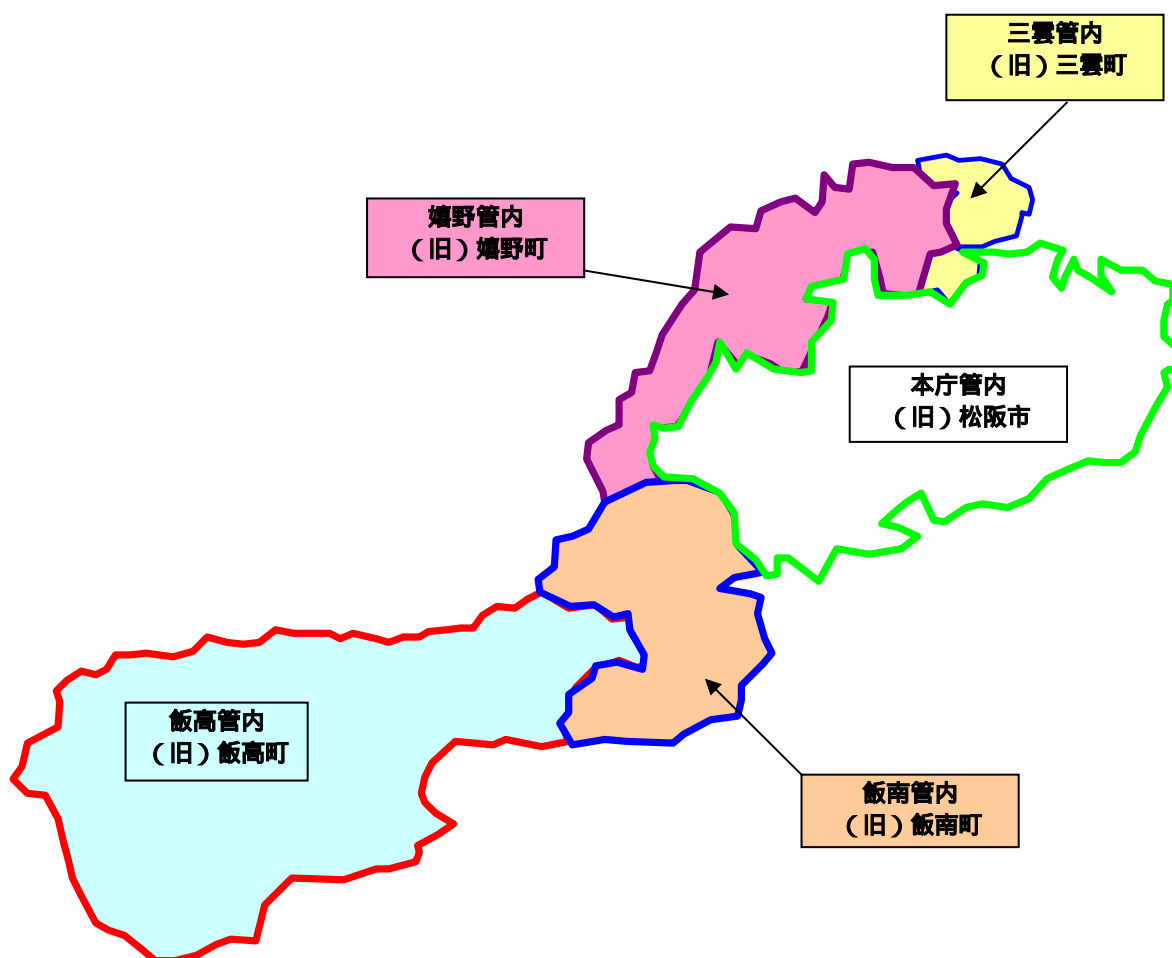
参考

- 居住地区 -

本調査では、地区別に集計するにあたっては、下記のように 5 つの地域に分けて行っています。

本庁管内	：	旧松阪市	飯南管内	：	旧飯南町
嬉野管内	：	旧嬉野町	飯高管内	：	旧飯高町
三雲管内	：	旧三雲町			

() 5 つの地域は、本市が平成 17 年 1 月に合併前の旧松阪市、旧嬉野町、旧三雲町、旧飯南町、旧飯高町となっています。

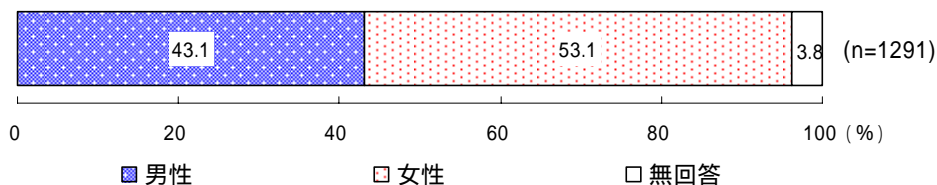


・回答者の特性

・回答者の属性

1. 性別

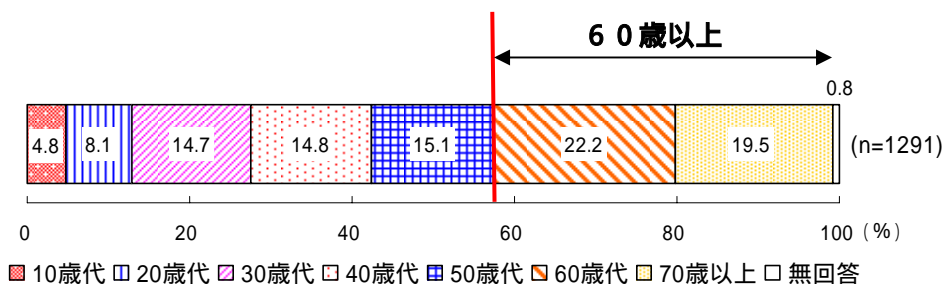
** 女性が5割強、男性は4割強 **



「男性」の割合が43.1%、「女性」の割合が53.1%となっています。

2. 年齢

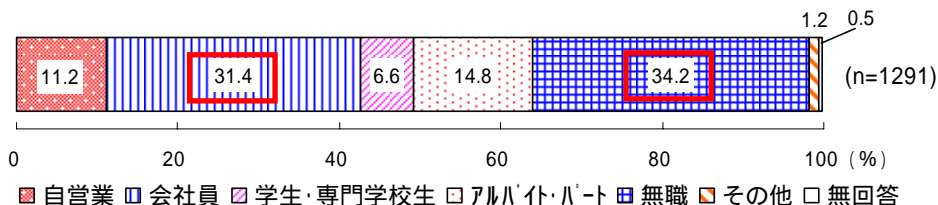
** 60歳以上が4割強を占める **



「60歳代」の割合が22.2%で最も高く、次いで「70歳以上」の割合が19.5%で合わせて、60歳以上の高齢者の割合が4割を超えています。

3. 職業

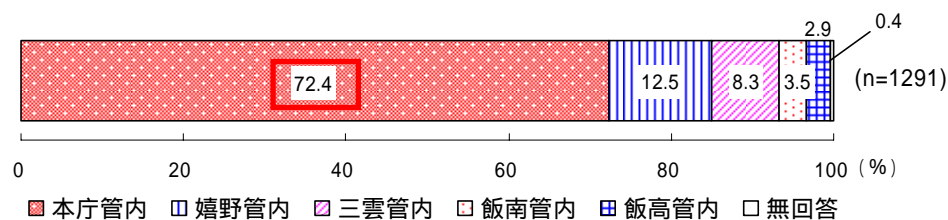
** 無職、会社員がそれぞれ3割強を占める **



「無職（家事従事者等を含む）」の割合が34.2%で最も高く、次いで「会社員（公務員等を含む）」31.4%、「アルバイト・パート」14.8%、自営業（農林業従事者等を含む）11.2%、「学生・専門学校生」6.6%の順となっています。

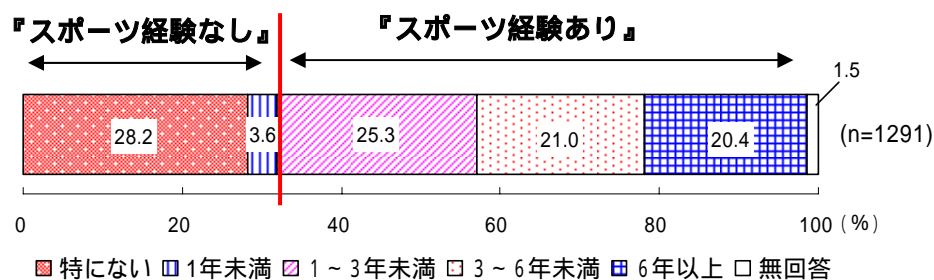
4 . 居住地

** 本庁管内が7割強を占める **



「本庁管内」の割合が72.4%で7割を超えています。次いで「嬉野管内」12.5%、「三雲管内」8.3%、「飯南管内」3.5%、「飯高管内」2.9%の順となっています。

5 . 学生時代のスポーツ経験年数



学生時代のスポーツ経験年数では、「特にない」の割合が28.2%で最も高く、次いで「1~3年未満」25.3%、「3~6年未満」21.0%、「6年以上」20.4%、「1年未満」3.6%の順となっています。

学生時代に、ほとんどスポーツ経験が無い人は3割程度となっており7割弱の人がスポーツ経験があると答えています。

・調査結果の分析

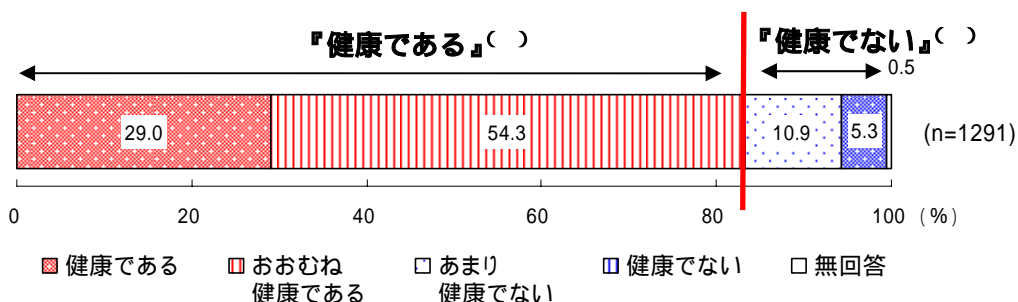
・調査結果の分析

1. 健康状態について

(1) 健康状態【問1】

問1. あなたはご自身の健康状態をどのように感じていますか。()は1つだけ)

『健康である』()が8割強、『健康でない』()は2割弱



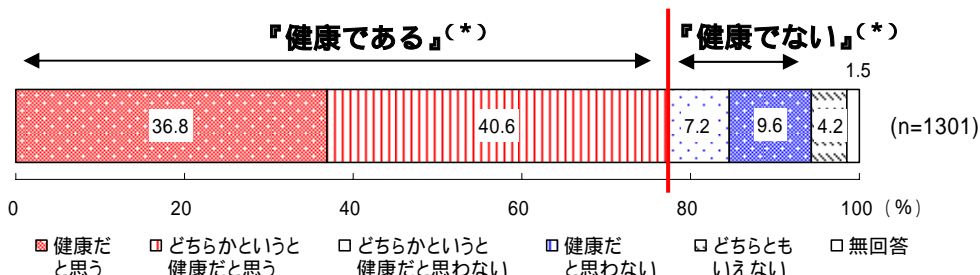
()『健康である』は「健康である」+「おおむね健康である」。
 『健康でない』は「あまり健康でない」+「健康でない」。

「おおむね健康である」の割合が54.3%で最も高く、次いで「健康である」29.0%で、合わせて8割強の人が『健康である』()と答えています。反対に、「あまり健康でない」の割合は10.9%、「健康でない」5.3%で合わせて『健康でない』()と思っている人は2割弱となっています。

参考

市民幸せ調査結果(平成24年度)より

『健康である』(*)が8割弱、『健康でない』(*)は2割弱

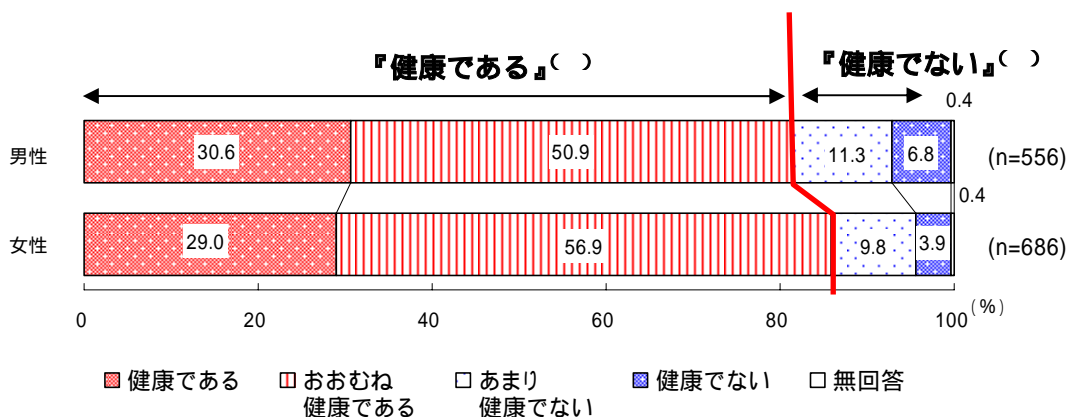


(*)『健康である』は「健康だと思ふ」+「どちらかという健康だと思ふ」。
 『健康でない』は「どちらかという健康だと思わない」+「健康だと思わない」。

資料：市民幸せ調査報告書(平成24年度)

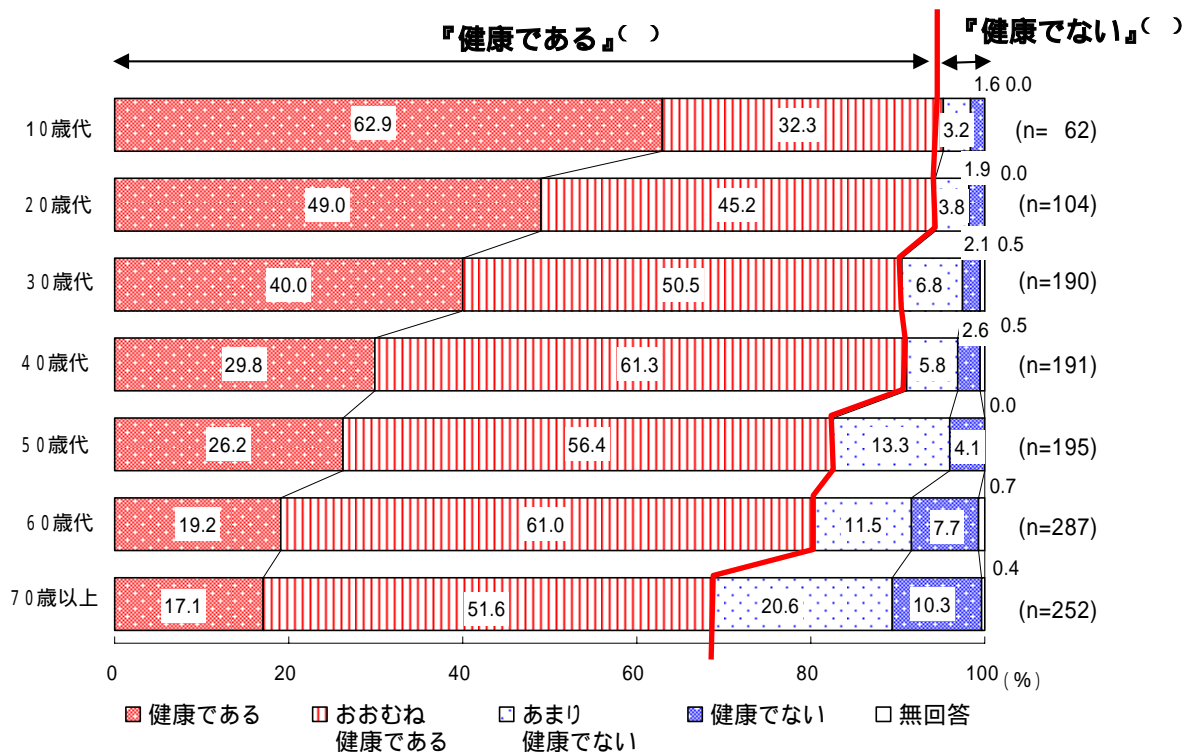
・『健康である』(*)と答えた人の割合は8割弱で、『健康でない』(*)は2割弱とあり、本調査結果と同様な結果となっています。なお、同調査では「どちらともいえない(4.2%)」があり、若干異なっています。

女性の方が男性よりも若干『健康である』()が高い



年齢別にみると、女性の方が男性よりも若干『健康である』と考えています。

若い人の方が『健康である』()が高い
年齢層が高くなるにつれて『健康でない』()が高い



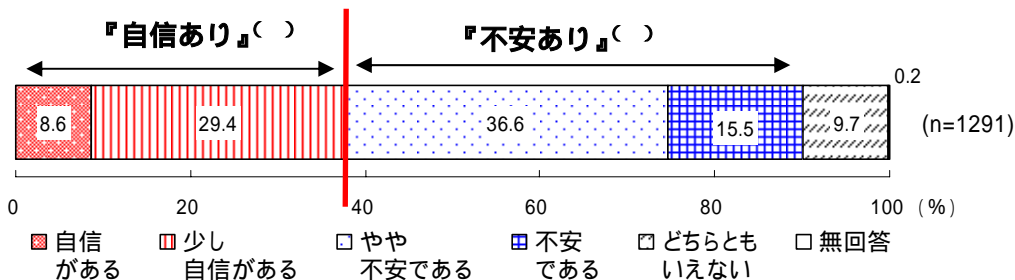
年齢別にみると、若い人の方が『健康である』と考えています。年齢が高くなるにつれて『健康でない』と考えている人の割合が高くなっています

・調査結果の分析

(2) 体力に対する自信【問2】

問2 . あなたはご自身の体力についてどのように思いますか。(は1つだけ)

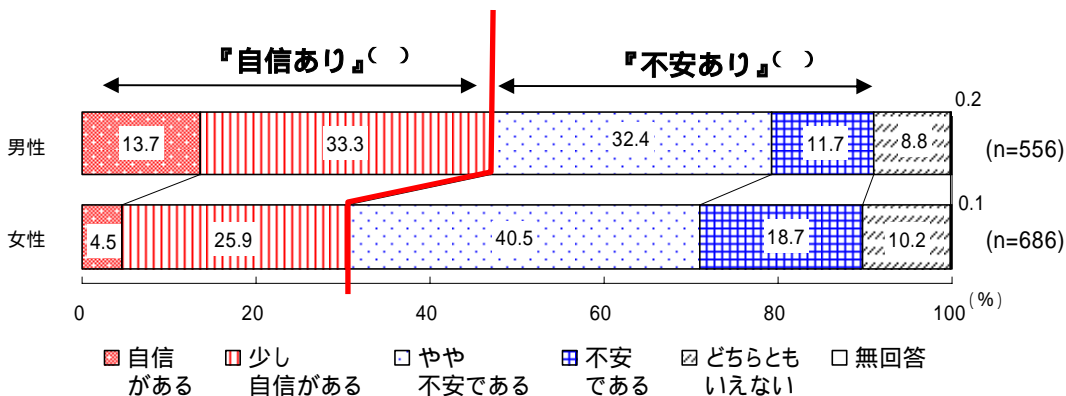
『自信あり』()が4割弱、『不安あり』()は5割を超える



()『自信あり』は「自信がある」+「少し自信がある」
 『不安あり』は「やや不安である」+「不安である」

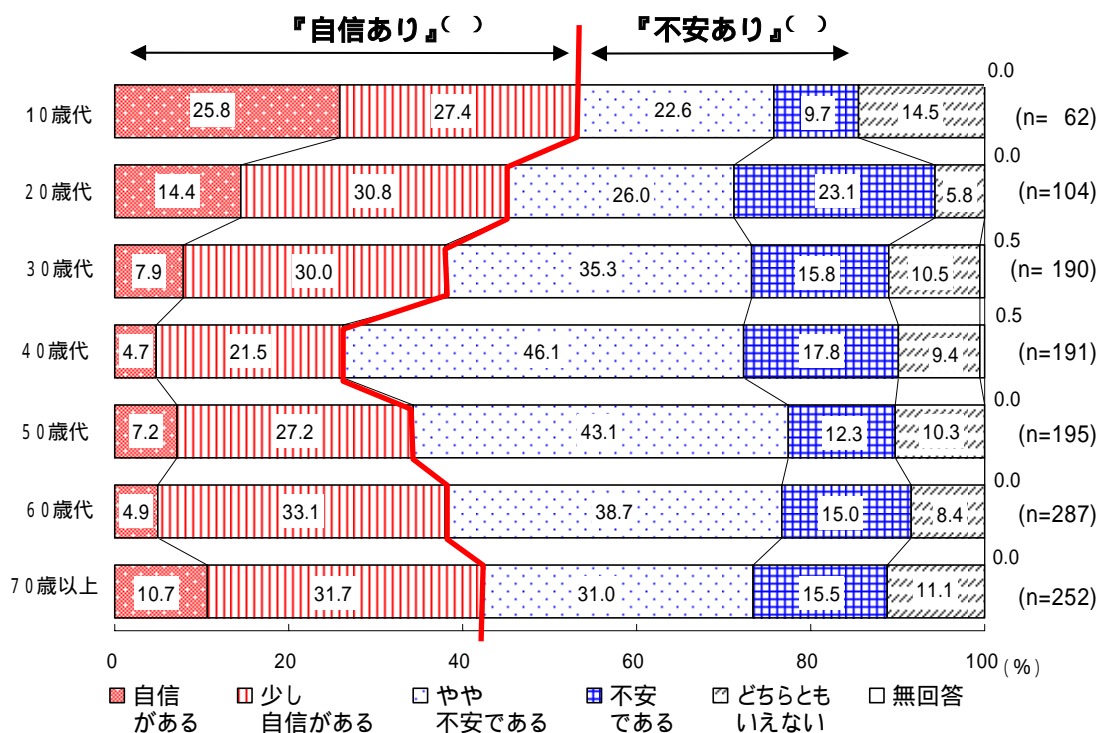
「やや不安である」の割合が 36.6%で最も高く、次いで「少し自信がある」29.4%、「不安である」15.5%、「どちらともいえない」9.7%、「自信がある」8.6%の順となっています。『不安あり』()と考えている人が5割を超え、『自信あり』()と考えている人を4割弱となっており、体力に『不安あり』と考えているの方が『自信あり』とを考えている人を上回っています。

女性の方が男性よりも体力に『不安あり』



男女別にみると、女性の方が男性よりも体力に『不安あり』とと考えている人の割合が高くなっています。

40歳代で『不安あり』の割合が最も高い
10歳代で『自信あり』の割合が最も高い



各年齢別にみると、40歳代では他の年齢層よりも『自信あり』の割合が最も低く、『不安あり』の割合が最も高くなっています。

反対に、10歳代では『自信あり』の割合が最も高く、『不安あり』の割合が最も低くなっています。『自信あり』の割合は、40歳代までは減少し、それ以降は増加しており、V字形に変化していることがうかがわれます。

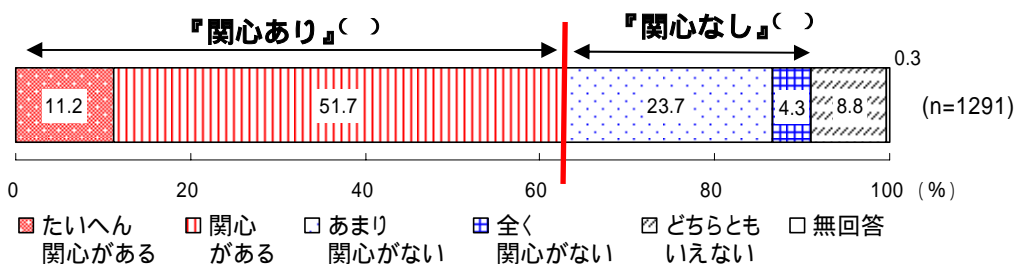
・調査結果の分析

2 . スポーツ活動の状況について

2 - 1 運動・スポーツに対する関心度【問3】

問3 . あなたは、運動・スポーツに関心がありますか。() は1つだけ)

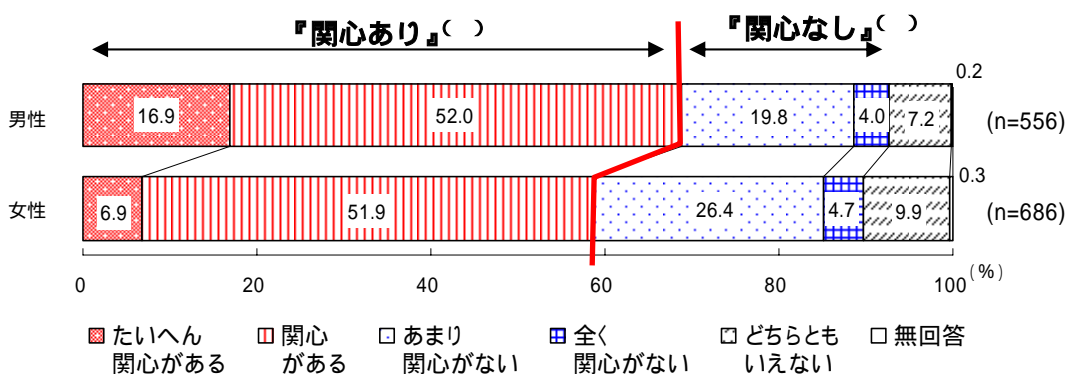
『関心あり』() が6割強、『関心なし』() は3割弱



() 『関心あり』は「たいへん関心がある」+「関心がある」。
 『関心なし』は「あまり関心がない」+「全く関心がない」。

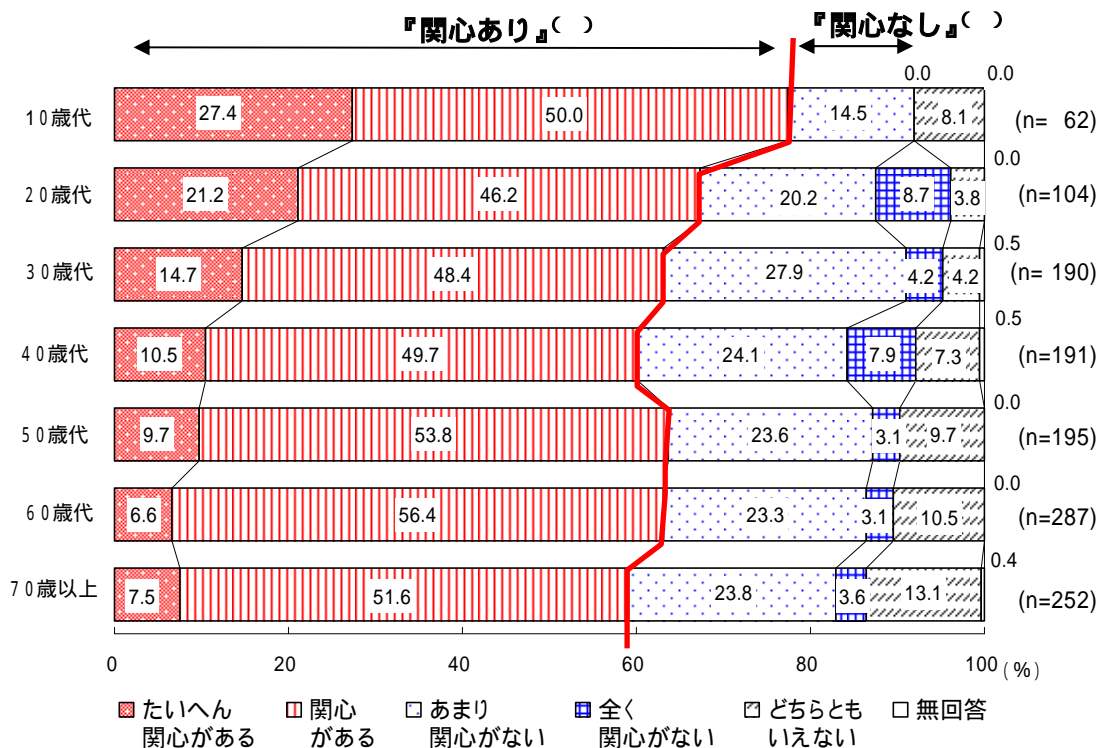
「関心がある」の割合が51.7%で最も高く、次いで「あまり関心がない」23.7%、「たいへん関心がある」11.2%、「どちらともいえない」8.8%、「全く関心がない」4.3%の順となっています。「関心がある」と「たいへん関心がある」を合わせると6割強の人が『関心あり』()と答えています。反対に、「あまり関心がない」と「全く関心がない」を合わせると『関心なし』()とと思っている人は3割弱となっています。

男性の方が女性よりも『関心あり』()の割合が高い



男女別にみると、男性の方が女性よりも『関心あり』の割合が高くなっています。

10歳代、20歳代の若い人の方が『関心あり』()の割合が高い



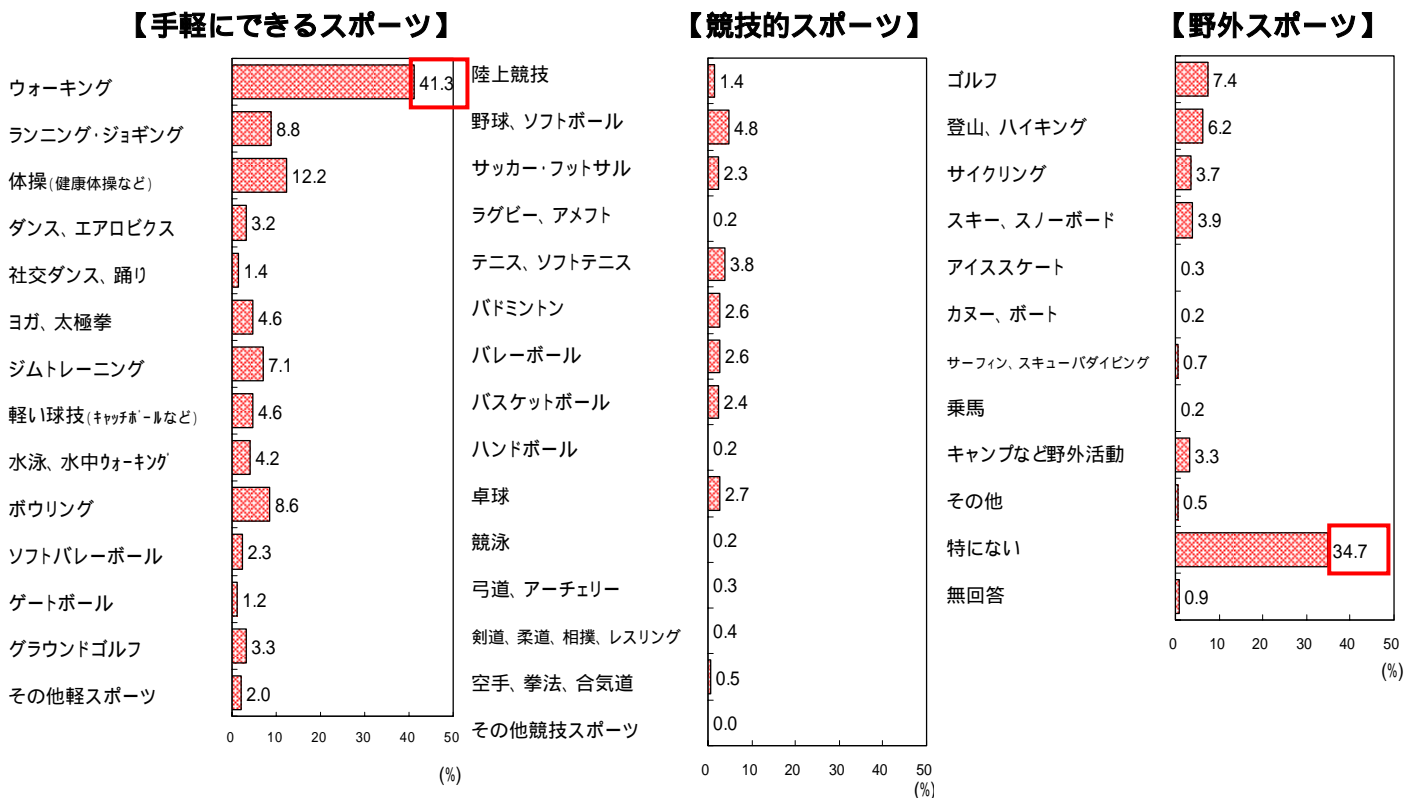
年齢別にみると、10歳代では『関心あり』の割合が最も高くなっており、次いで20歳代となっています。特に「たいへん関心がある」と答えた人は若い年齢層の方が高くなっています。

・調査結果の分析

2 - 2 運動・スポーツの実施状況【問4】

問4 . この1年間で、下記に示すような運動やスポーツを行っていますか。
 行った運動やスポーツのあてはまる番号に、すべて 印をつけてください。(はいくつでも)
 運動やスポーツを行っていない人は、「特にない」に 印をつけてください。
 学生の場合は、通っている学校の体育授業は除いて、お答えください。

「ウォーキング(散歩含む)」が4割強、「体操(健康体操など)」は1割強
 運動・スポーツを行っていない人は3割強



この1年間で行った運動・スポーツでは、「ウォーキング(散歩含む)」が41.3%で最も高く、4割強となっています。次いで、「体操(健康体操・美容体操など)」12.2%、「ランニング、ジョギング」8.8%、「ボウリング」8.6%の順となっており、実施している運動・スポーツ種目は多岐にわたっていることが見てとれます。

また、「特にない」と答えた人は34.7%となっており、この1年間で特に運動・スポーツを行っていない人は3割強となっています。

「ウォーキング（散歩含む）」が男女ともに最も高い
 ウォーキング以外では男女間で若干違いが見られる
 ランニング・ジョギング、ゴルフなどは男性が高い
 体操、ヨガ・太極拳などは女性が高い

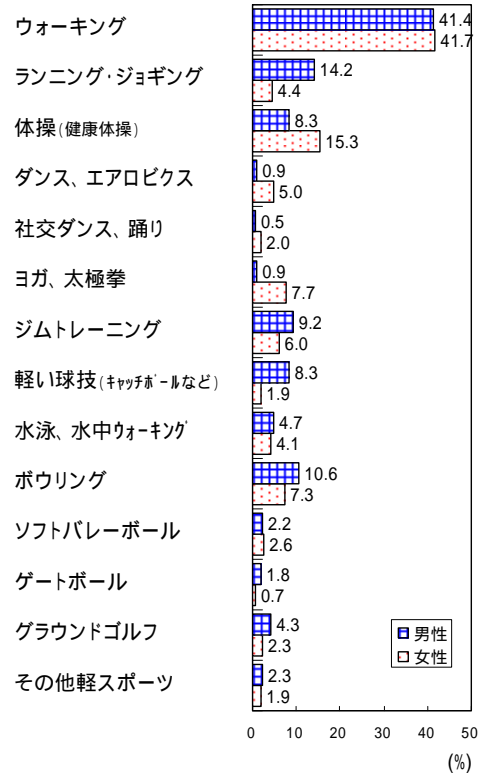
男女別にみると、「ウォーキング（散歩含む）」は男女ともに最も高く、4割を超えています。

次いで、男性では「ランニング・ジョギング」、「ゴルフ」、「ボウリング」の順となっており、一方、女性では「体操（健康体操・美容体操など）」で、それぞれ1割を超えています。

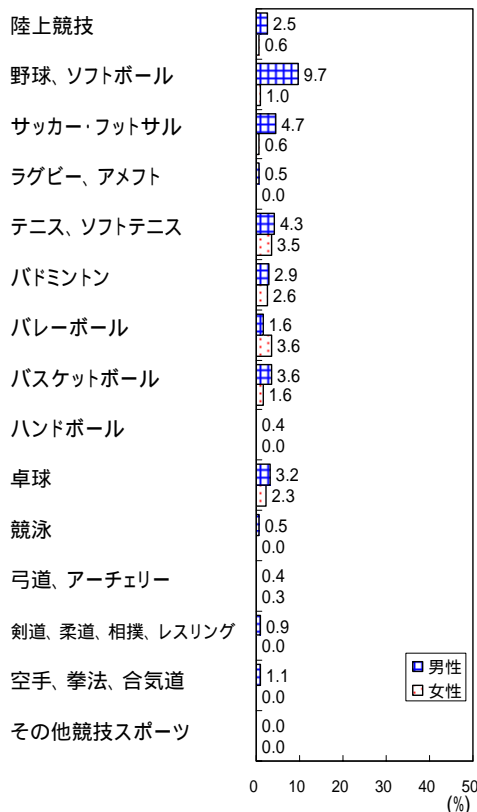
「ウォーキング（散歩含む）」を除けば、男女間で行っているスポーツ種目に若干違いが見られます。

また、運動・スポーツを行っていない人の割合は、女性の方が男性よりも高くなっています。

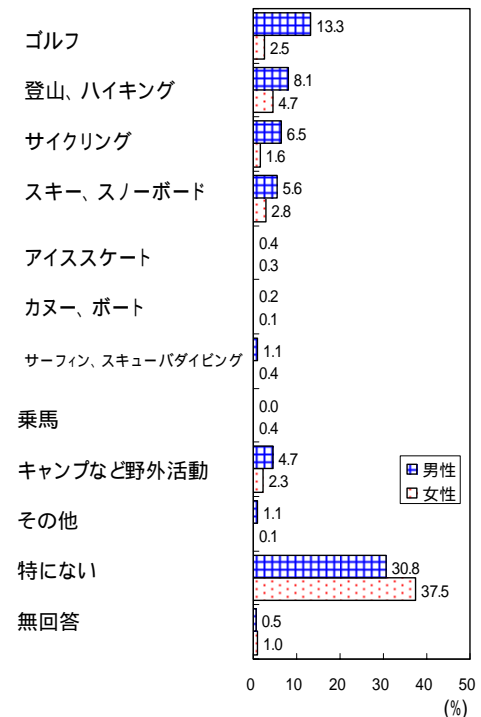
【手軽にできるスポーツ】



【競技的スポーツ】



【野外スポーツ】



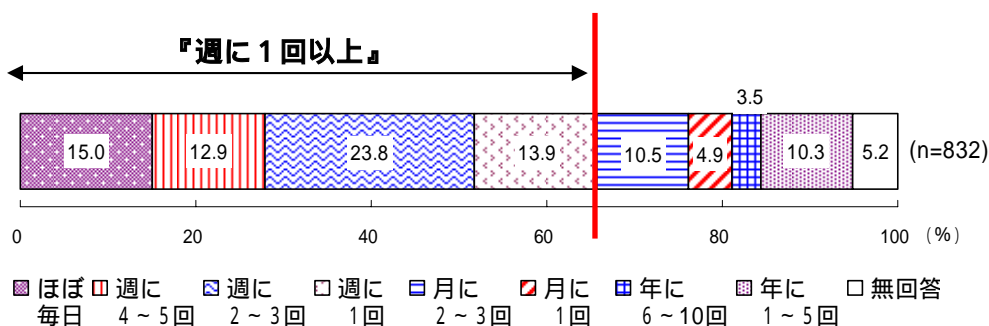
・調査結果の分析

2 - 3 運動・スポーツの実施頻度【問5】

問5 .あなたは普段、問4であげられるような運動・スポーツを、どの程度行っていますか。
 いろいろなスポーツを行っている人は、トータルで(合わせて)お答えください。
 (は1つだけ)
 学生の場合は、通っている学校の体育授業は除いて、お答えください

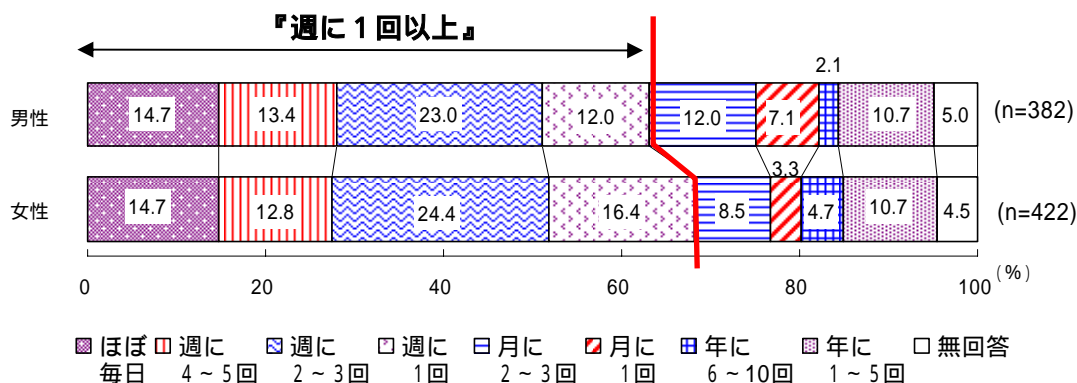
〈この1年間で運動・スポーツを行っている人に対して〉

『週に1回以上』行っている人が7割弱



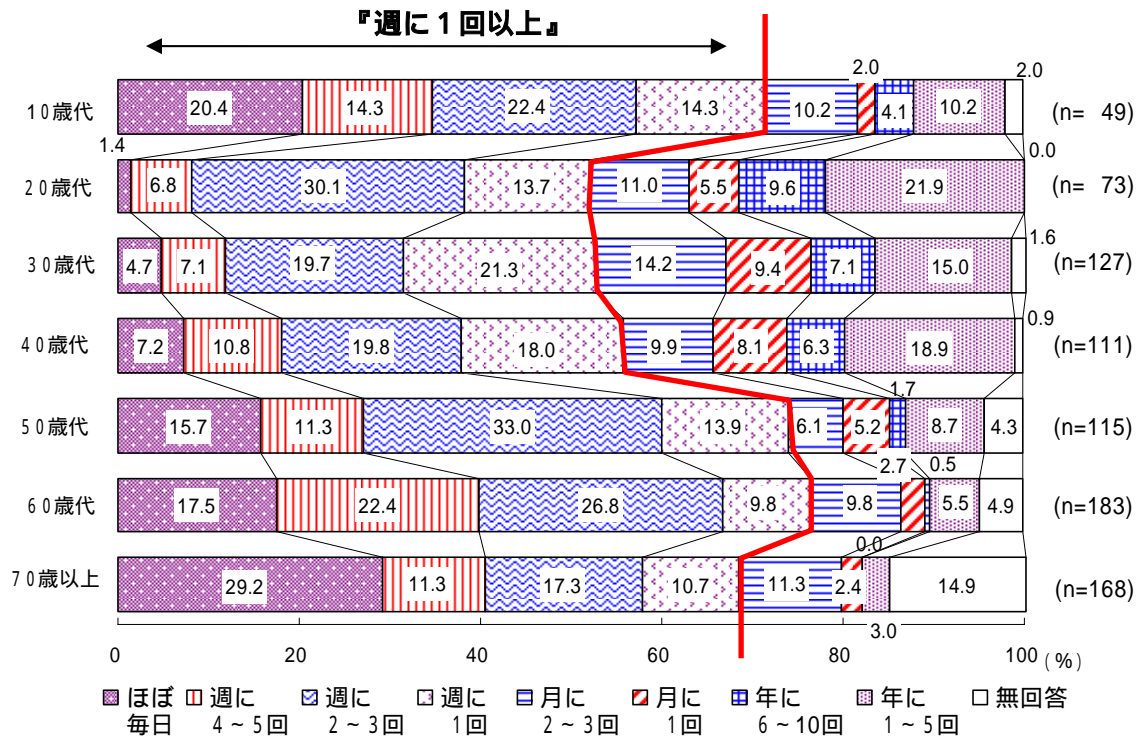
この1年間で運動やスポーツを行っている人に対して、実施している頻度を聞いたところ、「週に2~3回」が23.8%で最も高く、次いで「ほぼ毎日」15.0%、「週に1回」13.9%、「週に4~5回」12.9%で、週に1回以上、日常のおよび継続的に実施している人は7割弱となっています。さらに、「月に2~3回」10.5%、「年に1~5回」10.3%の順となっています。

女性の方が男性よりも『週に1回以上』行っている人の割合は高い



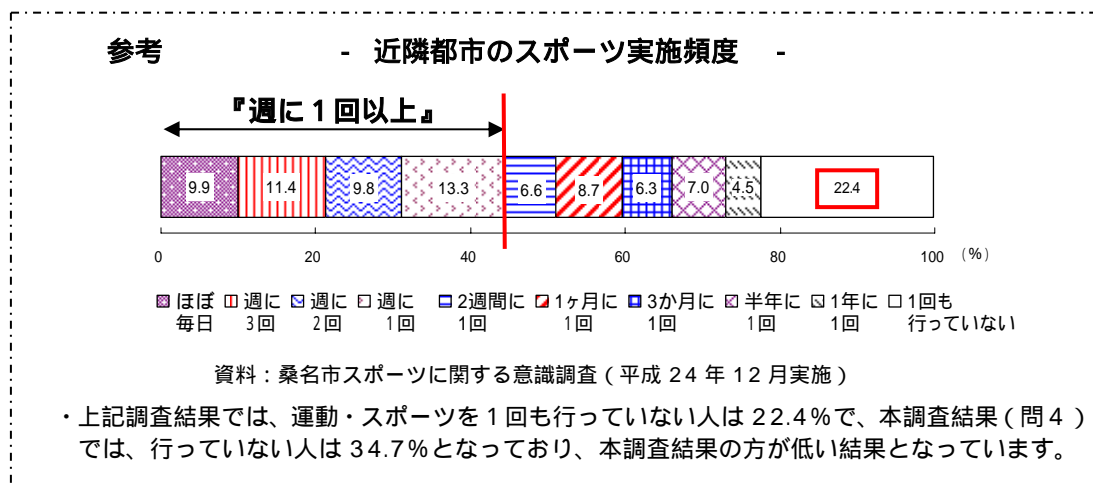
男女別にみると、日常のおよび継続的に週に1回以上実施している人の割合は、女性の方が男性よりも高くなっています

『週に1回以上』行っている人の割合は、60歳代で最も高く、次いで、50歳代で高い。最も低いのは20歳代



年齢別にみると、週1回以上行っている人の割合が最も高い年齢層は60歳代で、次いで50歳代となっています。反対にもっとも低い年齢層は20歳代となっています。

以上により、運動・スポーツを行っている人は、日常的に継続的に実施している人の割合が比較的高く、女性の方が男性よりも行っている人の割合が高くなっています。さらに、50歳代、60歳代の年齢層が高い年代では、健康面などを考慮して日常的に行っている人の割合が高くなっています。



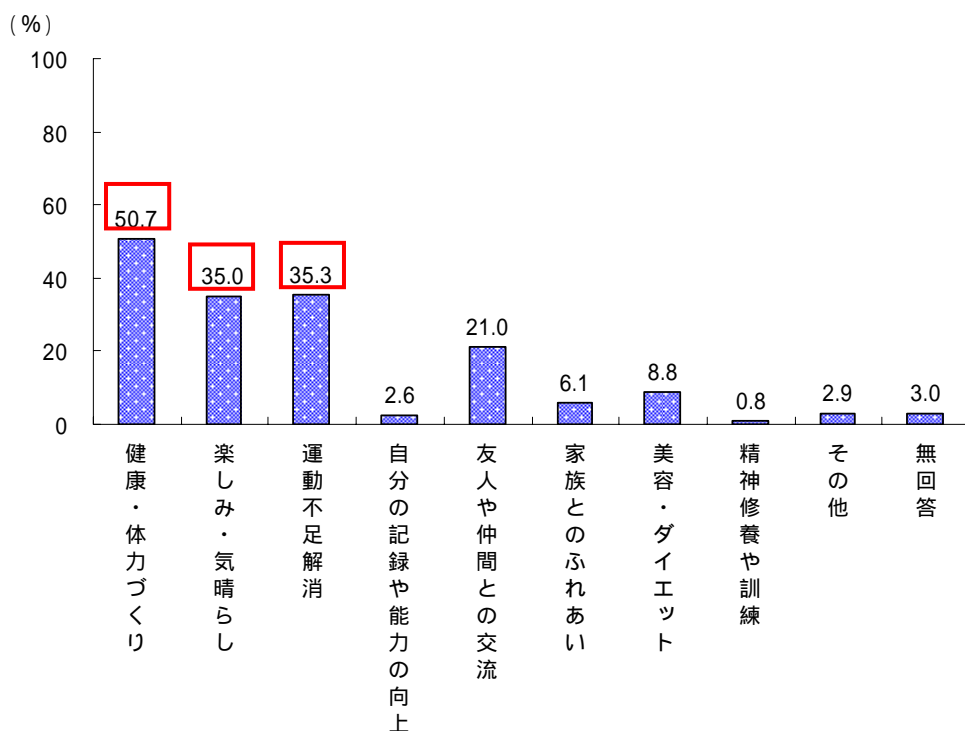
・調査結果の分析

2 - 4 運動・スポーツを行う主な目的【問6】

問6 . 運動やスポーツを行う主な目的は何ですか。(は2つまで)

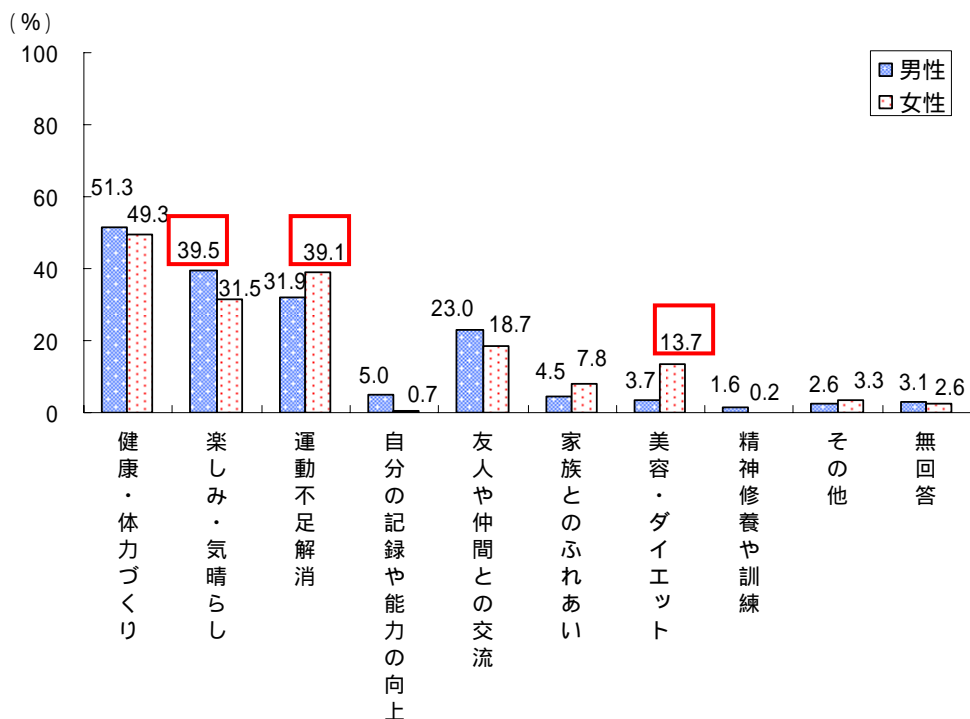
《この1年間で運動・スポーツを行っている人に対して》

「健康・体力づくり」が5割、
「運動不足解消」、「楽しみ・気晴らし」は4割弱



この1年間で、運動やスポーツを行っている主な目的では、「健康・体力づくり」の割合が50.7%で最も高く、次いで「運動不足解消」35.3%、「楽しみ・気晴らし」35.0%の順で3割を超えています。さらに、「友人や仲間との交流」21.0%となっています。

「健康・体力づくり」が男女ともに最も高い
 次いで、男性は「楽しみ・気晴らし」、女性は「運動不足解消」
 ただし、男女間で差が見られるのは「美容・ダイエット」



男女別にみると、男女ともに「健康・体力づくり」が最も高くなっています。次いで、男性では「楽しみ・気晴らし」、「運動不足解消」、女性では「運動不足解消」、「楽しみ・気晴らし」の順となっています。特に「美容・ダイエット」については女性の方が男性よりも高くなっており、男女間で若干差が見られます。

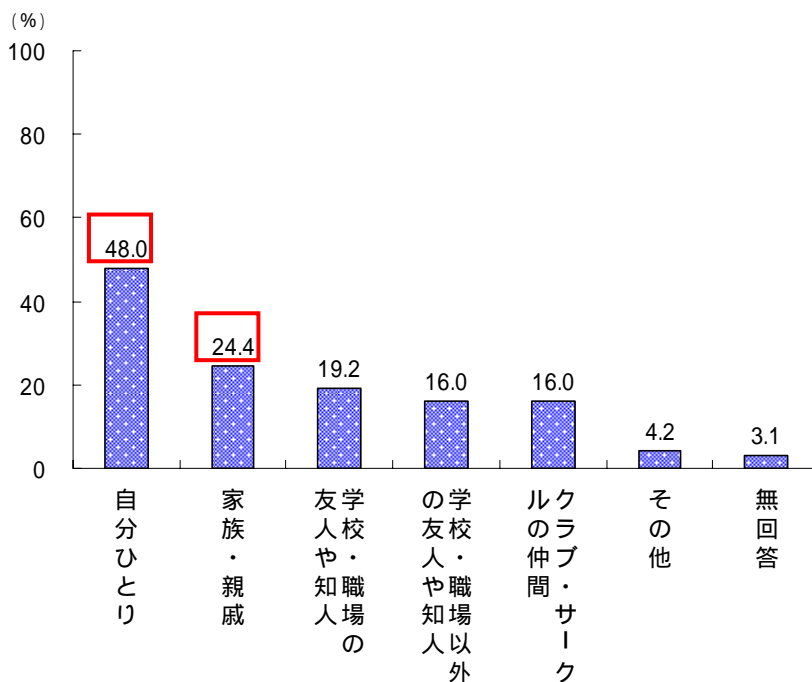
・調査結果の分析

2 - 5 運動・スポーツを行う主な相手【問7】

問7 . あなたは、主に誰と運動・スポーツをしていますか。(は2つまで)

《この1年間で運動・スポーツを行っている人に対して》

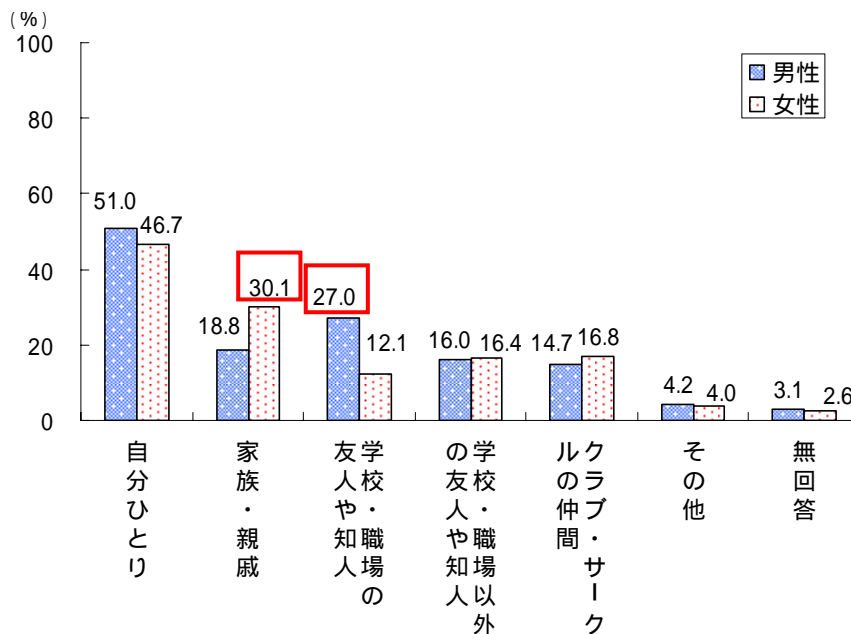
「自分ひとり」が5割弱、「家族・親戚」は2割強



この1年間で、誰と主に運動やスポーツをしているかについてみると、「自分ひとり」の割合が48.0%で最も高く、次いで「家族・親戚」24.4%、「学校・職場の友人や知人」19.2%、「学校・職場以外の友人や知人」16.0%、「クラブ・サークルの仲間」16.0%の順となっています。

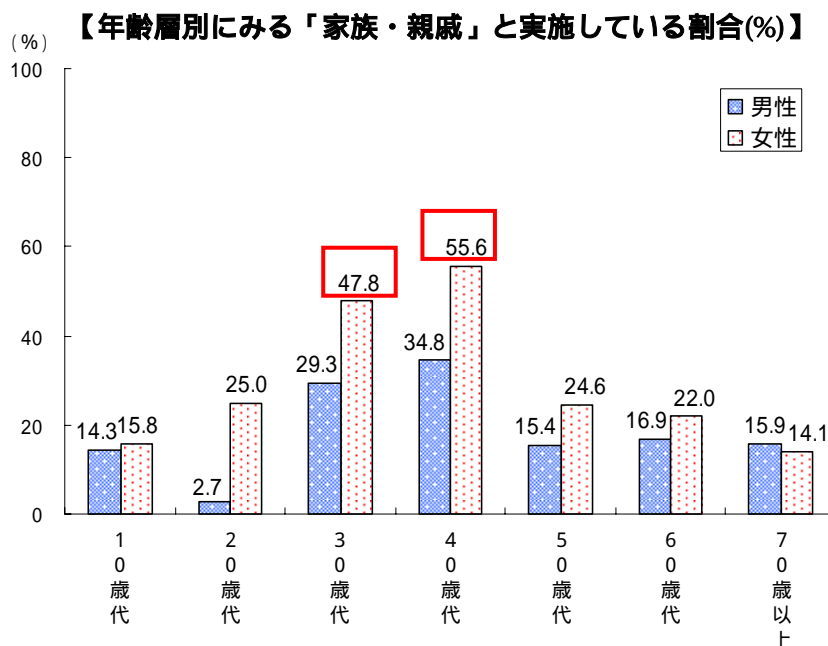
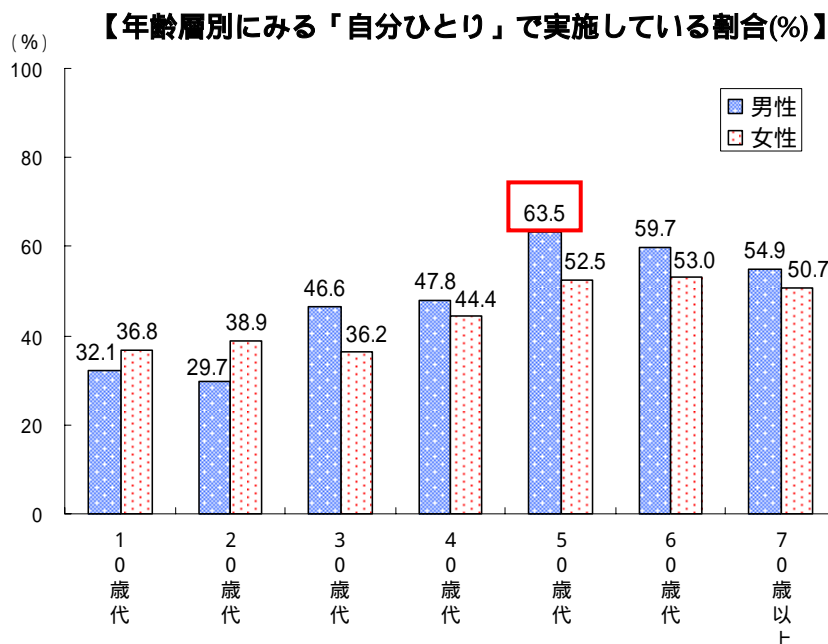
「自分ひとり」が男女ともに最も高い

次いで、女性は「家族・親戚」、男性は「学校・職場の友人や知人」が高い



男女別にみると、男女ともに「自分ひとり」が最も高く、次いで、女性では「家族・親戚」、男性は「学校・職場の友人や知人」が高くなっており、男女間で若干違いが見られます。

ここで、「自分ひとり」および「家族・親戚」と行っている人について、年代別男女別でみると、次のとおりとなっています。なお、「自分ひとり」で行ったり、「家族・親戚」と一緒に行ったりしている人も含まれています。



「自分ひとり」で行っている人は、男女ともに50歳以上の高齢者で高くなっており、50歳代の運動・スポーツを行っている男性の6割強が、「自分ひとり」で実施しています。反対に、若い年齢層では「自分ひとり」で行っている割合は低くなり、誰かと一緒にスポーツ・運動をしていることがうかがわれます。

「家族・親戚」と行っている人は、女性の40歳代、30歳代では、他の年齢層と比較して大幅に高くなっており、子どもを中心とした家族でレクリエーション・スポーツを行っていることが考えられます。

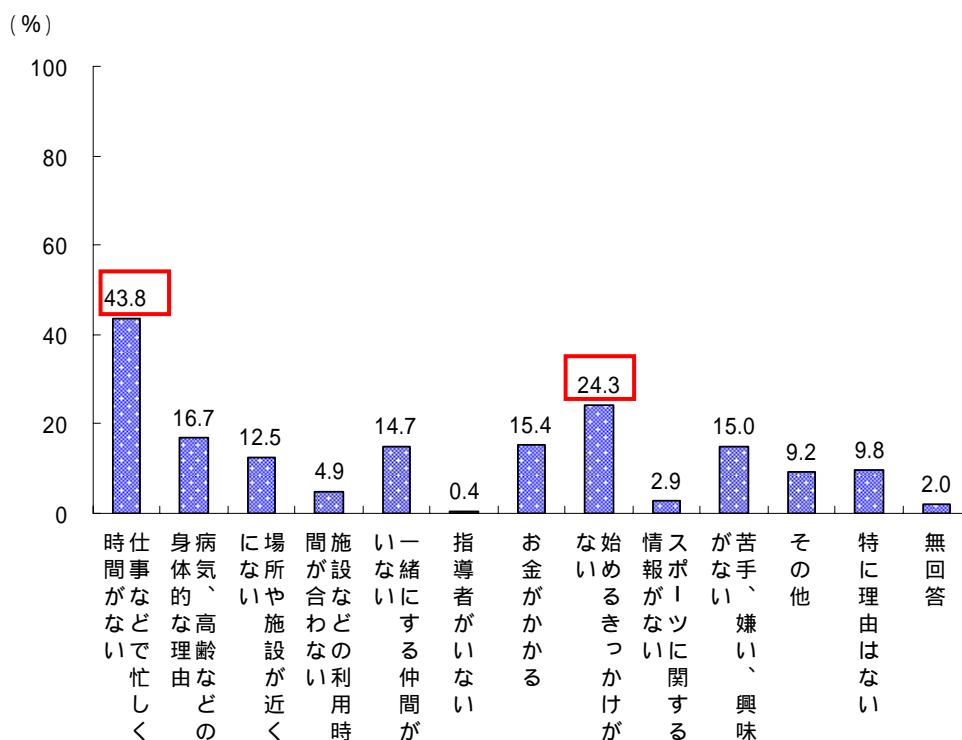
・調査結果の分析

2 - 6 運動・スポーツを行わない理由【問8】

問8 . 運動やスポーツを行わない理由は何ですか。(3つまで)

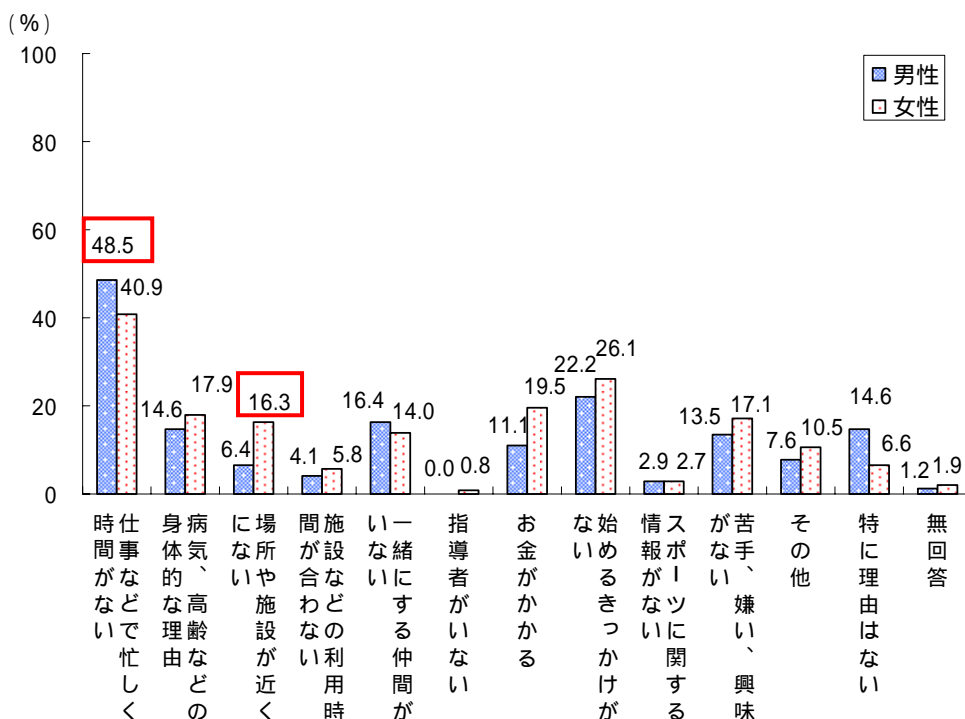
《この1年間で運動・スポーツを行っていない人に対して》

「仕事などで忙しく時間がない」が4割強、
「始めるきっかけがない」は2割強



この1年間で運動やスポーツを行っていない人に対して、運動やスポーツを行わない理由は、「仕事などで忙しく時間がない」の割合が43.8%で最も高く、次いで「始めるきっかけがない」24.3%で2割を超えています。さらに、「病気、高齢などの身体的な理由」16.7%、「お金がかかる」15.4%、「苦手、嫌い、興味がない」15.0%の順となっています。

「仕事などで忙しく時間がない」が男女ともに最も高い
 男性の方が女性よりも若干高い
 「場所や施設が近くにない」は女性の方が高く、差が見られる



男女別にみると、男女ともに「仕事などで忙しく時間がない」が最も高くなっています。ただ、男性の方が女性よりも高くなっています。

「一緒にする仲間がいない」では、男性の方が女性よりも高くなっており、「特に理由はない」も男性の方が高くなっていますが、おおむね女性の方が男性よりも各項目で高くなっています。特に「場所や施設が近くにない」では女性の方が男性よりも高くなっており、差が見られます。

以上により、運動・スポーツを行わない理由として、行わない人と答えた人の1/4で、「始めるきっかけがない」と考えていることから、今後、これらの人を対象に、積極的な情報提供などが重要なポイントとなることが考えられます。

さらに、運動・スポーツに対して「苦手、嫌い、興味がない」と考えている人がいます。これらの人に対しては、好きになることや興味を持たせることは難しいと考えられますが、健康面などのさまざまな視点から粘り強く、体を動かすことの重要性、必要性などを説き、全体的な運動・スポーツの推進の向上を図ることが重要であると考えられます。

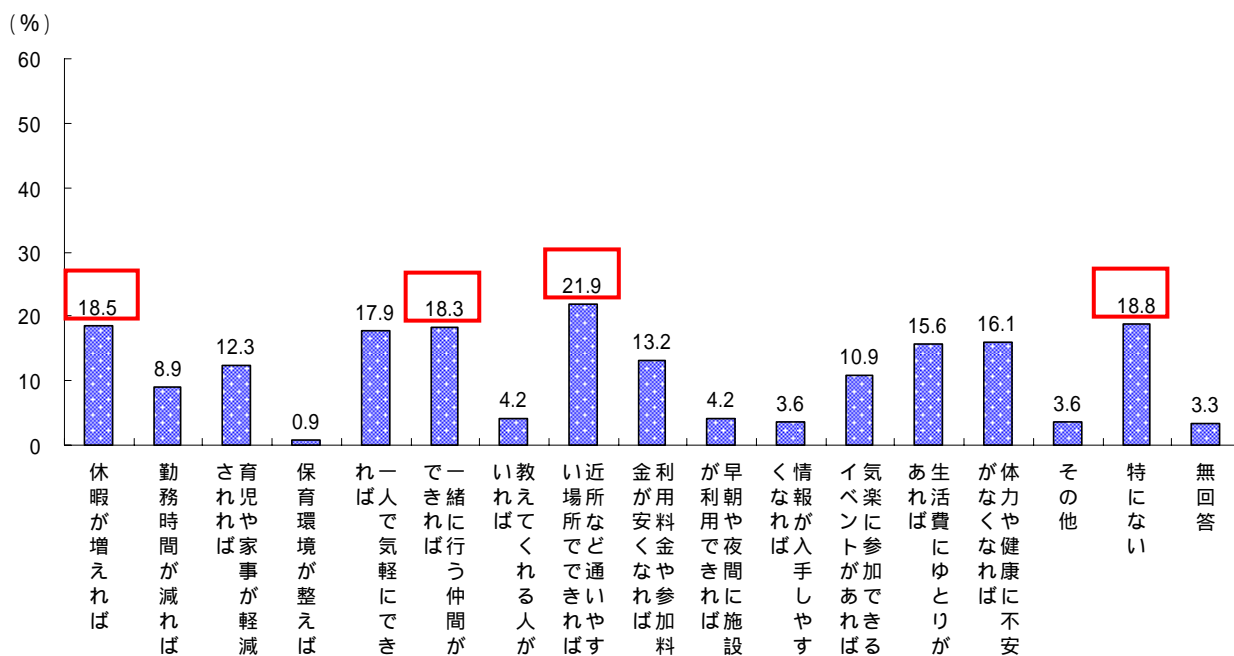
・調査結果の分析

2 - 7 今後、運動・スポーツを行うための条件【問9】

問9 . 今後、どのような点が変われば運動やスポーツを行うようになると思いますか。
 (は3つまで)

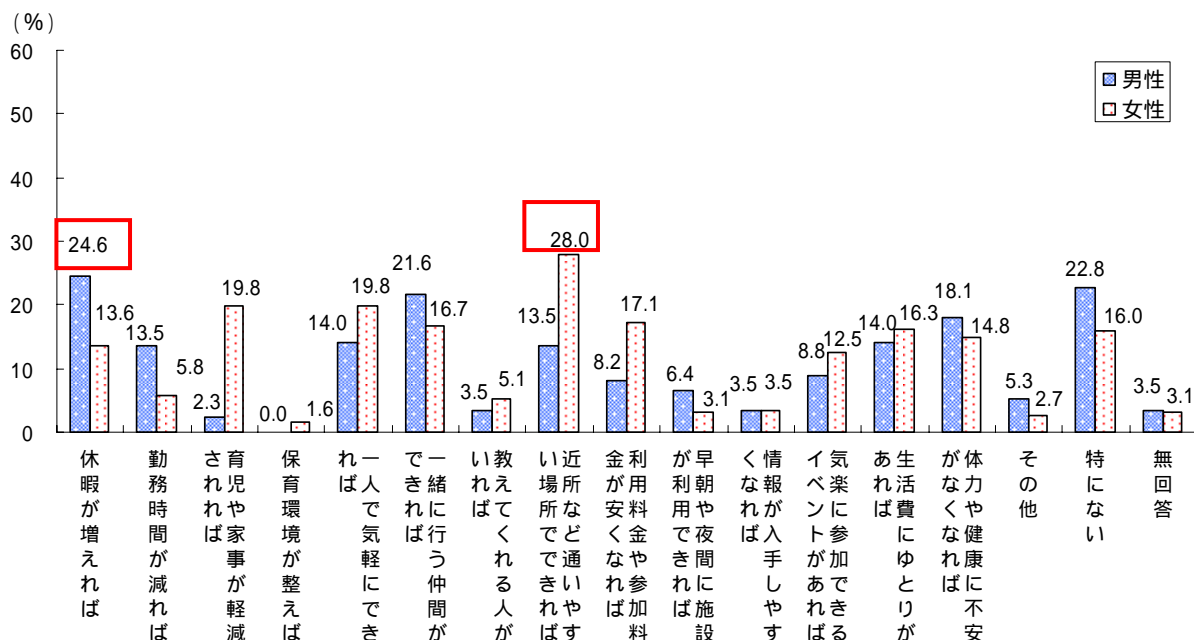
〈この1年間で運動・スポーツを行っていない人に対して〉

「近所など通いやすい場所でできれば」が2割強、
 「休暇が増えれば」、「一緒に行く仲間ができれば」で2割弱。
 「特にない」も2割弱



この1年間で運動やスポーツを行っていない人に対して、今後、運動やスポーツを行う条件は、「近所など通いやすい場所でできれば」の割合が21.9%で最も高く、次いで「特にない」18.8%、「休暇が増えれば」18.5%、「一緒に行く仲間ができれば」18.3%の順となっています。なお、「特にない」は今後も運動やスポーツを行うつもりはないと考えている人の意見も含まれています。

**男性では「休暇が増えれば」が最も高い
女性では「近所など通いやすい場所でできれば」が最も高い
男女間で今後、運動やスポーツを行うための条件は若干異なる**



男女別にみると、男性では「休暇が増えれば」が最も高く、次いで「特にない」、「一緒にいる仲間ができれば」、「体力や健康に不安がなくなれば」の順となっています。

女性では「近所など通いやすい場所でできれば」が最も高く、次いで「育児や家事が軽減されれば」、「一人で気軽にできれば」、「利用料金や参加料金が安くなれば」の順となっており、男女間で今後、運動やスポーツを行うための条件は異なります。

運動・スポーツをしない理由(*)	運動・スポーツを行うための条件(**)		
	(第1位)	(第2位)	(第3位)
仕事などで忙しく時間がない	休暇が増えれば(38.3%)	一緒にいる仲間ができれば(23.0%)	近所など通いやすい場所でできれば(23.0%)
病気、高齢などの身体的な理由	体力や健康に不安がなくなれば(57.3%)	特にない(24.0%)	-
場所や施設が近くにない	近所など通いやすい場所でできれば(73.2%)	利用料金や参加料金が安くなれば(35.7%)	一人で気軽にできれば(30.4%)
一緒にいる仲間がいない	一緒にいる仲間ができれば(65.2%)	一人で気軽にできれば(33.3%)	近所など通いやすい場所でできれば(30.3%)
お金がかかる	生活費にゆとりがあれば(52.2%)	利用料金や参加料金が安くなれば(46.4%)	近所など通いやすい場所でできれば(33.3%)
始めるきっかけがない	一緒にいる仲間ができれば(34.9%)	一人で気軽にできれば(33.0%)	近所など通いやすい場所でできれば(27.5%)
苦手、嫌い、興味がない	特にない(38.8%)	生活費にゆとりがあれば(25.4%)	-

(*)運動・スポーツをしない理由は上位7位(10%以上)を表示

(**)運動・スポーツを行うための条件は上位3位(20%以上)を表示

(注) ()内の数値(%)は、各々の「運動・スポーツをしない理由」に対して、運動・スポーツを行うための条件の割合を示す

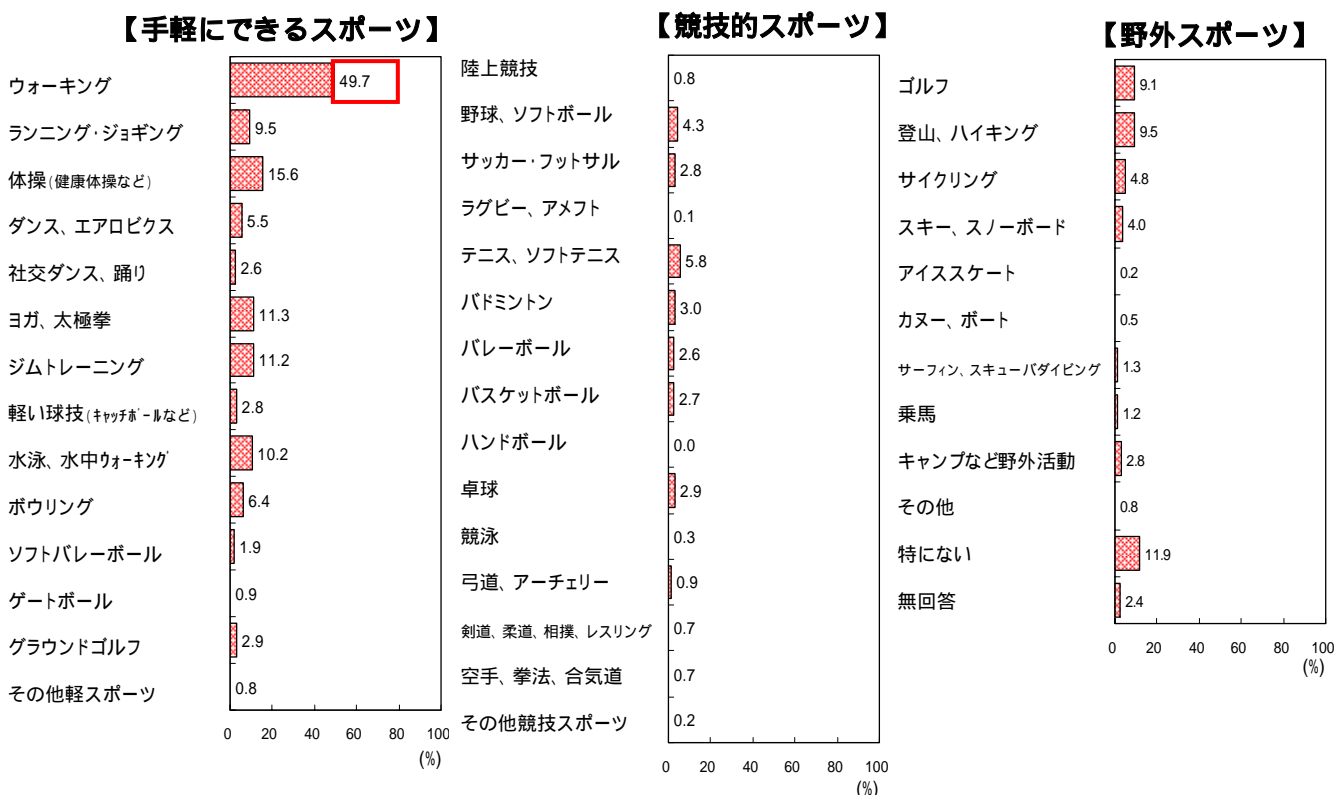
運動・スポーツをしない理由別に整理してみると、特に「病気、高齢などの身体的な理由」、「苦手、嫌い、興味がない」と答えた人に対して、どのようにするかが課題であると考えられます。それ以外の人に対しては、「近所などの通いやすい場所」、「一緒にいる仲間」、「一人で気軽にできる場所や諸条件」などの手軽にできる条件がキーポイントとなっています。

・調査結果の分析

2 - 8 今後、行いたい主な運動・スポーツと主な目的【問10・問11】

問10. 今後、主に行いたい(続けていきたい)運動やスポーツは何ですか。(は3つまで) 運動やスポーツのあてはまる番号に3つまで 印をつけてください。

「ウォーキング(散歩含む)」が5割、「体操(健康体操など)」は1割強
 今後、運動・スポーツを行わない人は1割強



今後、主に行いたい運動・スポーツでは、「ウォーキング(散歩含む)」が49.7%で最も高く、おおむね5割となっています。次いで、「体操(健康体操・美容体操など)」15.6%、「ヨガ、太極拳」11.3%、「ジムトレーニング」11.2%、「水泳・水中ウォーキング」10.2%の順となっています。

また、「特にない」と答えた人は11.9%となっており、今後、特に運動・スポーツを行わない人は1割強を占めています。

「ウォーキング（散歩含む）」が男女ともに最も高い
 ウォーキング以外では男女間で若干違いが見られる
 ゴルフ、ランニング・ジョギングなどは男性が高い
 体操、ヨガ・太極拳などは女性が高い

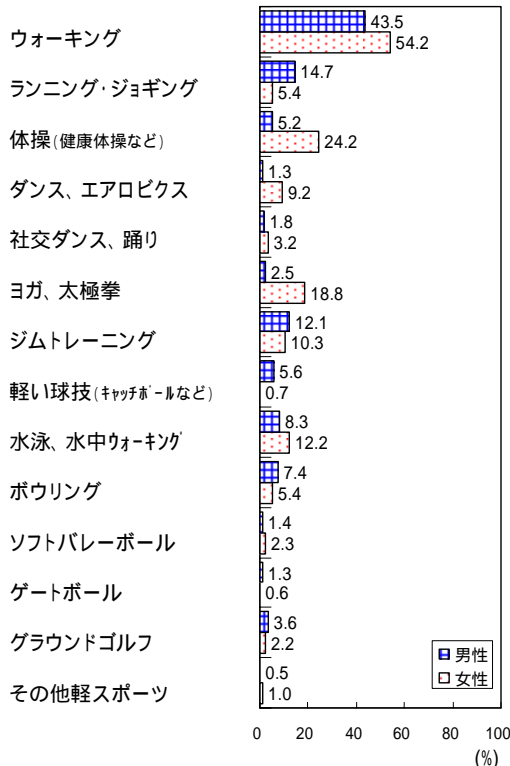
男女別にみると、「ウォーキング（散歩含む）」は男女ともに最も高く、5割前後となっています。

次いで、男性では「ゴルフ」、「ランニング・ジョギング」、「ジムトレーニング」の順となっており、一方、女性では「体操（健康体操・美容体操など）」、「ヨガ、太極拳」、「水泳、水中ウォーキング」となっています。

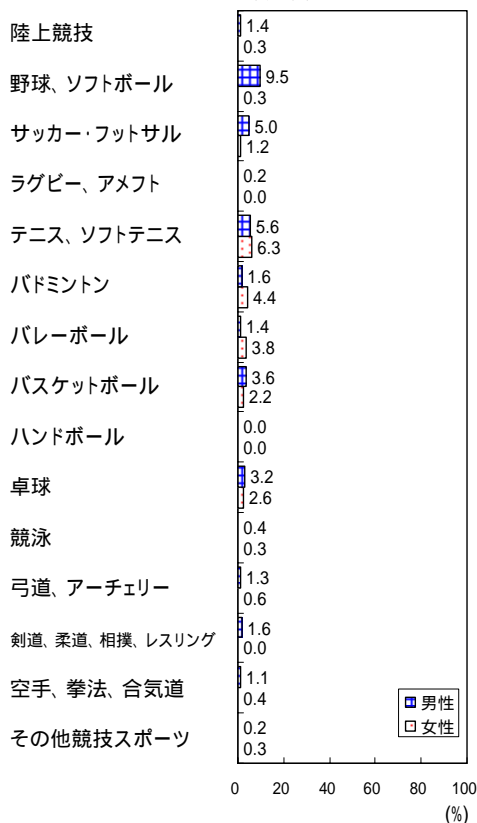
「ウォーキング（散歩含む）」を除けば、男女間で行いたいスポーツ種目で若干違いが見られます。

また、「特にない」と答えた人の割合は、男性の方が女性よりも若干高くなっています。

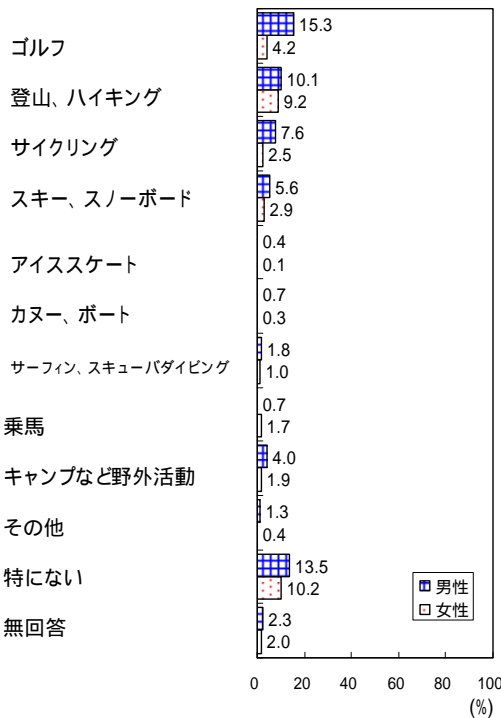
【手軽にできるスポーツ】



【競技的スポーツ】



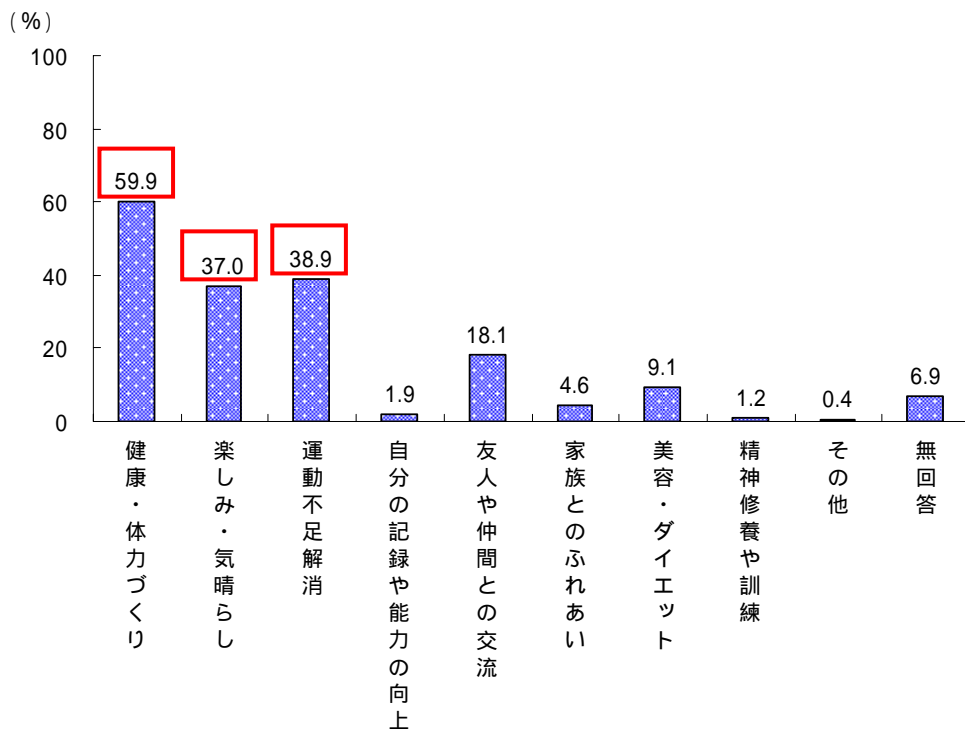
【野外スポーツ】



・調査結果の分析

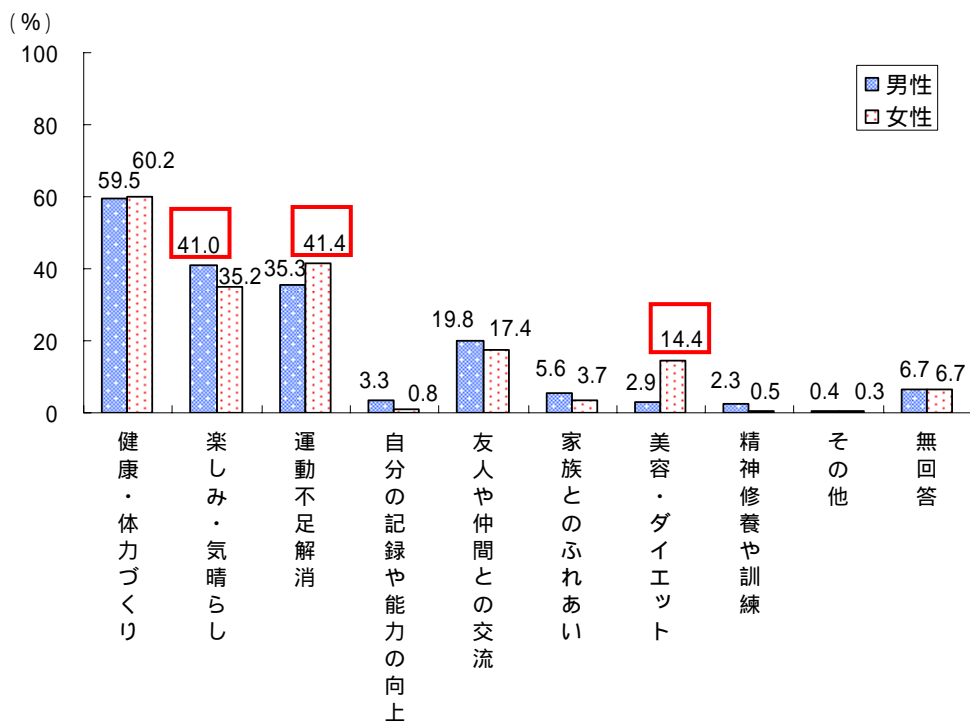
問 1 1 . 今後、運動やスポーツを行う場合に、重要と考える点（目的）は何ですか。
(は2つまで)

「健康・体力づくり」が6割、
「運動不足解消」、「楽しみ・気晴らし」は4割弱



今後、運動やスポーツを行う場合に重視する点（目的）は、「健康・体力づくり」が 59.9%で最も高く、次いで「運動不足解消」38.9%、「楽しみ・気晴らし」37.0%の順で3割を超えています。さらに、「友人や仲間との交流」18.1%となっています。

「健康・体力づくり」が男女ともに最も高い
 次いで、男性は「楽しみ・気晴らし」、女性は「運動不足解消」
 ただし、男女間で差が見られるのは「美容・ダイエット」



男女別にみると、男女ともに「健康・体力づくり」が最も高くなっています。次いで、男性では「楽しみ・気晴らし」、「運動不足解消」、女性では「運動不足解消」、「楽しみ・気晴らし」の順となっています。特に「美容・ダイエット」については女性の方が男性よりも高くなっており、男女間で若干差が見られます。

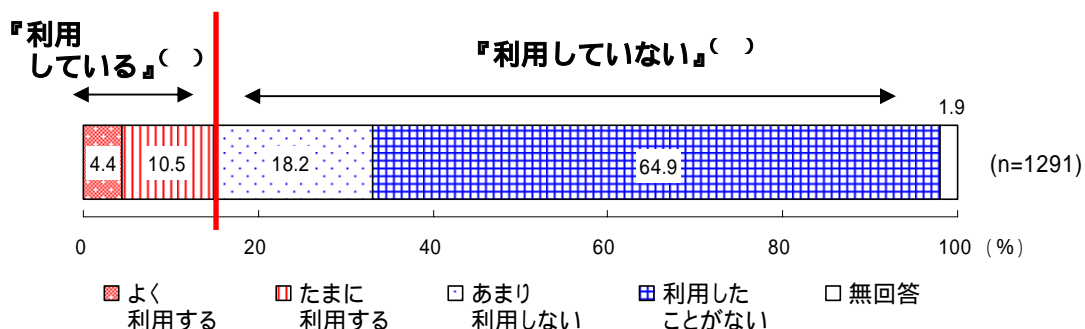
・調査結果の分析

3 . 公共スポーツ施設について

3 - 1 公共スポーツ施設の利用状況【問 12】

問 1 2 . 最近（この 2 ～ 3 年間で） 松阪市の公共スポーツ施設を利用していますか。
 （ は 1 つ ）

『利用している』() が 1 割強、『利用していない』() は 8 割強

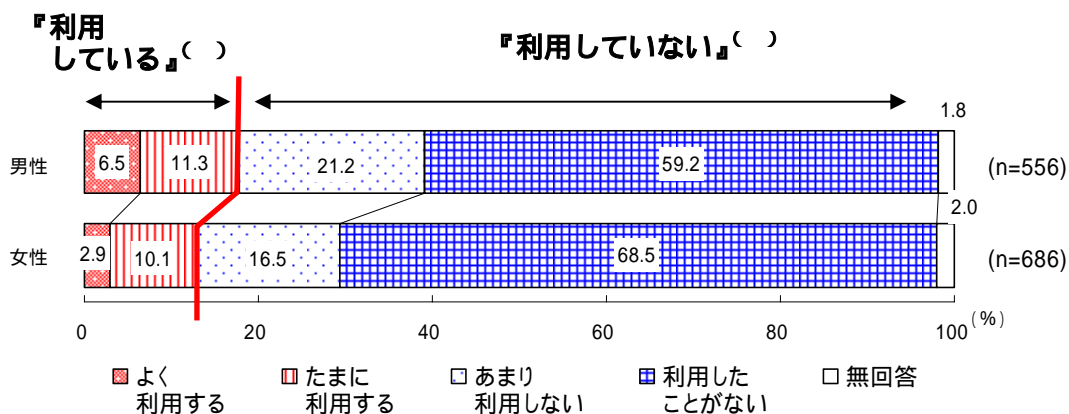


() 『利用している』は「よく利用する」+「たまに利用する」。
 『利用していない』は「あまり利用しない」+「利用したことがない」。

最近の（2～3年間で）公共スポーツ施設（松阪市）の利用では、「利用したことがない」の割合が 64.9%で最も高く、次いで「あまり利用しない」18.2%で、合わせて 8 割強の人が『利用していない』() と答えています。

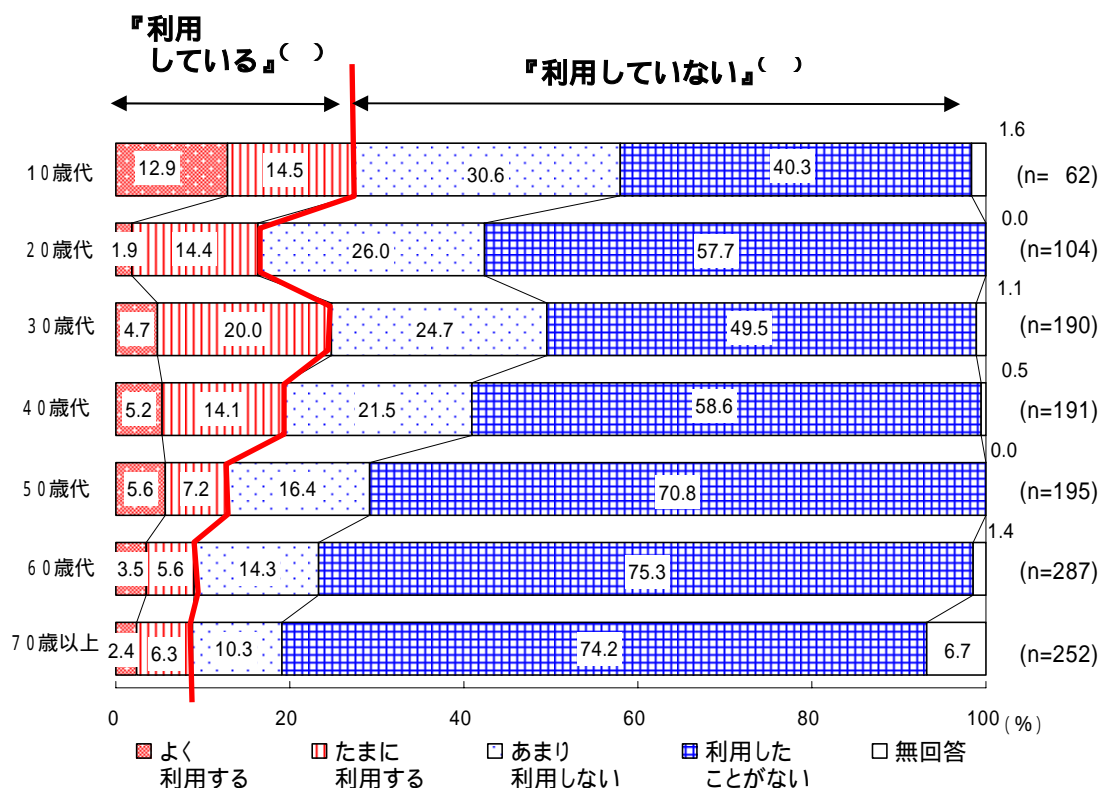
反対に、「たまに利用する」の割合は 10.5%、「よく利用する」4.4%で合わせて『利用している』() 人は 1 割強となっています。

男性の方が女性よりも『利用している』人の割合は若干高い



男女別にみると、『利用している』人の割合は男性 17.8%、女性 13.0%で、男性の方が女性よりも若干高くなっています

10歳代、30歳代で『利用している』人の割合は高い
60歳以上の高齢者では『利用している』人の割合は低い



年齢別にみると、学生が含まれる10歳代で『利用している』人の割合が最も高く、次いで30歳代となっています。反対に、70歳以上では『利用している』人の割合が最も低く、次いで60歳代となっており、60歳以上の高齢者で低い結果となっています。

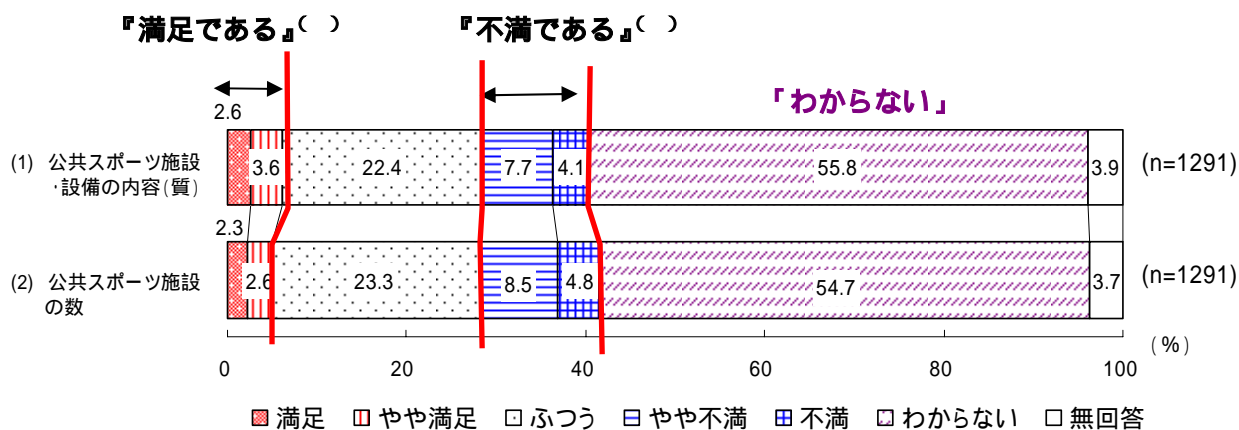
ここで、30歳代、40歳代では、前述したように「家族・親戚」で運動・スポーツを行っている人の割合が高いことから、子どもを中心とした家族連れで公共スポーツ施設を利用していることにより、『利用している』割合が高くなっていることがうかがわれます。

・調査結果の分析

3 - 2 公共スポーツ施設に対する満足度【問 13】

問 1 3 . 松阪市の公共スポーツ施設についてどのように思いますか。
 (それぞれに は1ずつ)

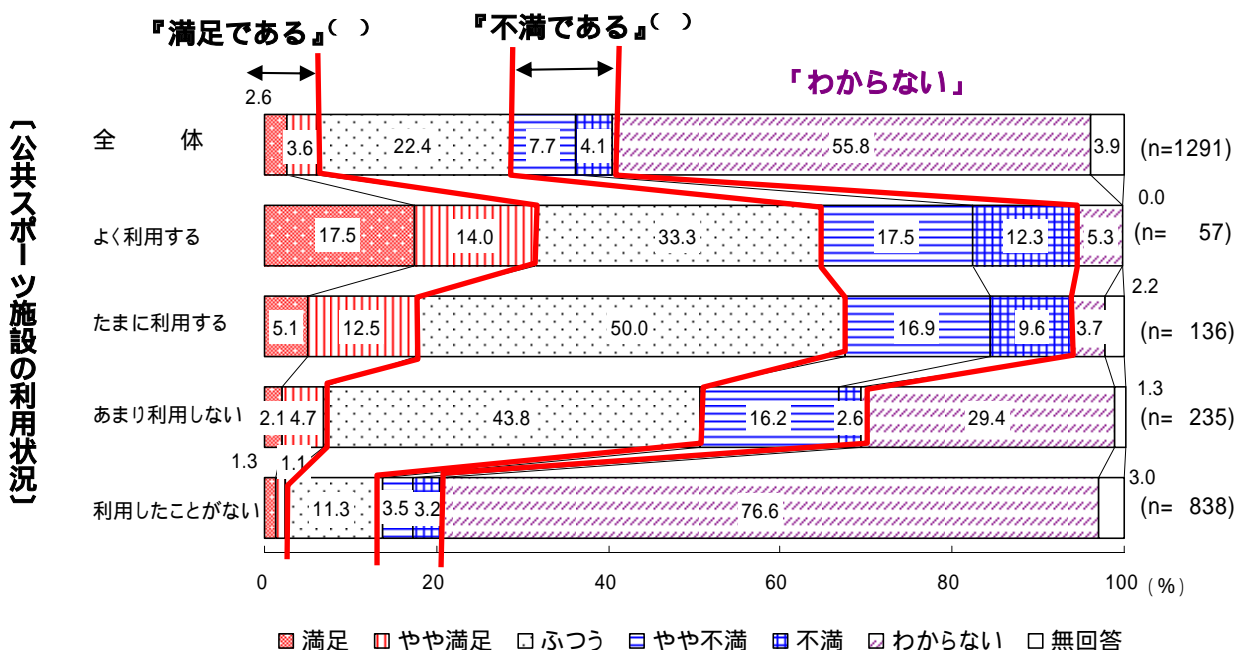
「ふつう」が2割強、「満足である」()は1割弱、
 「不満である」()は1割強、「わからない」人は5割を上回る



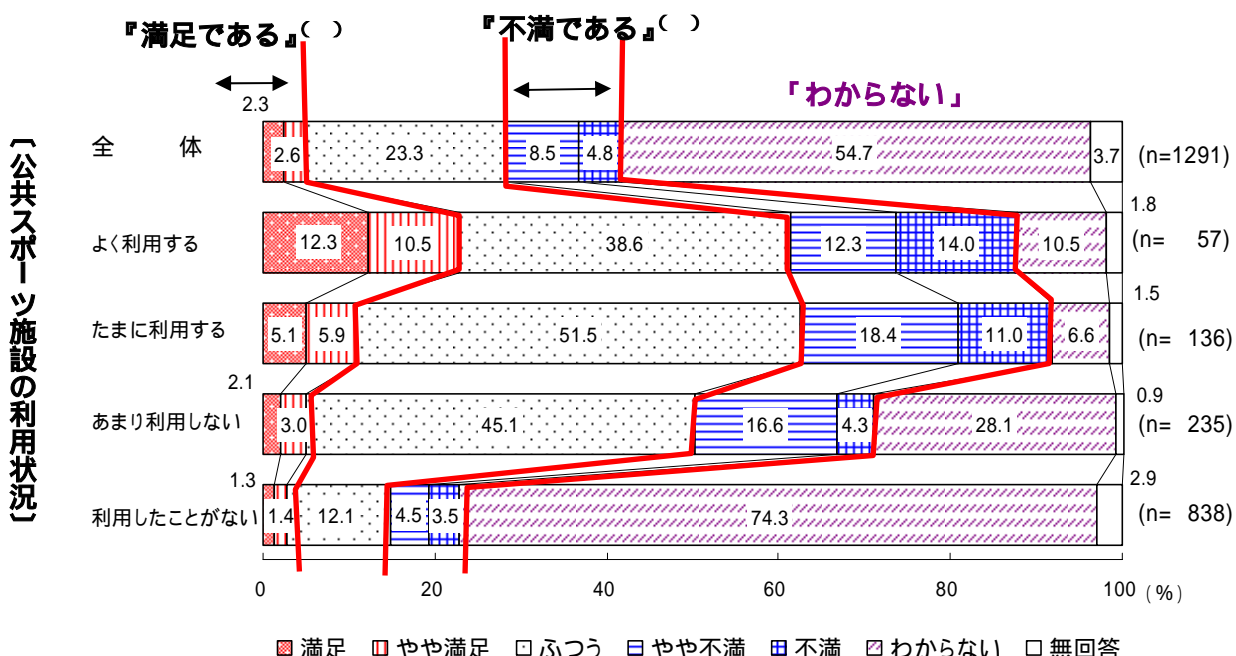
松阪市の公共スポーツ施設について、(1)施設・設備の内容と(2)施設の数との2つの視点で満足度を聞いたところ、2つの項目ともに、「ふつう」が2割強、「不満である」()が1割強、「満足である」()が1割を大きく下回り、半数以上の人々が「わからない」と答えています。

公共スポーツ施設を利用している人は、利用していない人と比較して、『満足である』()の割合は高い
 「わからない」と答えた人の割合は、利用していない人の方が高い

【(1)公共スポーツ施設・設備の内容】



【(2)公共スポーツ施設の数】



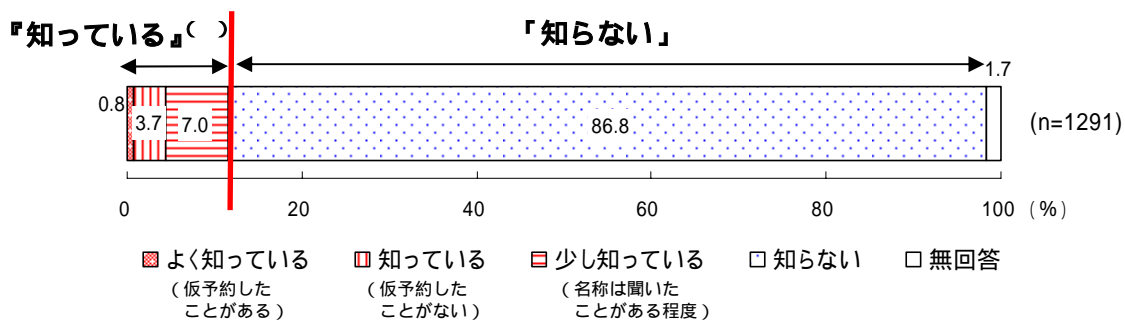
松阪市の公共スポーツ施設の利用状況別にみると、(1)施設・設備の内容と(2)施設の数ともによく利用している人の方が、利用していない人よりも『満足である』の割合は高くなっており、反対に「わからない」と答えた人の割合は、利用しない人の方が大幅に高くなっています。

・調査結果の分析

3 - 3 松阪市体育施設予約システムの認知度【問 14】

問 1 4 . 松阪市体育施設予約システムを知っていますか。() は1つ)

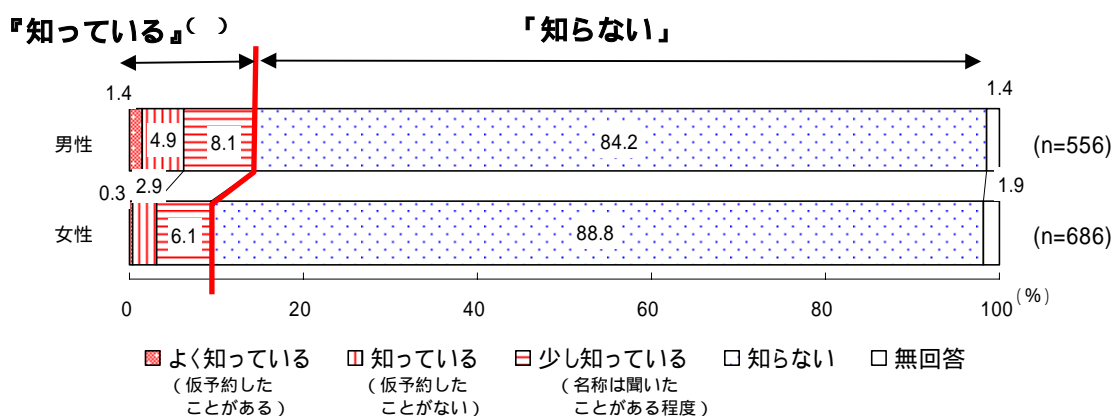
『知っている』() 人が1割強、「知らない」人は9割弱



() 『知っている』は「よく知っている」+「知っている」+「少し知っている」。

「知らない」と答えた人は 86.8%で最も高くなっています。次いで「少し知っている (名称は聞いたことがある程度)」7.0%、「知っている (仮予約したことがない)」3.7%、「よく知っている (仮予約したことがある)」0.8%の順となっており、合わせて『知っている』()人は 1割強に留まっています。さらに、実際に利用したことがある人は 1%未満という結果となっています。

男性の方が女性よりも『知っている』人の割合は若干高い

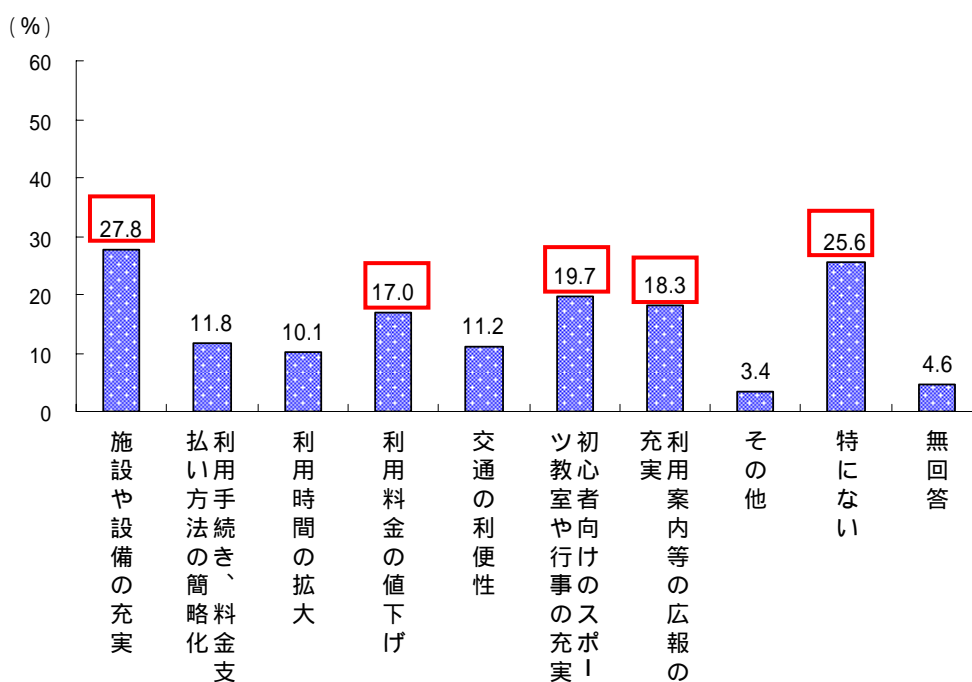


男女別にみると、男性は『知っている』人の割合は 14.4%、女性では 9.3%となっており、男性の方が女性よりも『知っている』人の割合が高くなっています。

3 - 4 公共スポーツ施設で充実させる点【問 15】

問 15 . 公共スポーツ施設を利用する上で、主にどのような点の充実を望みますか。
 (〃は2つまで)

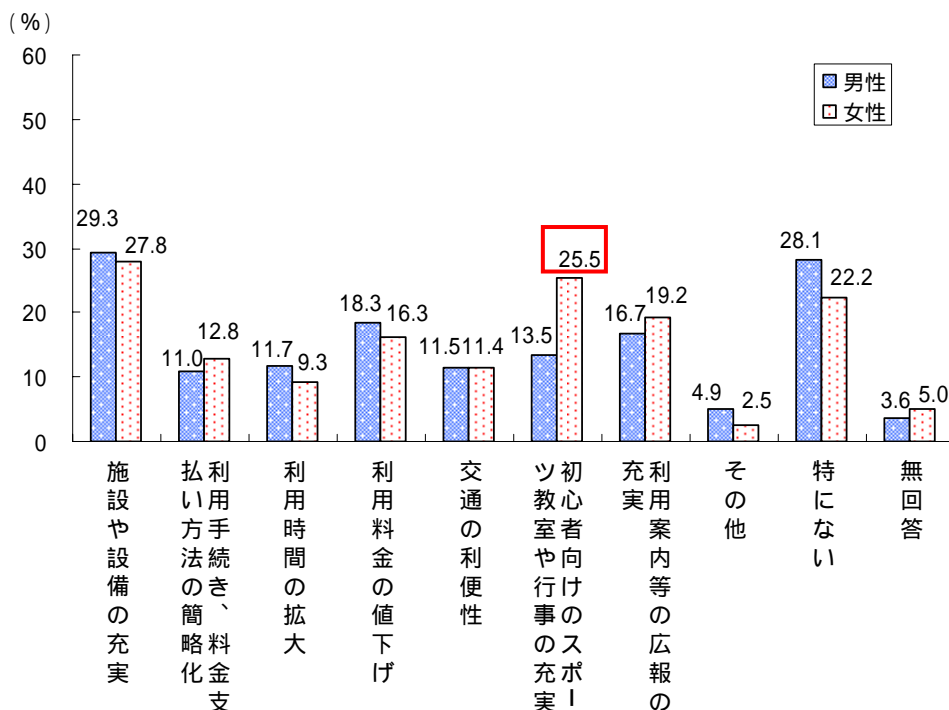
「施設や設備の充実」が3割弱、
 「初心者向けのスポーツ教室や行事の充実」、
 「利用案内等の広報の充実」、「利用料金の値下げ」は2割弱
 「特にない」が1 / 4を占める



「施設や設備の充実」を望んでいる声が 27.8%で最も高く、次いで「初心者向けのスポーツ教室や行事の充実」19.7%、「利用案内等の広報の充実」18.3%、「利用料金の値下げ」17.0%の順となっています。また、「特にない」と答えた人は 25.6%となっています。

・調査結果の分析

「施設や設備の充実」が男女ともに最も高い
 次いで、女性は「初心者向けのスポーツ教室や行事の充実」で
 男女間で差が見られる

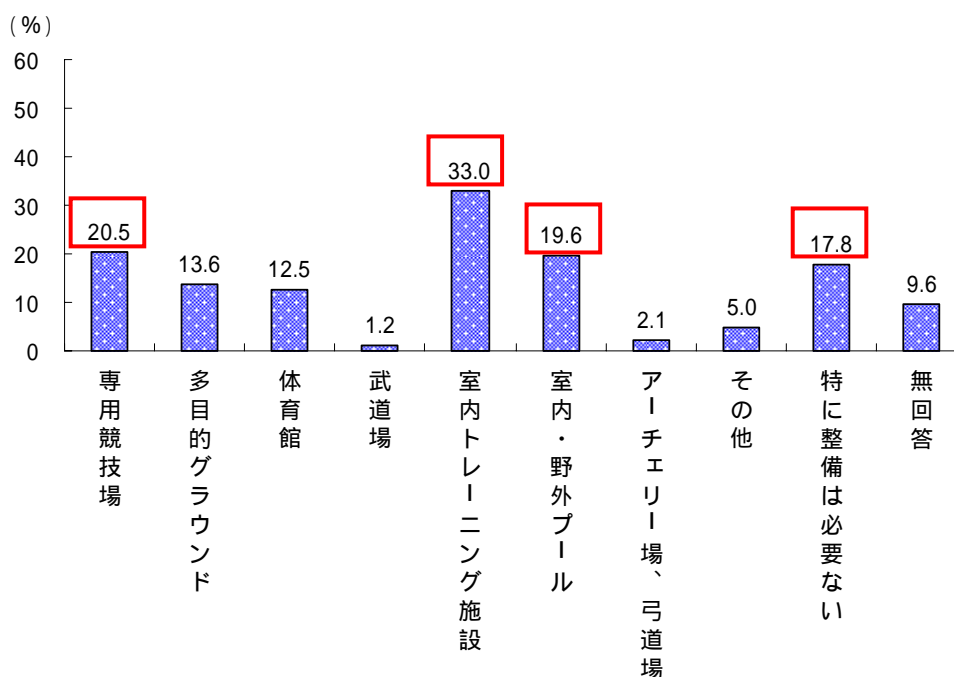


男女別にみると、男女ともに「施設や設備の充実」を望む声が最も高くなっています。次いで、女性では「初心者向けのスポーツ教室や行事の充実」となっており、男女間で望む声に差が見られます。また、「特にない」と答えた人の割合は男性の方が女性よりも高くなっています。

3 - 5 今後、整備すべきスポーツ施設【問 16】

問 16 . 松阪市では、今後どのようなスポーツ施設を整備・充実していくことが必要だと思いますか。(〃 は2つまで)

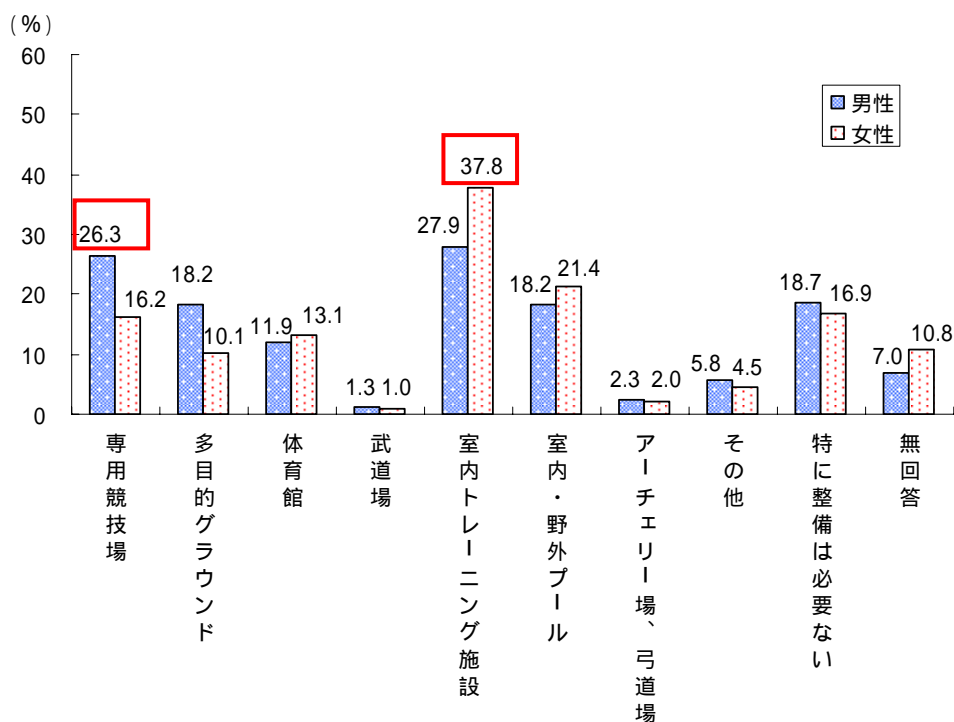
「室内トレーニング施設」が3割強、
「専用競技場」、「室内・野外プール」はおおむね2割
ただし、「特に整備する必要はない」は2割弱



今後、スポーツ施設の整備や充実を望む声として、「室内トレーニング施設」を望む声の割合が33.0%で最も高く、次いで「専用競技場」20.5%、「室内・野外プール」19.6%の順となっています。なお、「特に整備は必要ない」と考えている人は17.8%となっています。

・調査結果の分析

男女ともに「室内トレーニング施設」が最も高い
特に、女性が望む声が高く、4割弱を占める
男女間で整備・充実を望む声が若干異なる

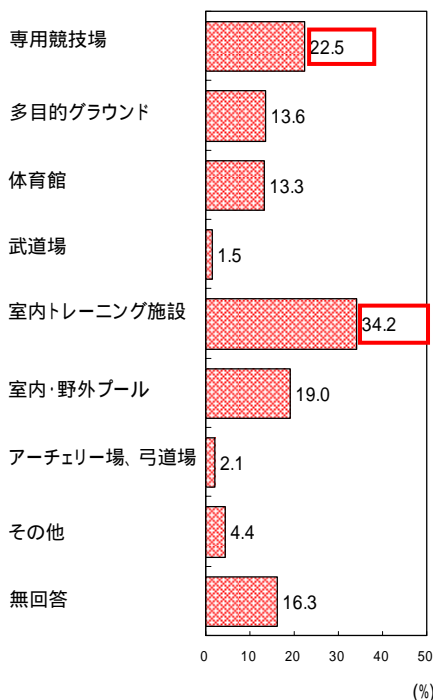


男女別にみると、男女ともに「室内トレーニング施設」を望む声が最も高くなっていますが、男性 27.9%、女性 37.8%で、女性の方が男性よりも大きく上回っています。反対に、「専用競技場」については男性 26.3%、女性 16.2%で、男性の方が女性よりも大きく上回っており、男女間で整備・充実を望む声が若干異なっていることがわかります。

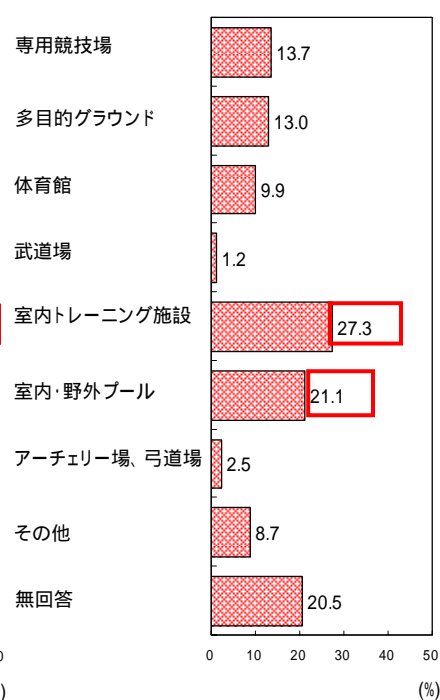
各地区ともに「室内トレーニング施設」が最も高い 各地区間で整備・充実を望む声が若干異なる

地区別にみると、各地区ともに「室内トレーニング施設」を望む声が最も高くなっています。各地区で20%を超えている整備項目についてみると、本庁管内（旧松阪市）と飯高管内では「室内トレーニング施設」「専用競技場」、嬉野管内と三雲管内では「室内トレーニング施設」「室内・野外プール」、飯南管内では「室内トレーニング施設」となっています。

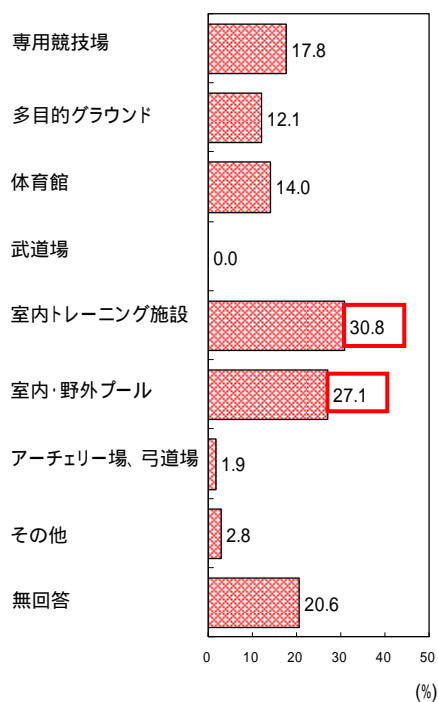
【本庁管内】



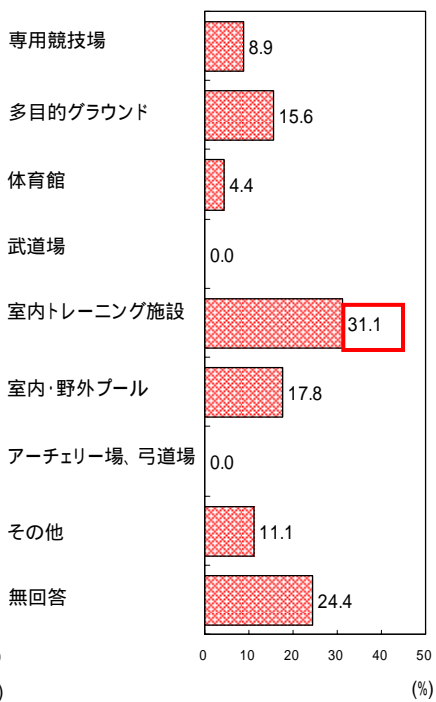
【嬉野管内】



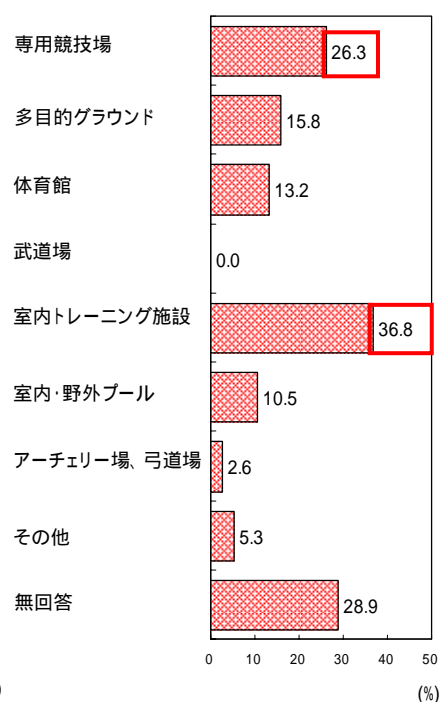
【三雲管内】



【飯南管内】



【飯高管内】



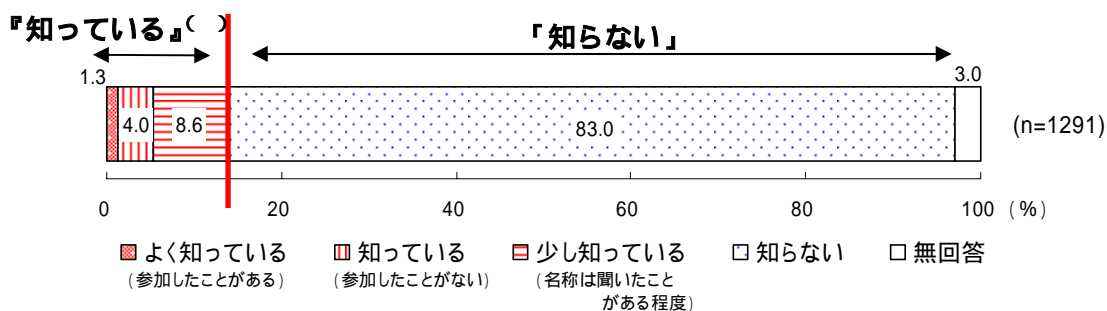
・調査結果の分析

4 . クラブや同好会、教室について

4 - 1 総合型地域スポーツクラブの認知度【問 17】

問 17 . 総合型地域スポーツクラブを知っていますか。() は1つ)

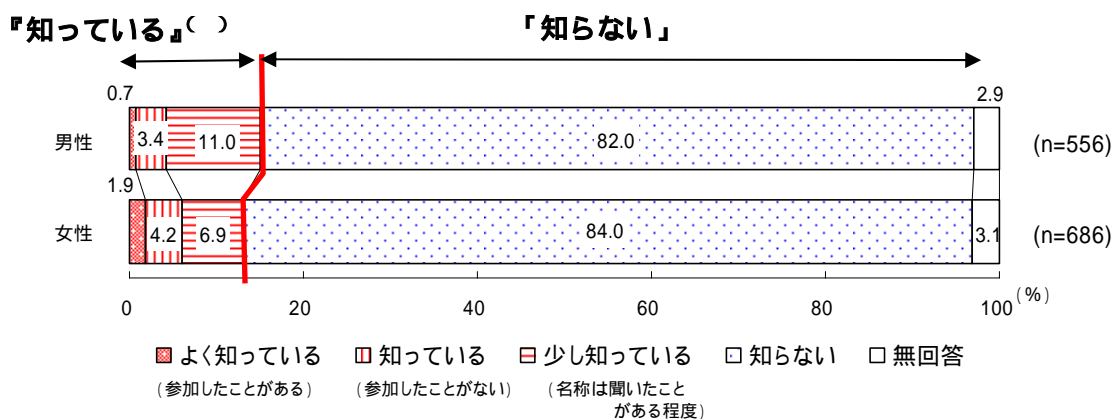
『知っている』() 人は1割強、「知らない」人は8割強



() 『知っている』は「よく知っている」+「知っている」+「少し知っている」。

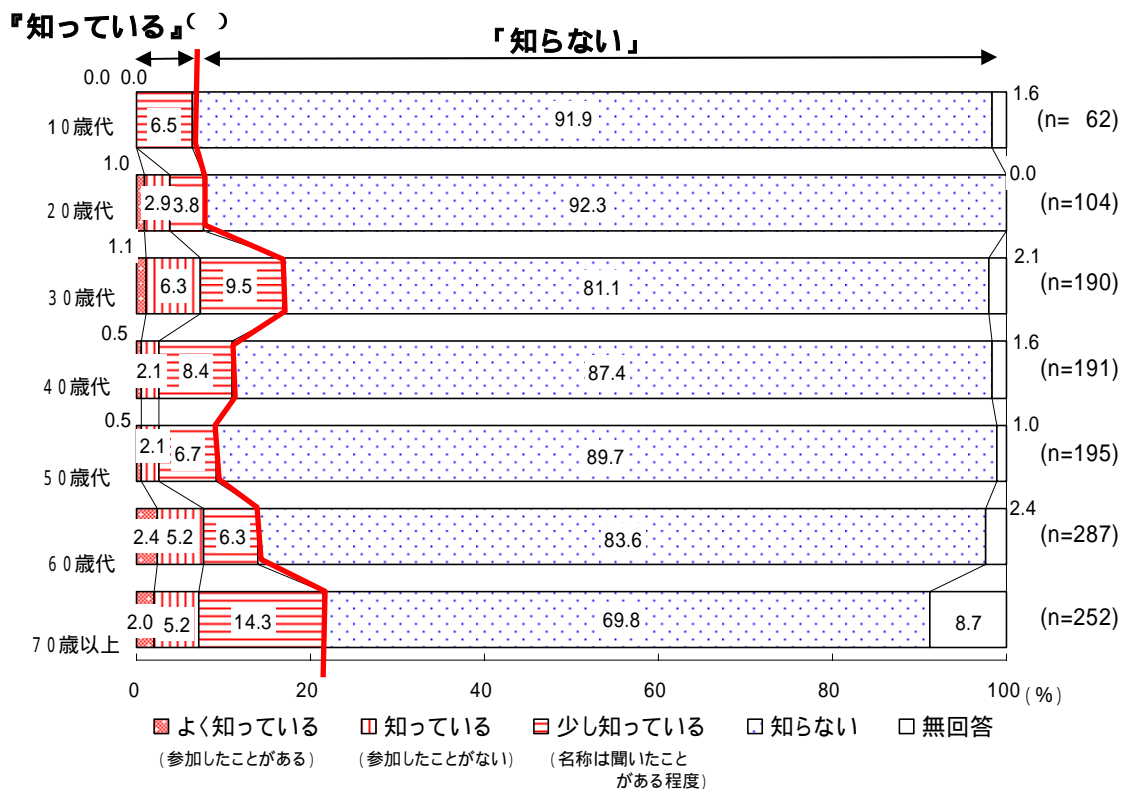
「知らない」と答えた人は 83.0%で最も高く、次いで「少し知っている (名称は聞いたことがある程度)」8.6%、「知っている (参加したことがない)」4.0%、「よく知っている (参加したことがある)」1.3%の順となっています。実際に利用したことがある人は1%強という結果となっています。

男性の方が女性よりも『知っている』人の割合は若干高い



男女別にみると、男性は『知っている』() 人の割合は 15.1%、女性では 13.0%となっており、男性の方が女性よりも『知っている』人の割合が若干高くなっています。

70歳以上、30歳代で『知っている』人の割合は高い



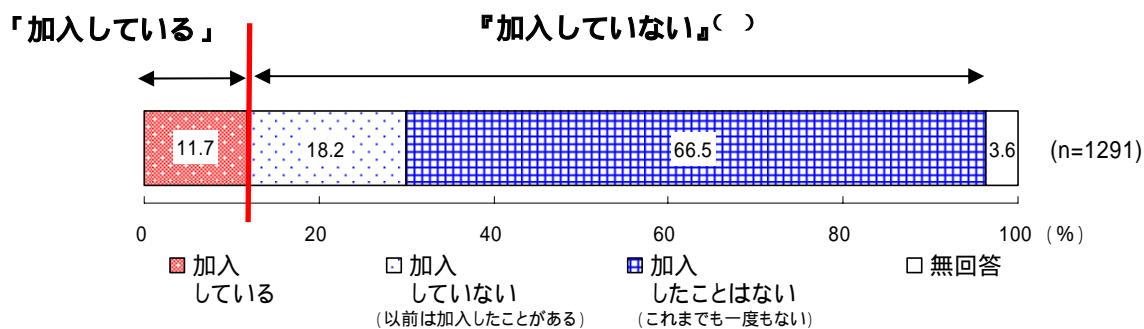
年齢別にみると、70歳以上では『知っている』の割合が最も高くなっており、次いで30歳代となっています。反対に、10歳代、20歳代の若い年齢層では「知らない」人の割合が高く、50歳代でも「知らない」人の割合は高くなっています。

・調査結果の分析

4 - 2 クラブや同好会、教室などの加入状況【問18】

問18 . 現在、運動やスポーツのクラブや同好会（学校や職場なども含む）教室などに加入していますか。（　は1つ）

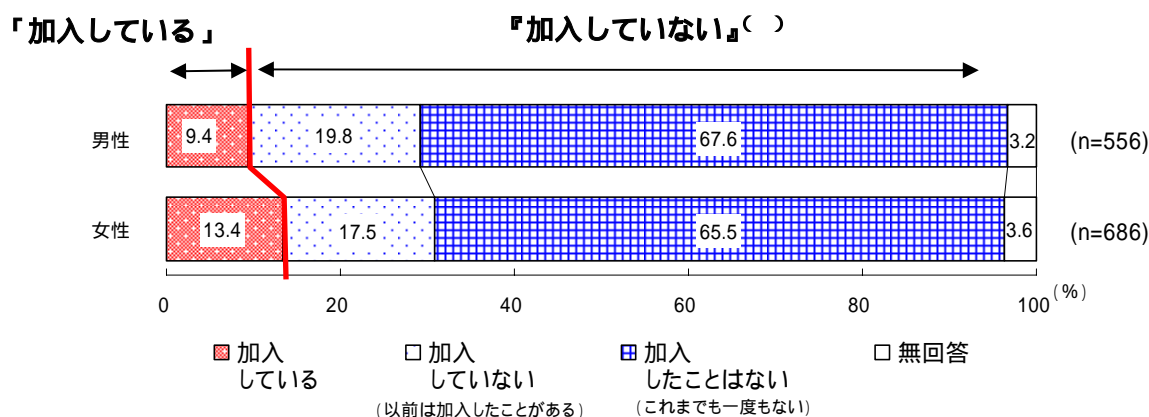
「加入している」人は1割強、「加入していない」^()人は8割強



()『加入していない』は「加入していない」+「加入したことはない」。

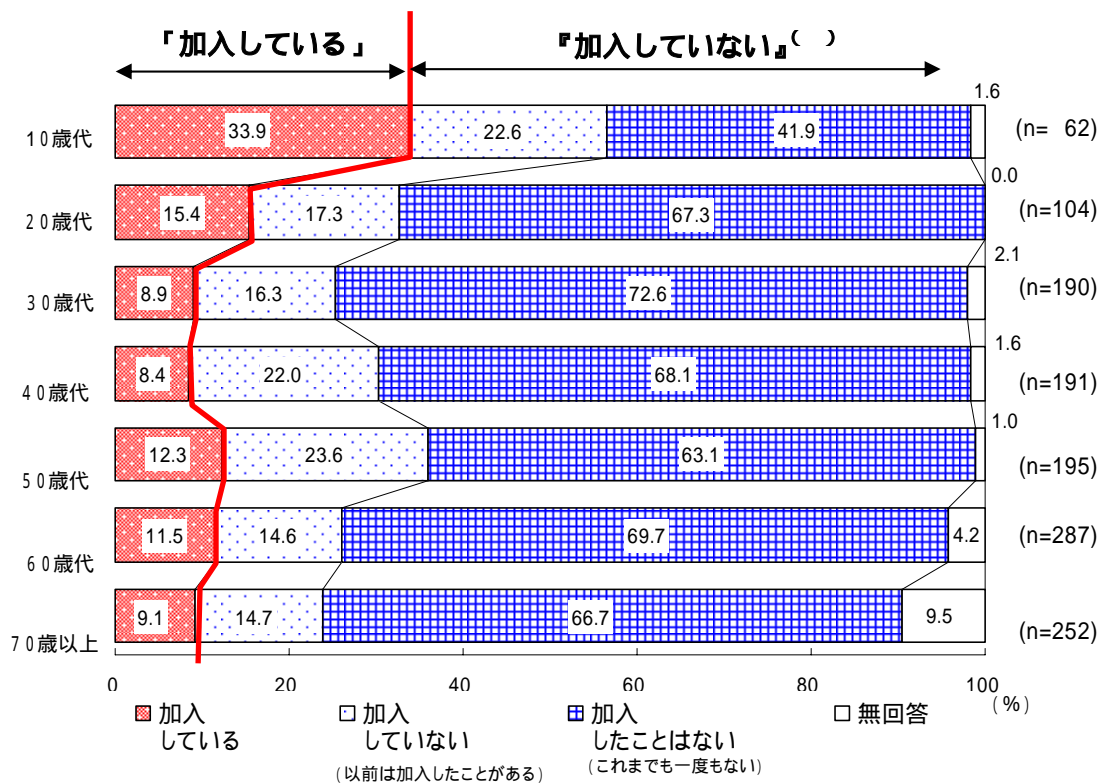
現在、クラブや同好会、教室などへの加入状況については、「加入したことはない(これまでも一度もない)」と答えた人は66.5%で最も高く、次いで「加入していない(以前は加入したことがある)」18.2%で、合わせて『加入していない』人は8割強を占めています。反対に、現在「加入している」人は11.7%で1割強に留まっています。

女性の方が男性よりも『加入している』人の割合は若干高い



男女別にみると、男性は「加入している」人の割合は9.4%、女性では13.4%となっており、女性の方が男性よりも「加入している」人の割合が若干高くなっています。

10歳代、20歳代で「加入している」人の割合は高い
 40歳代、30歳代、70歳以上で
 「加入している」人の割合は低い



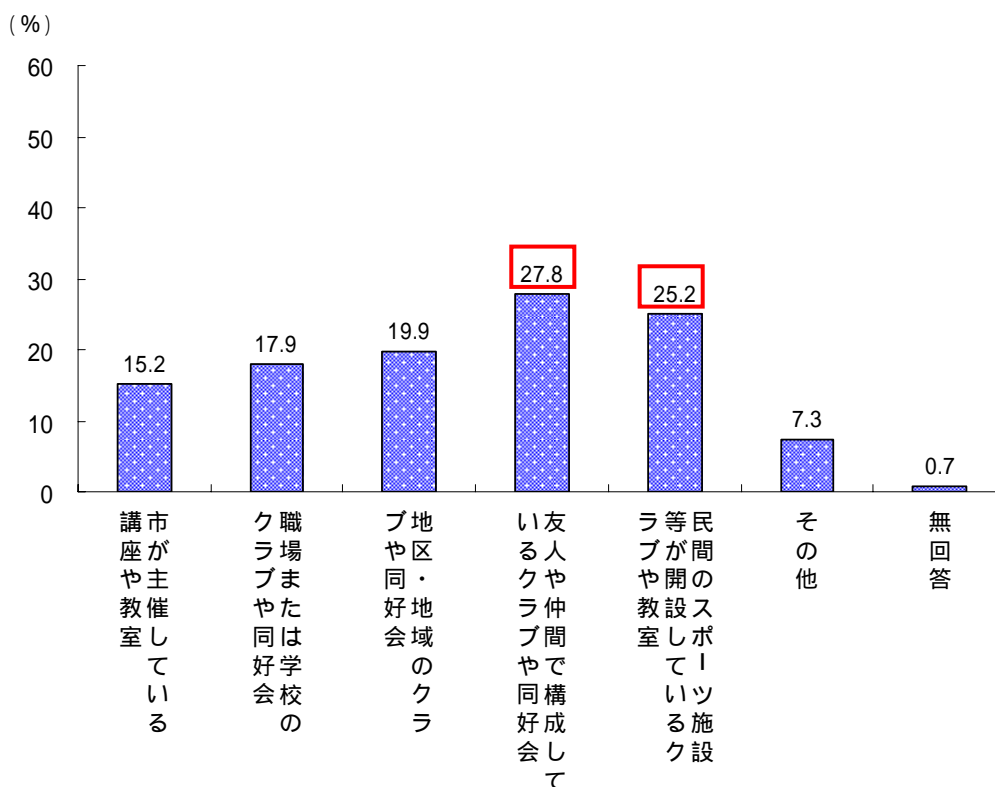
年齢別にみると、学生が含まれる10歳代で「加入している」人の割合が最も高く、次いで20歳代となっています。反対に、40歳代、30歳代、70歳以上では「加入している」人の割合が低くなっています。

・調査結果の分析

問 18-1 . どのようなクラブや同好会、教室に加入していますか。
 (はいくつでも)

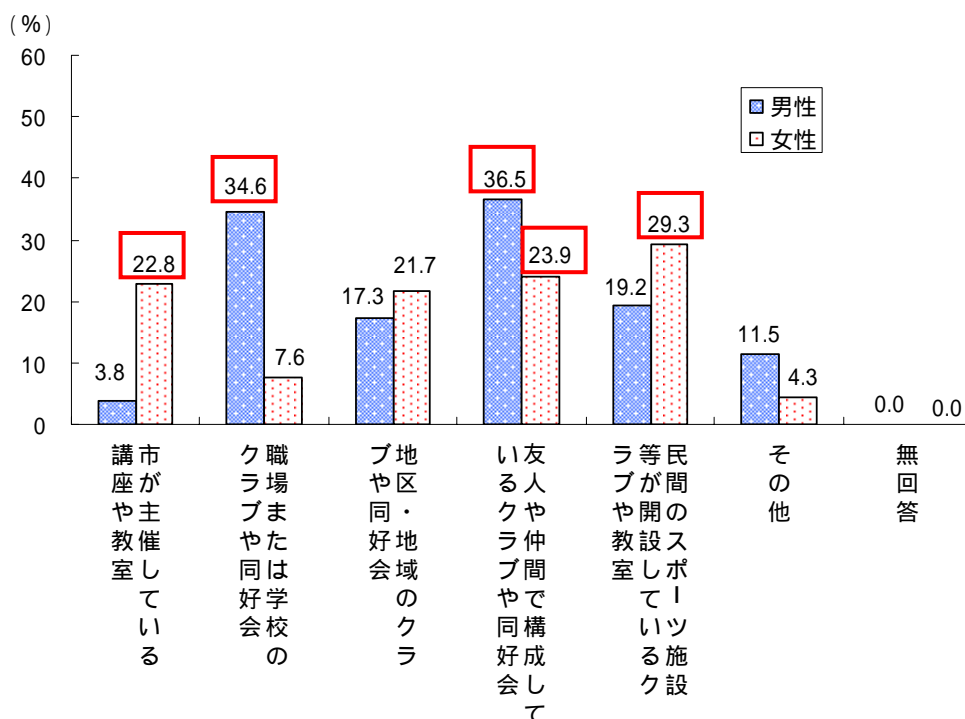
〈クラブや同好会、教室などに加入している人に対して〉

「友人や仲間で作成しているクラブや同好会」
 「民間のスポーツ施設等が開設しているクラブや教室」がそれぞれ3割弱



現在、加入しているクラブや同好会について聞いたところ、「友人や仲間で作成しているクラブや同好会」が 27.8%で最も高く、次いで「民間のスポーツ施設等が開設しているクラブや教室」25.2%の順となっています。さらに「地区・地域のクラブや同好会」19.9%、「職場または学校のクラブや同好会」17.9%、「市が主催している講座や教室」15.2%となっており、いろいろな団体に分散していることが見てとれます。

男性では「友人や仲間構成しているクラブや同好会」の割合が最も高く、
次いで、「職場または学校のクラブや同好会」
女性では「民間のスポーツ施設等が開設しているクラブや教室」の割合が最も
高く、次いで、「友人や仲間構成しているクラブや同好会」、
「市が主催している講座や教室」
男女間で差が見られる



男女別にみると、男性では「友人や仲間構成しているクラブや同好会」の割合が最も高く、次いで「職場または学校のクラブや同好会」の順となっています。

一方、女性では「民間のスポーツ施設等が開設しているクラブや教室」の割合が最も高く、次いで「友人や仲間構成しているクラブや同好会」、「市が主催している講座や教室」、「地区・地域のクラブや同好会」の順となっており、男女で異なっています。

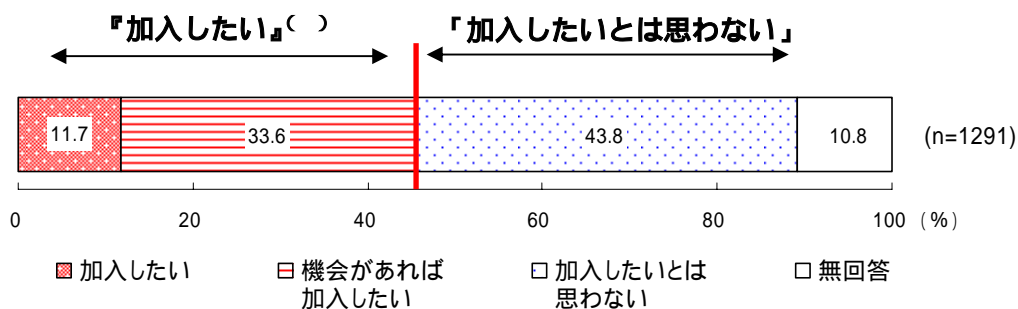
また、「職場または学校のクラブや同好会」の割合については、女性では低く、反対に「市が主催している講座や教室」では男性が低くなっており、男女間で格差が見られます。

・調査結果の分析

4 - 3 今後、クラブや同好会、教室などへの加入意向【問 19】

問 19 . 今後、運動やスポーツのクラブや同好会、教室などに加入したい（現在、加入している人は加入し続けたい）と思いますか。（ は 1 つ）

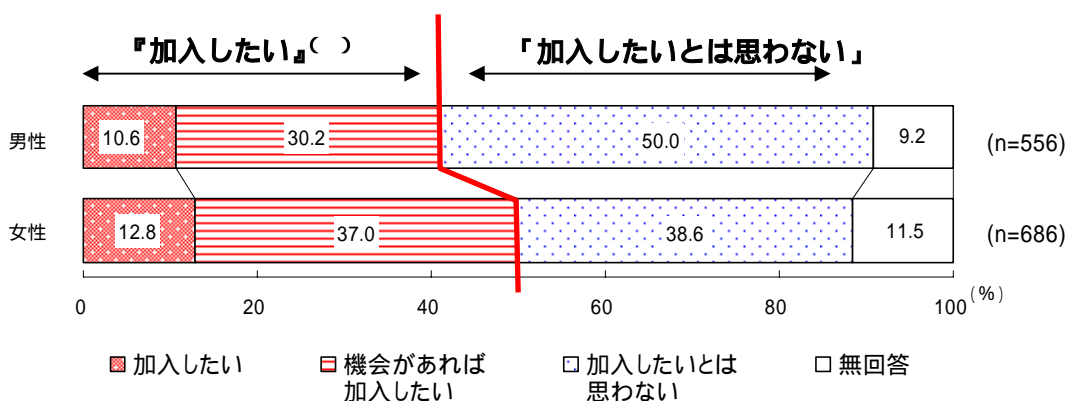
『加入したい』^()が 5 割弱、「加入したいとは思わない」は 4 割強



()『加入したい』は「加入したい」+「機会があれば加入したい」。

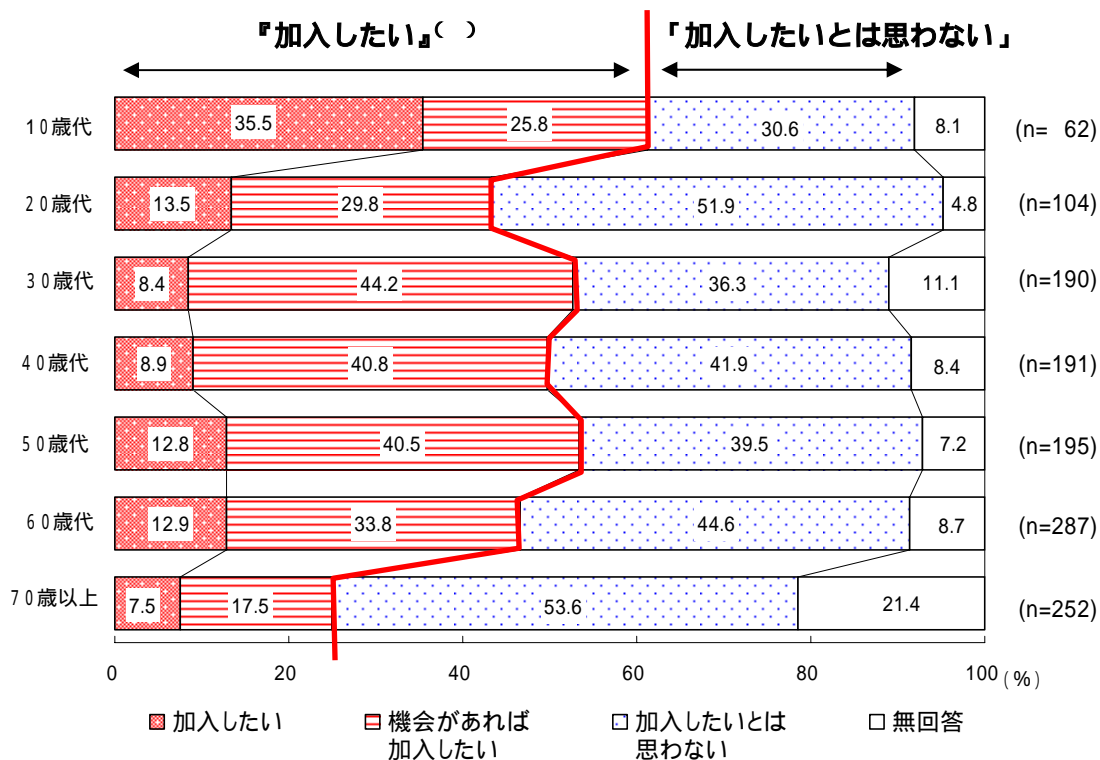
今後、クラブや同好会、教室などへの加入について、「加入したいとは思わない」と答えた人は 43.8%で最も高くなっています。次いで「機会があれば加入したい」33.6%、「加入したい」11.7%で、合わせて『加入したい』^()人は 5 割弱を占めており、「加入したいとは思わない」を上回っています。

女性の方が男性よりも『加入したい』人の割合は高い



男女別にみると、男性は『加入したい』^()人の割合は 40.8%、女性では 49.8%となっており、女性の方が男性よりも『加入したい』と考えている人の割合が高くなっています。

10歳代の若い人は『加入したい』人の割合が最も高い
70歳以上の高齢者は『加入したい』人の割合が最も低い



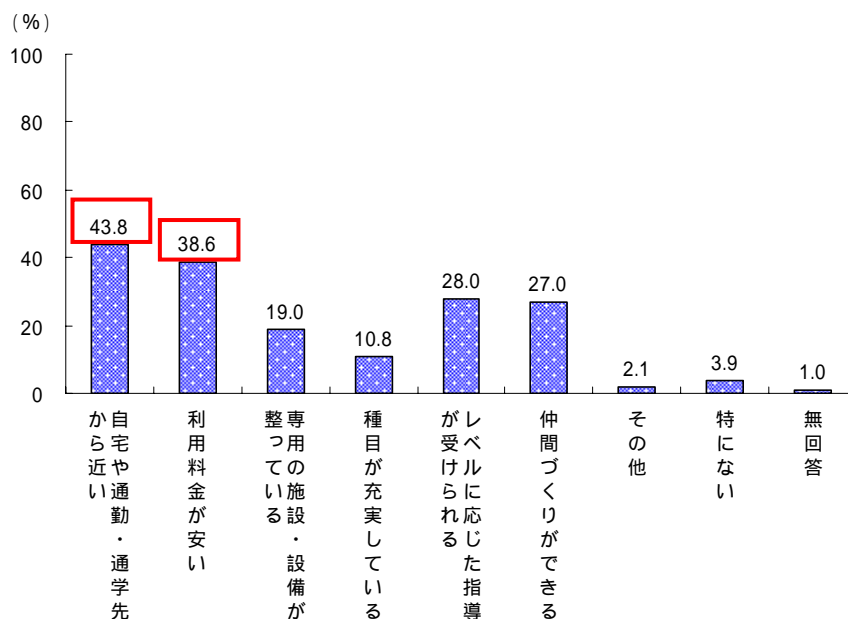
年齢別にみると、10歳代で『加入したい』と考えている人の割合が最も高く、次いで50歳代となっています。反対に、70歳以上では『加入したい人』の割合が最も低くなっています。

・調査結果の分析

問 19-1 . 加入したいと思うクラブや同好会、教室の条件は何ですか。(〃は2つまで)

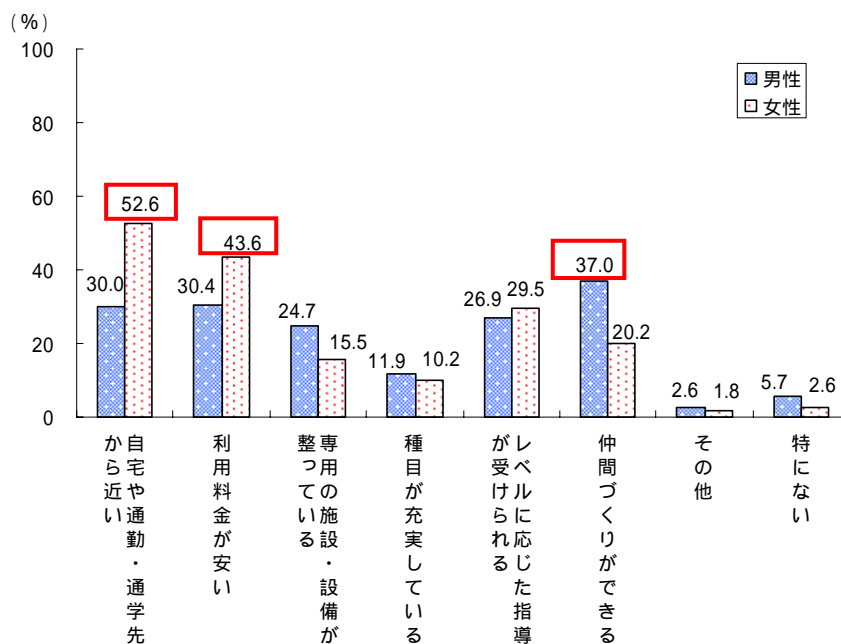
〈今後、加入したいと思っている人に対して〉

「自宅や通勤・通学先から近い」が4割強、
「利用料金が安い」は4割弱



「自宅や通勤・通学先から近い」と答えた人は43.8%で最も高く、次いで「利用料金が安い」38.6%となっています。さらに、「レベルに応じた指導が受けられる」28.0%、「仲間づくりができる」27.0%の順となっています。

女性では「自宅や通勤・通学先から近い」、「利用料金が安い」が高い
 男性では「仲間づくりができる」は最も高い
 男女間で差が見られる



男女別にみると、男性では「仲間づくりができる」の割合が最も高く、次いで「利用料金が安い」、「自宅や通勤・通学先から近い」の順となっています。

一方、女性では「自宅や通勤・通学先から近い」の割合が最も高く、次いで「利用料金が安い」、「レベルに応じた指導が受けられる」の順となっており、男女で異なります。

また、「自宅や通勤・通学先から近い」、「利用料金が安い」の割合については、女性では特に高く、反対に「仲間づくりができる」では女性がやや低く、男女間で格差が見られます。

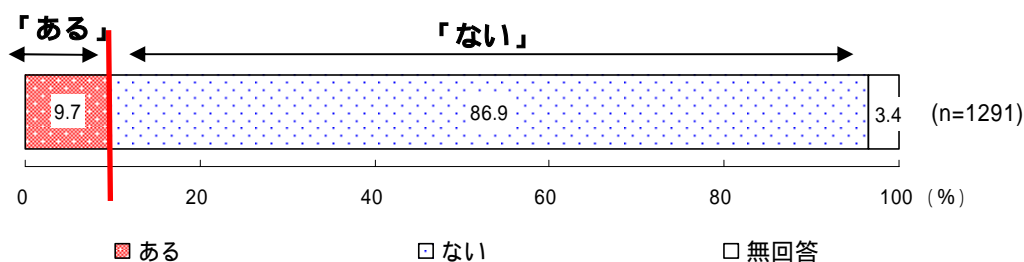
・調査結果の分析

5 . 学校体育施設について

5 - 1 学校体育施設の利用状況【問 20】

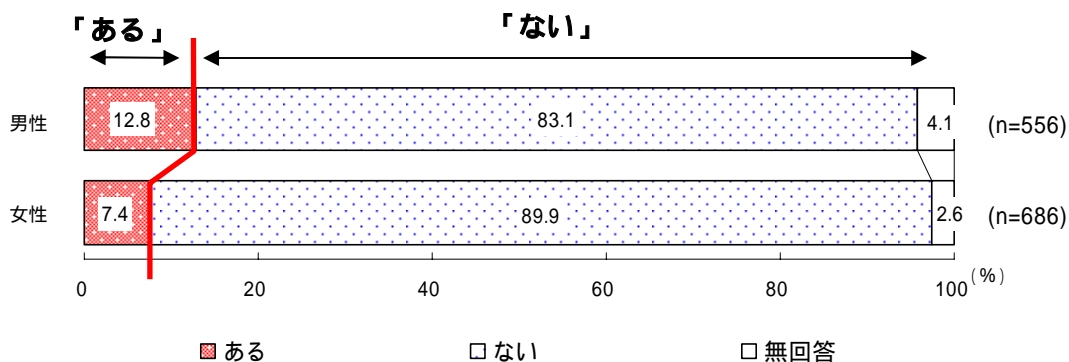
問 2 0 . あなたは、この 1 年間で、市内の学校体育施設（小・中・高校の体育館や運動場など）を利用したことがありますか。（　は 1 つ）
学生の場合は、通っている学校以外でお答えください。

「ある」が 1 割、「ない」は 9 割弱



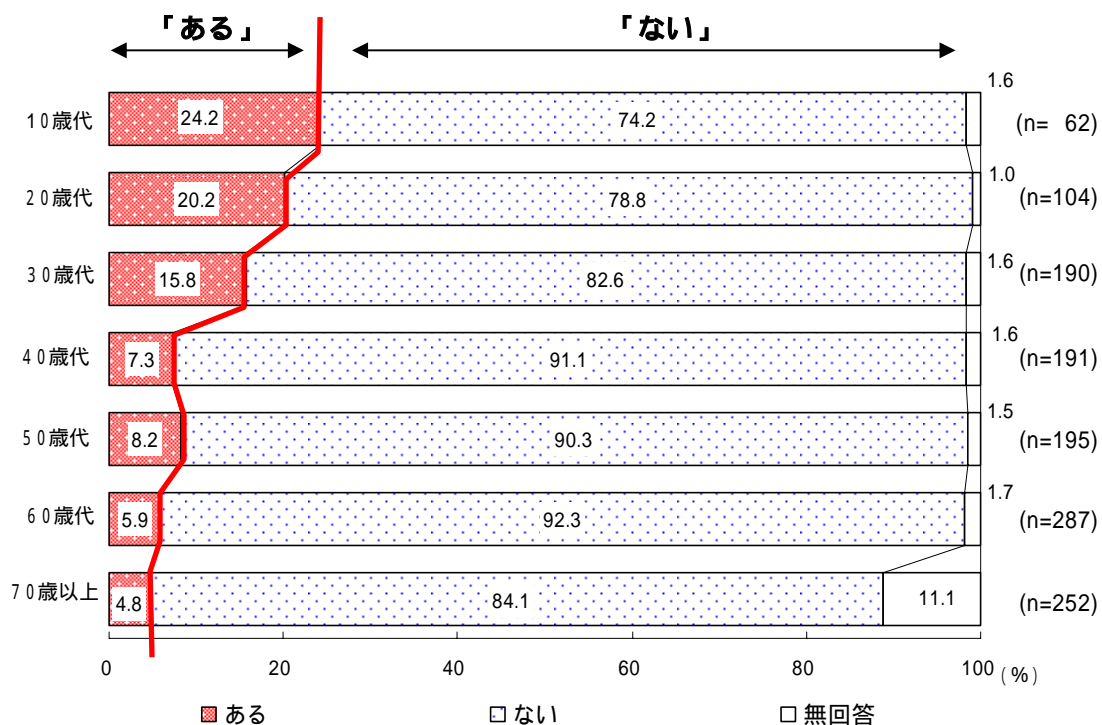
この 1 年間で、市内の学校体育施設の利用有無について、「ある」と答えた人は 9.7%となっており、「ない」が 86.9%となっています。9 割弱の人が、この 1 年間で学校体育施設の利用はありませんでした。

男性の方が女性よりも「ある」の割合は若干高い



男女別にみると、男性は「ある」と答えた人の割合は 12.8%、女性では 7.4%となっており、男性の方が女性よりも、この 1 年間で学校体育施設を利用したことが「ある」人の割合が若干高くなっています。

10歳代、20歳代の若い人の方が利用している
おおむね年齢が高くなるにつれて、利用の割合は減少



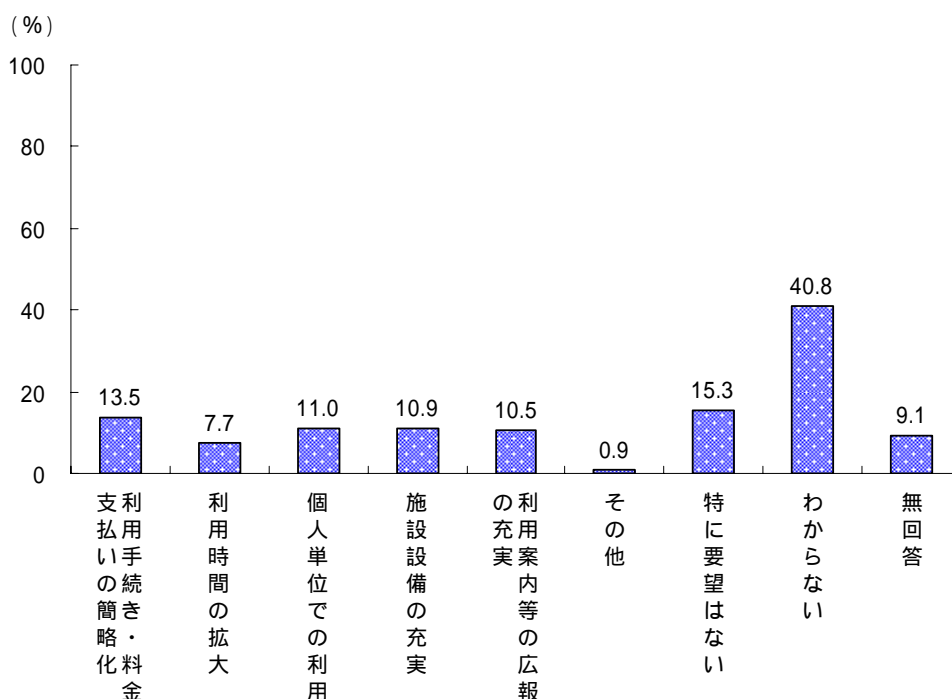
年齢別にみると、10歳代で「ある」と答えた人の割合が最も高く、次いで20歳代となっています。反対に、70歳以上では「ある」と答えた人の割合が最も低くなっており、おおむね年齢が高くなるにつれて、利用していないと答えています。

・調査結果の分析

5 - 2 学校体育施設に対する意向【問 21】

問 2 1 . 学校体育施設を利用する上で、どのようなことを望みますか。(〃 は 2 つまで)

「利用手続き・料金支払いの簡略化」
「個人単位での利用」、「施設設備の充実」
「利用案内等の広報の充実」がそれぞれ 1 割超
ただし、「わからない」が 4 割、「特に要望はない」は 2 割弱



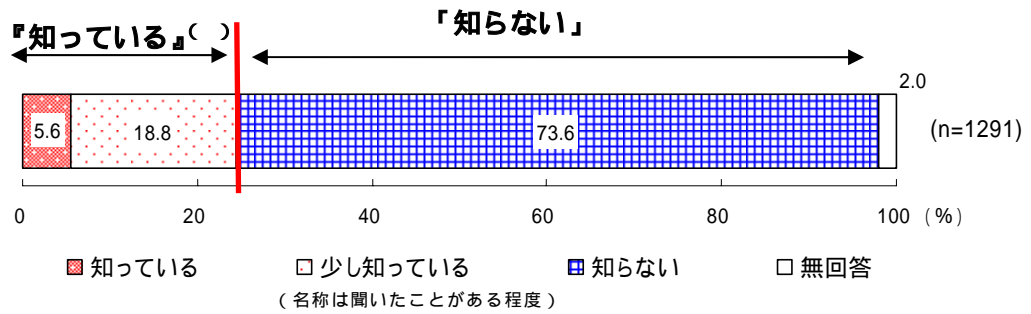
「利用手続き・料金支払いの簡略化」と答えた人は 13.5%で最も高く、次いで「個人単位での利用」11.0%、「施設設備の充実」10.9%、「利用案内等の広報の充実」10.5%の順となっています。ただ、「わからない」と答えた人が 40.8%となっており、さらに、「特に要望はない」が 15.3%となっています。

6. スポーツ推進委員について

6-1 スポーツ推進委員についての認知度【問22】

問22. スポーツ推進委員について知っていますか。()は1つ)

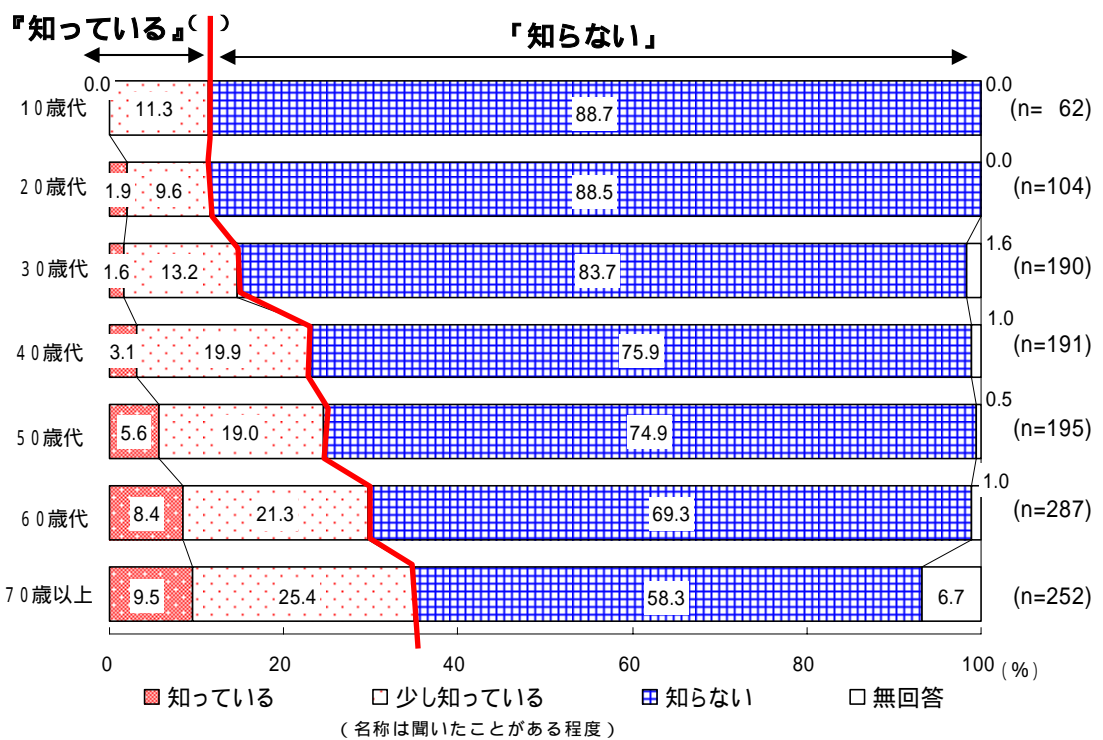
『知っている』()が2割強、「知らない」は7割強



() 『知っている』は「知っている」+「少し知っている」

スポーツ推進委員について、「少し知っている(名称は聞いたことがある程度)」と答えた人は18.8%、「知っている」5.6%で、合わせて『知っている』()人の割合は2割強となっています。反対に、「知らない」と答えた人は73.6%で最も高い結果となっています。

70歳以上で『知っている』が最も高い
年齢が高くなるにつれて、『知っている』人の割合は増加



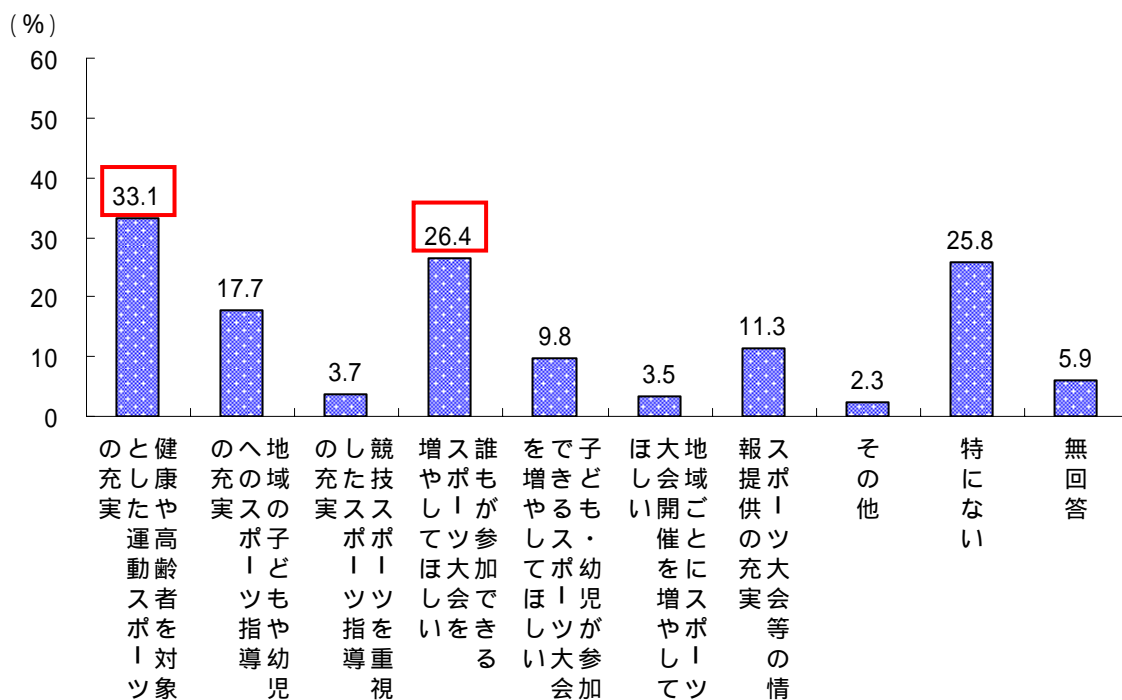
年齢別にみると、70歳以上では『知っている』と答えた人の割合が最も高くなっており、年齢が高くなるにつれて、『知っている』と答えています。

・調査結果の分析

6 - 2 今後のスポーツ推進委員の活動【問 23】

問 2 3 . 今後、スポーツ推進委員の活動^(注)について、どのような点に力を入れてほしいとお考えですか。 (は2つまで)

「健康や高齢者を対象とした運動・スポーツ」が3割強、
 「誰もが参加できる、楽しいスポーツ大会」は3割弱
 「特にない」は1 / 4 を占める



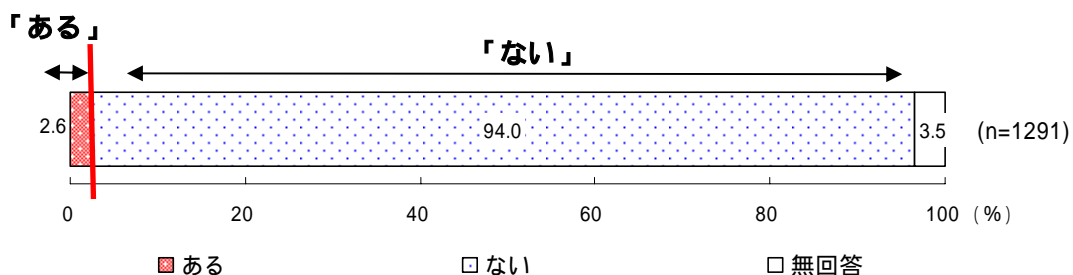
「健康や高齢者を対象とした運動・スポーツの充実」と考えている人が 33.1%で最も高く、次いで「誰もが参加できる、楽しいスポーツ大会を増やしてほしい」と考えている人が 26.4%となっています。また、「特にない」と答えた人は 25.8%となっています。

7. スポーツボランティアについて

7-1 スポーツボランティア活動参加の有無【問24】

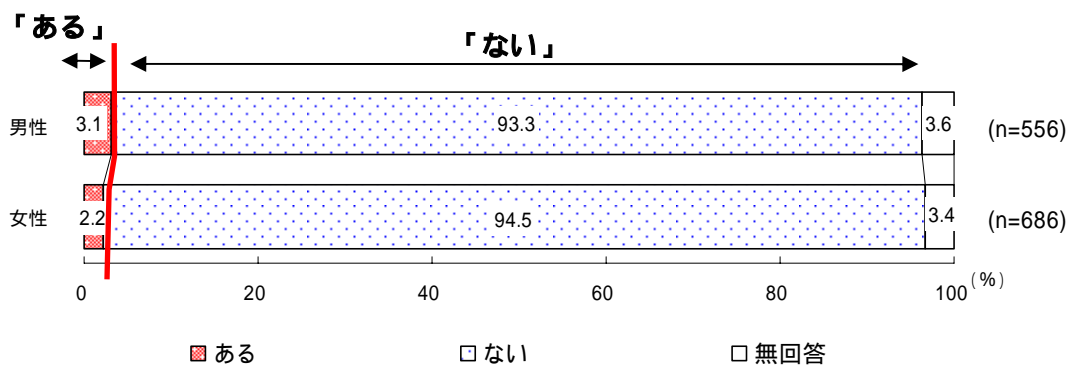
問24. あなたは、この1年間で運動・スポーツに関わるボランティア活動に参加したことがありますか。(は1つ)

「ある」が1割を大幅に下回る、「ない」は9割強



この1年間で、運動・スポーツに関わるボランティア活動の参加有無について、「ある」と答えた人は2.6%となっており、「ない」が94.0%となっています。

男女ともに「ある」の割合は低い



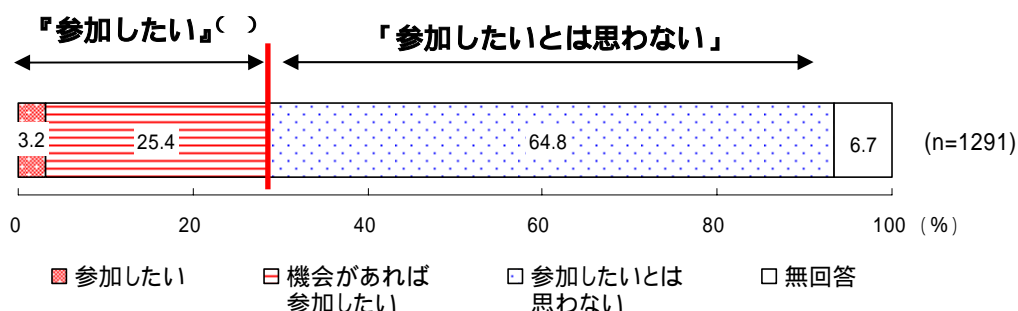
男女別にみると、男性は「ある」と答えた人の割合は3.1%、女性では2.2%となっており、男女ともに、この1年間で運動・スポーツに関わるボランティア活動の参加は少ない結果となっています。

・調査結果の分析

7 - 2 今後、スポーツボランティア活動参加の意向【問 25】

問 2 5 . 今後、運動・スポーツに関わるボランティア活動に参加したいと思いますか。
 () は1つ)

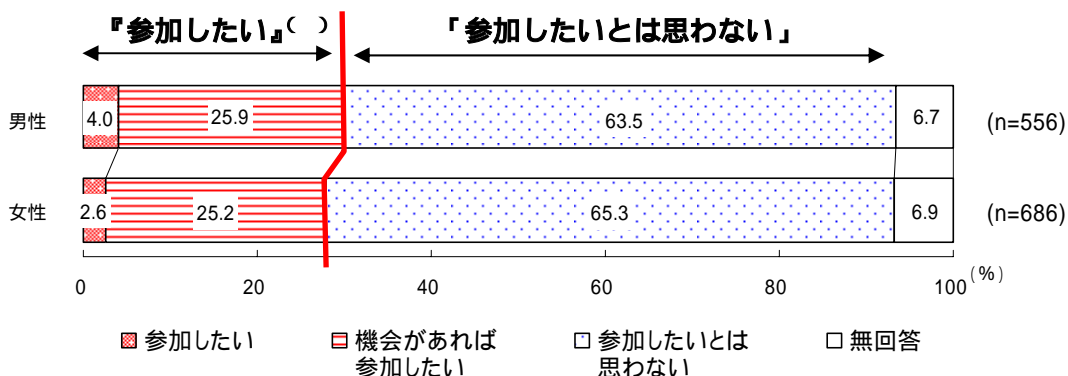
『参加したい』() が3割弱、「参加したいとは思わない」は6割強



() 『参加したい』は「参加したい」+「機会があれば参加したい」。

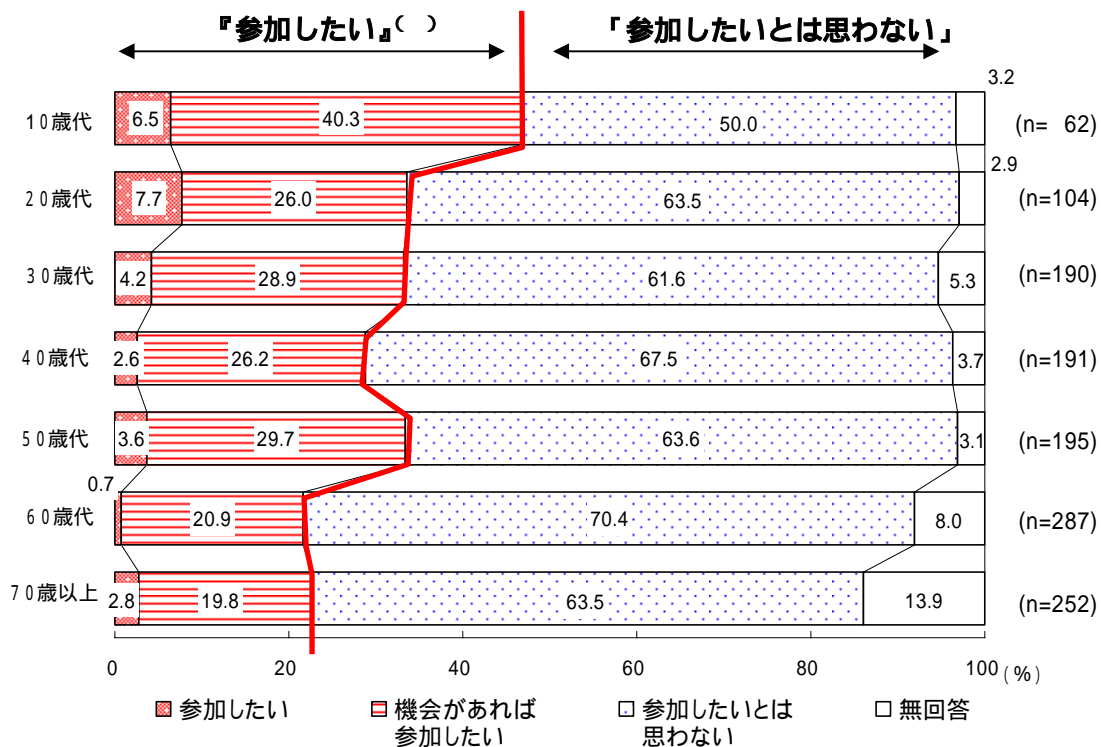
今後、運動・スポーツに関わるボランティア活動の参加について、「参加したいとは思わない」と答えた人は64.8%で最も高くなっています。次いで「機会があれば参加したい」25.4%、「参加したい」3.2%で、合わせて『参加したい』()人は3割弱となっています。

男性の方が女性よりも『参加したい』の割合は高い



男女別にみると、男性は『参加したい』人の割合は29.9%、女性では27.8%となっており、男性の方が女性よりも『参加したい』と考えている人の割合が高くなっています。

10歳代の若い人は『参加したい』の割合が最も高い
60歳以上の高年齢者では『参加したい』の割合が低い



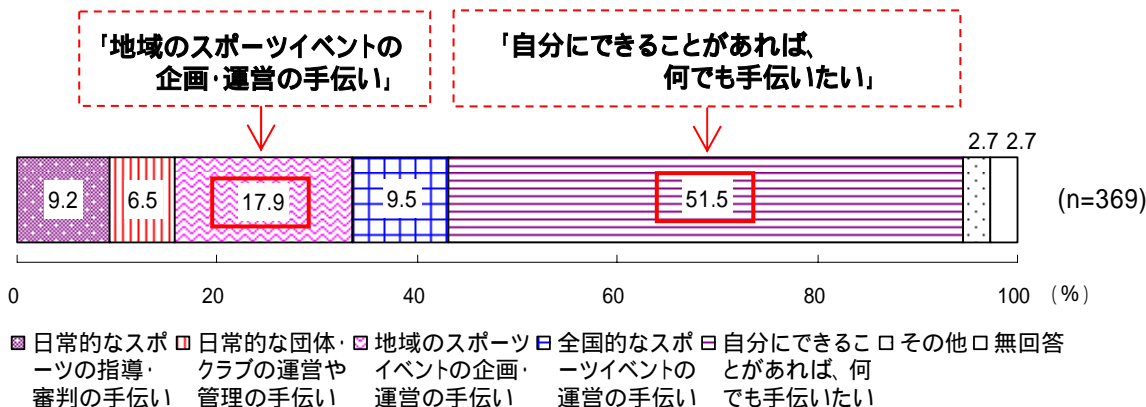
年齢別にみると、10歳代で『参加したい』と考えている人の割合が最も高く、次いで50歳代となっています。反対に、60歳以上の高年齢者では『参加したい』の割合が低くなっています。

・調査結果の分析

問 25-1 . 今後、行いたいスポーツボランティアは何ですか。(〃 は1つ)

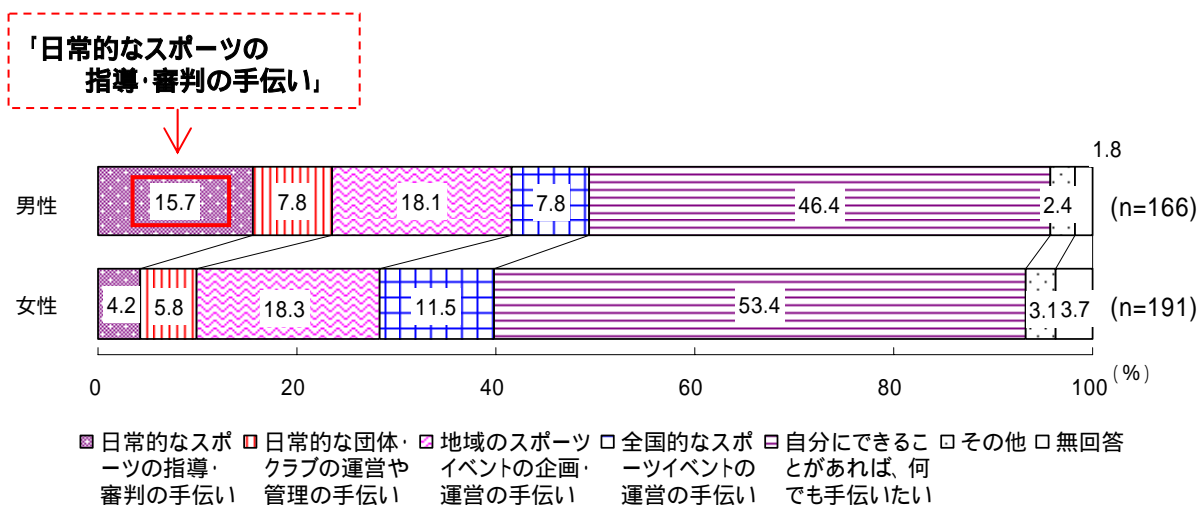
《今後、『参加したい』と答えた人に対して》

「自分にできることがあれば、何でも手伝いたい」が5割強
 「地域のスポーツイベントの企画・運営の手伝い」は2割弱



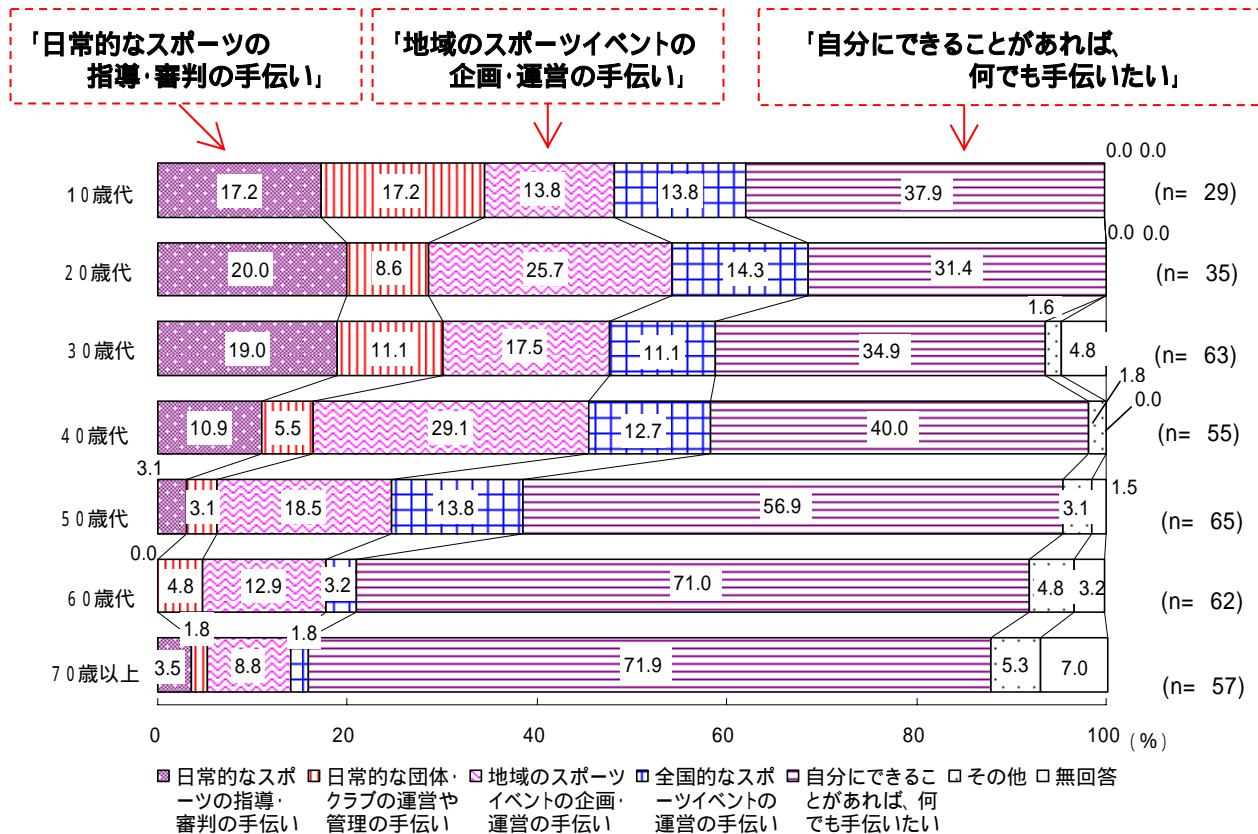
今後、運動・スポーツに関わるボランティア活動に参加したいと考えている人に対して、「自分にできることがあれば、何でも手伝いたい」と考えている人が 51.5%で最も高く、半数を超えています。次いで「地域のスポーツイベントの企画・運営の手伝い」と考えている人が 17.9% となっています。

男女ともに「自分にできることがあれば、何でも手伝いたい」が最も高い
 「日常的なスポーツの指導・審判の手伝い」は、男女格差が見られる



男女別にみると、男女ともに「自分にできることがあれば、何でも手伝いたい」の割合が最も高く、次いで「地域のスポーツイベントの企画・運営の手伝い」となっています。ただ、「日常的なスポーツの指導・審判の手伝い」については、男女間で格差が見られます。

各年齢層ともに「自分にできることがあれば何でも手伝いたい」
の割合が最も高い
年齢層が高くなるにつれて、その傾向は強い



年齢別にみると、各年齢層で「自分にできることがあれば、何でも手伝いたい」の割合が最も高くなっています。さらに、年齢層が高くなるにつれて、その割合は高くなっています。次いで、「地域のスポーツイベントの企画・運営の手伝い」については、40歳代、20歳代で他の年齢層と比較して高くなっています。また、若い年齢層では意見が分かれていることが見てとれます。

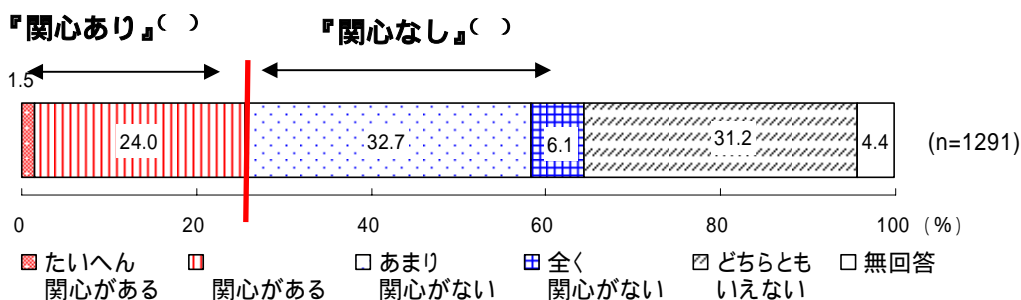
・調査結果の分析

8 . 障がい者スポーツについて

8 - 1 障がい者スポーツに対する関心度【問 26】

問 2 6 . 障がい者スポーツに関心がありますか。() は1つだけ)

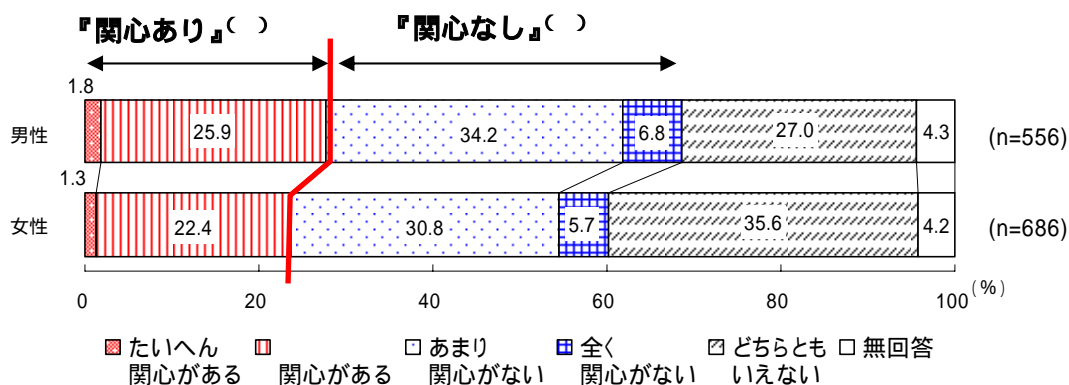
『関心あり』() が3割弱、『関心なし』() は4割弱
 『どちらともいえない』は3割強



() 『関心あり』は「たいへん関心がある」+「関心がある」。
 『関心なし』は「あまり関心がない」+「全く関心がない」。

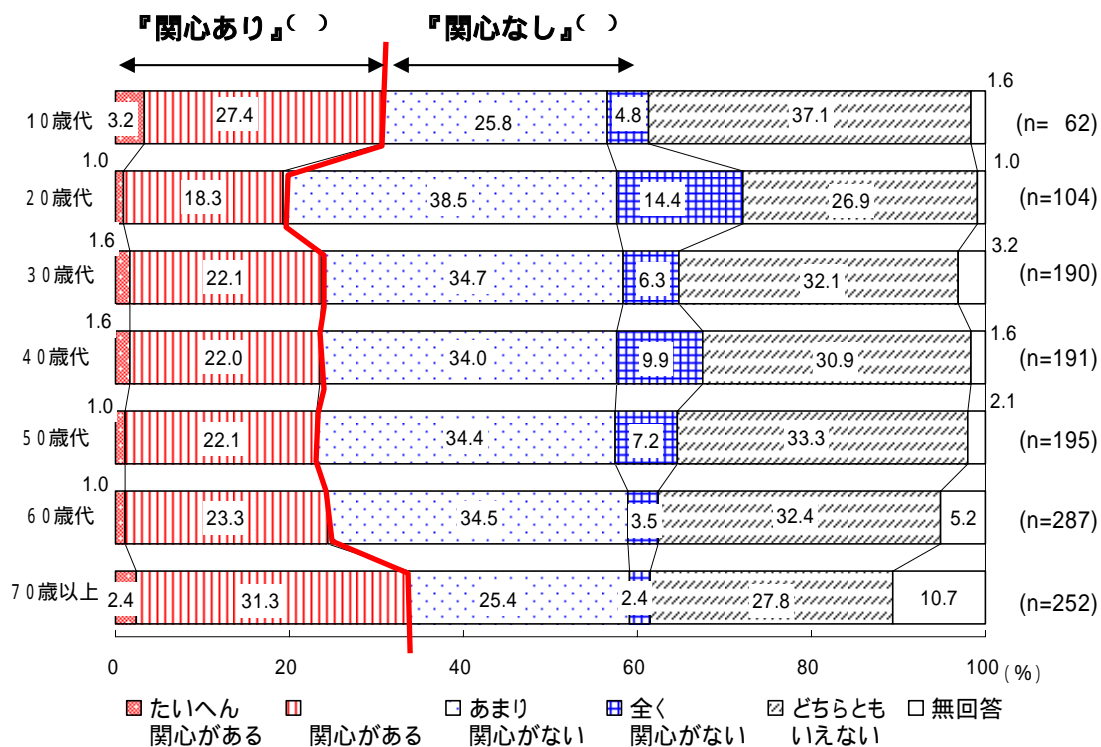
「あまり関心がない」の割合が32.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」31.2%、「関心がある」24.0%、「全く関心がない」6.1%、「たいへん関心がある」1.5%の順となっています。「関心がある」と「たいへん関心がある」を合わせると3割弱の人が『関心あり』()と答えています。反対に、「あまり関心がない」と「全く関心がない」を合わせると『関心なし』()と答えている人は4割弱で、『関心あり』を上回っています。ただ、「どちらともいえない」と答えた人は3割強となっており、どちらかといえば、関心が薄い傾向となっています。

男性の方が女性よりも『関心あり』()の割合が若干高い



男女別にみると、男性の方が女性よりも『関心あり』の割合が若干高くなっています。女性では「どちらともいえない」と答えた人の割合が高くなっています。

70歳以上で関心度は最も高い
 反対に、20歳代で『関心なし』()の割合が最も高い



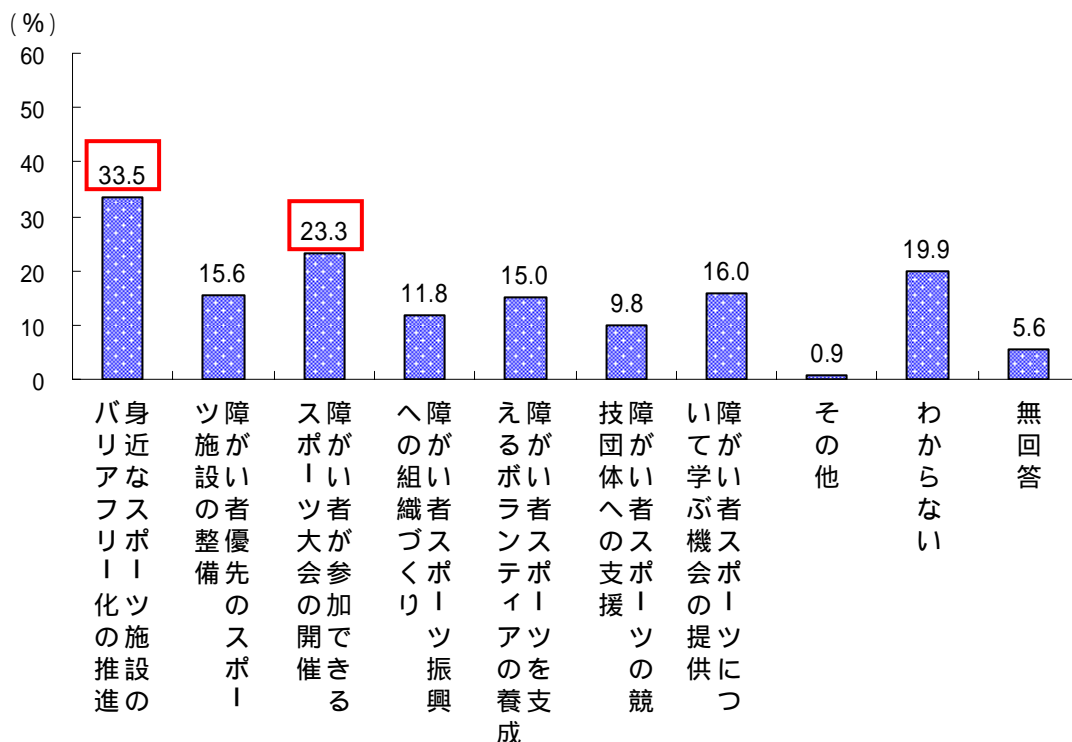
年齢別にみると、70歳以上では『関心あり』の割合が最も高くなっており、次いで10歳代となっています。反対に、関心が最も低いのは20歳代で、20歳代の半数を超える人は『関心なし』と答えています。

・調査結果の分析

8 - 2 障がい者スポーツ普及・振興に重要な点【問 27】

問 27 . 障がいのある人の運動・スポーツの普及・振興のために、主に何が重要である
と
思いますか。(は2つまで)

「身近なスポーツ施設のバリアフリー化の推進」が3割強、
「障がい者が参加できるスポーツ大会の開催」は2割強
「わからない」は2割



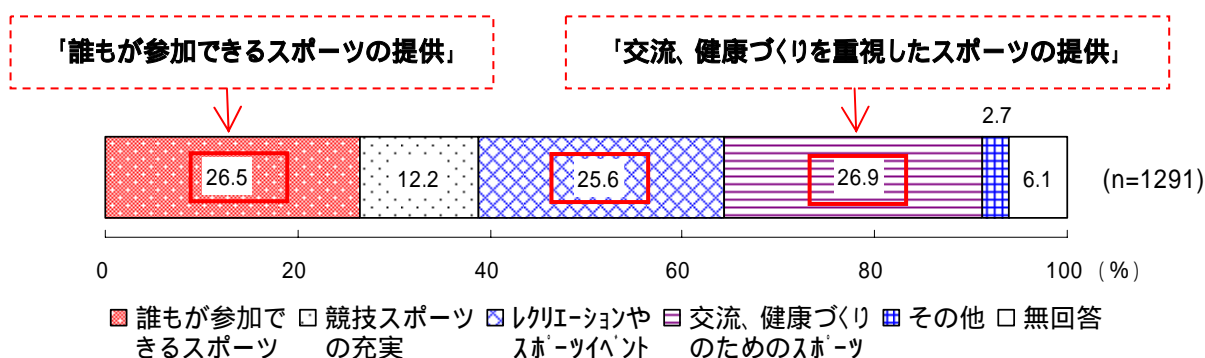
「(既存の)身近なスポーツ施設のバリアフリー化の推進」と考えている人が 33.5%で最も高く、次いで「障がい者が参加できるスポーツ大会の開催(障がいのある人も参加できるスポーツ大会の開催)」と考えている人が 23.3%となっています。また、「わからない」と答えた人は 19.9%となっています。

9. 今後のスポーツ振興のために必要な施策について

9-1 今後、松阪市がめざすスポーツ【問28】

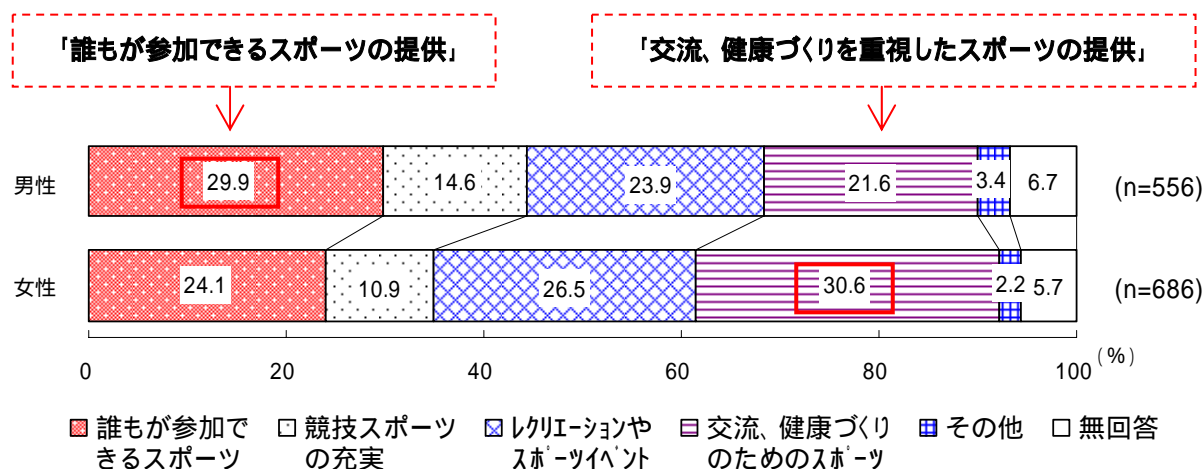
問28. 今後、松阪市が“めざすスポーツ”として、どのように考えたらよいと思いますか。
 (は1つ)
 あなたの意見に最も近いものに 印をつけてください。

「交流、健康づくりを重視したスポーツの提供」
 「誰もが参加できるスポーツの提供」
 「レクリエーションやスポーツイベントの提供」がそれぞれ3割弱



今後、松阪市が“めざすスポーツ”として、どのような考え方を中心に実施していけばよいかを聞いたところ、「交流、健康づくりを重視したスポーツの提供（交流の場をつくる）」と考えている人が26.9%で、次いで「誰もが参加できるスポーツの提供（スポーツ、競技を多くの人に広げる）」26.5%、「レクリエーションやスポーツイベントの提供（楽しさ、ストレス解消などを目標に）」25.6%となっており、3つの意見に分れています。さらに、「競技スポーツの充実（個人などの能力向上、心身を鍛える。特に子どもや若年者などに）」12.2%となっています。

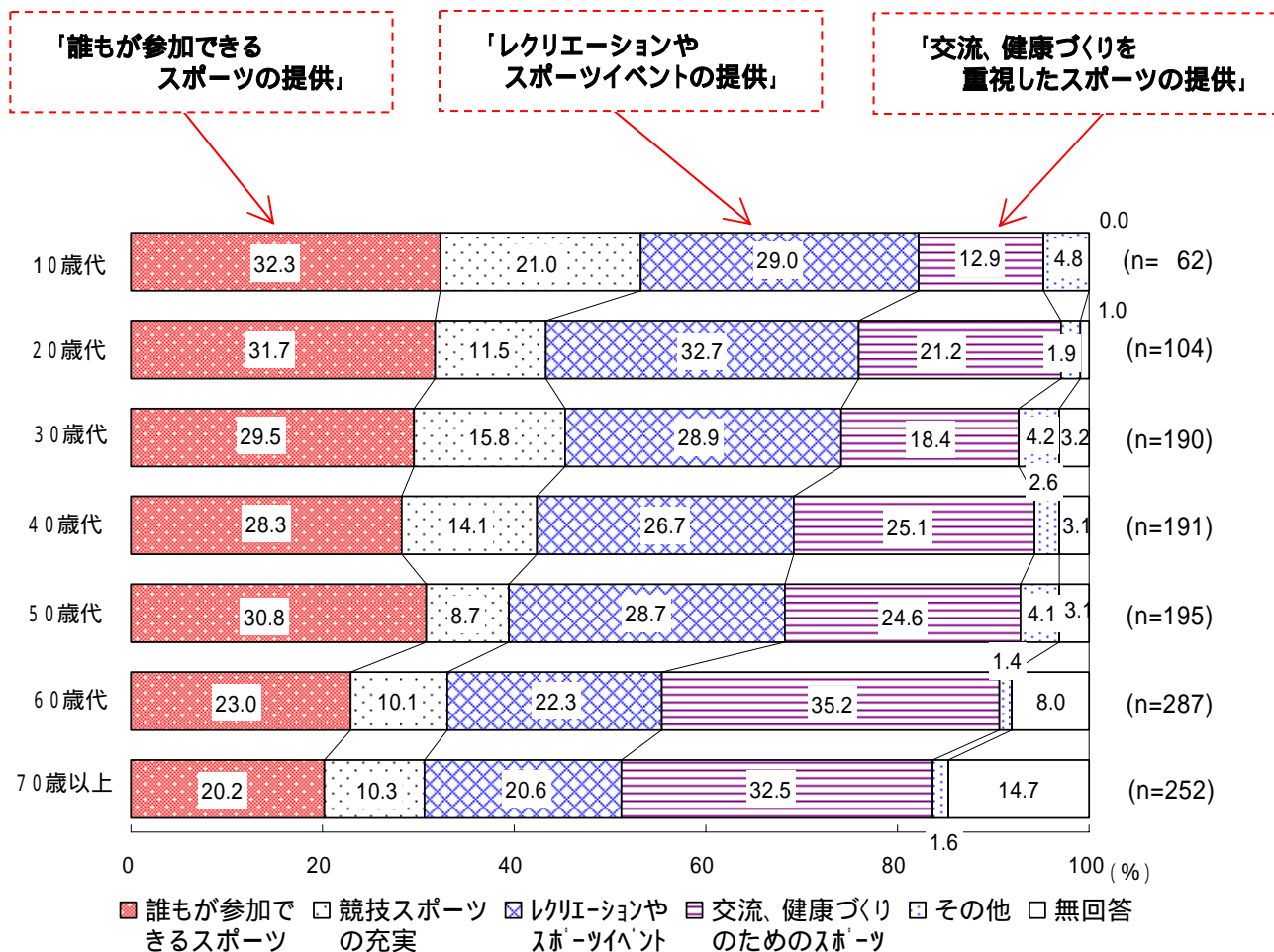
男性は「誰もが参加できるスポーツの提供」が最も高い
 女性は「交流、健康づくりを重視したスポーツの提供」が最も高い



男女別にみると、男性では「誰もが参加できるスポーツの提供」が最も高く、女性では「交流、健康づくりを重視したスポーツの提供」が最も高くなっており、男女間で若干差が見られます。

・調査結果の分析

60歳代、70歳以上では「交流、健康づくりを重視したスポーツの提供」、
 10歳代、30～50歳代では「誰もが参加できるスポーツの提供」、
 20歳代では「レクリエーションやスポーツイベントの提供」
 が最も高く、年齢層で若干異なる

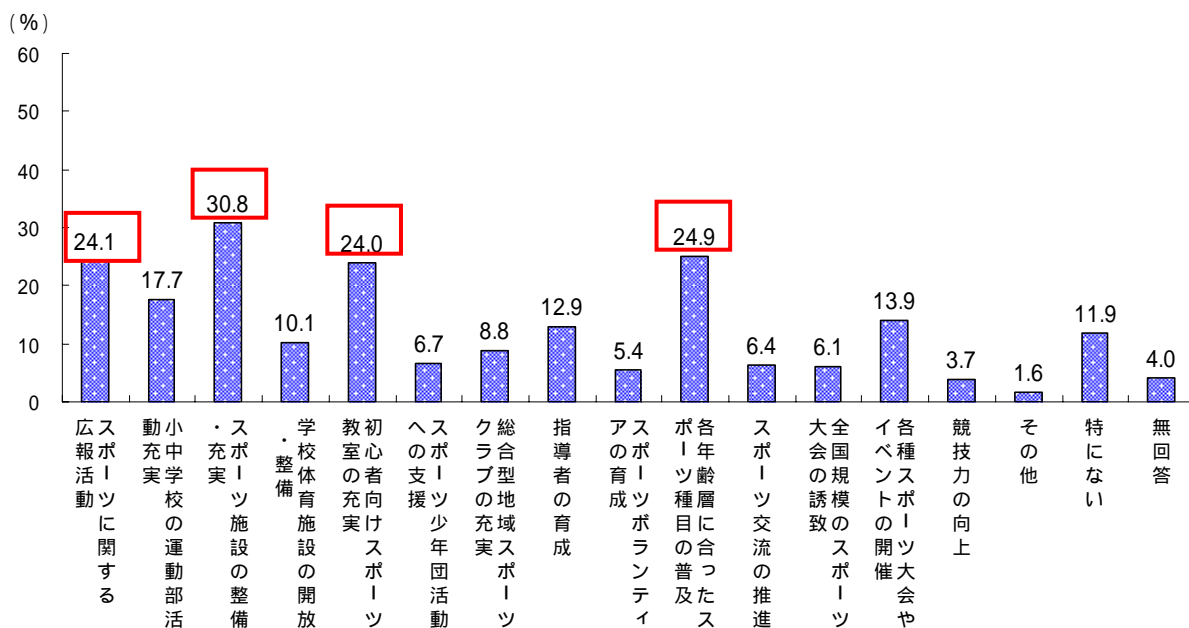


年齢別にみると、60歳代、70歳以上の高齢層では「交流、健康づくりを重視したスポーツの提供」の割合が最も高くなっており、20歳代では「レクリエーションやスポーツイベントの提供」の割合が最も高く、それ以外の年齢層では「誰もが参加できるスポーツの提供」の割合が最も高くなっています。各年齢層により重視する点が若干異なっていることが見てとれます。

9 - 2 今後、スポーツ振興のために取り組むべき施策【問 29】

問 29 . 今後、スポーツ振興のために、松阪市として特にどのような施策に取り組むべきだと思いますか。(は3つまで)

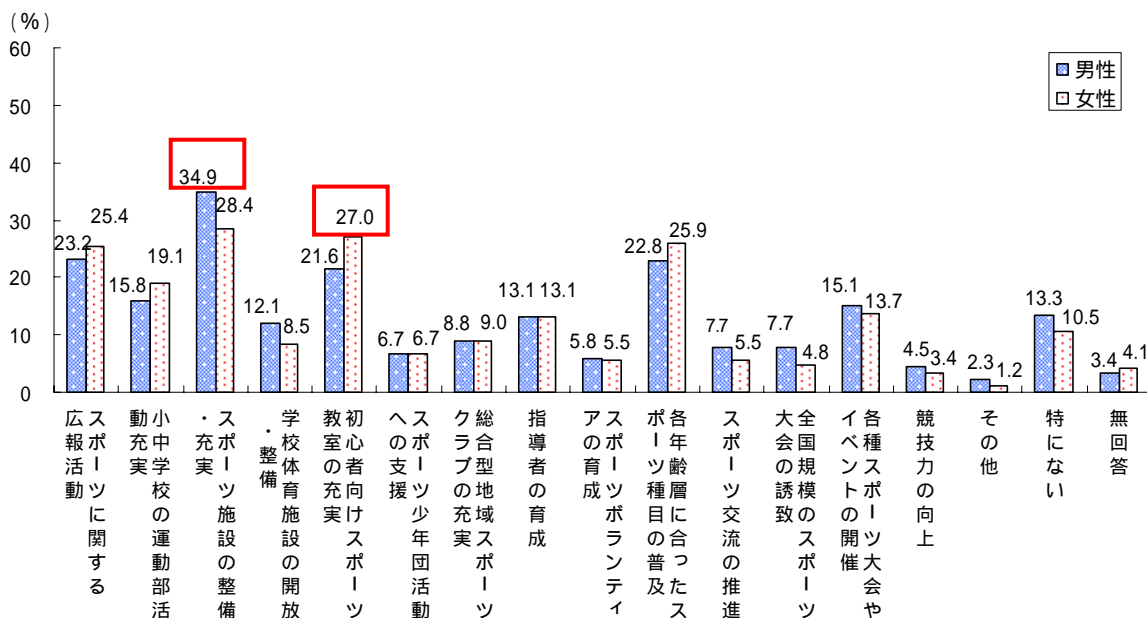
「スポーツ施設の整備・充実」が3割、
 「各年齢層に合ったスポーツ種目の普及」、
 「スポーツに関する広報活動」、「初心者向けスポーツ教室の充実」
 はそれぞれ2割強
 なお、「特にない」は1割強



今後、松阪市がスポーツ振興のために取り組む施策として、「スポーツ施設の整備・充実」を望む声の割合が 30.8%で最も高く、次いで「各年齢層に合ったスポーツ種目の普及」24.9%、「スポーツに関する広報活動」24.1%、「初心者向けスポーツ教室の充実」24.0%の順となっています。なお、「特にない」と考えている人は 11.9%となっています。

・調査結果の分析

男女ともに「スポーツ施設の整備・充実」が最も高い
特に、男性が望む声が高く、3割強を占める
男女間で取り組むべき施策内容が若干異なる



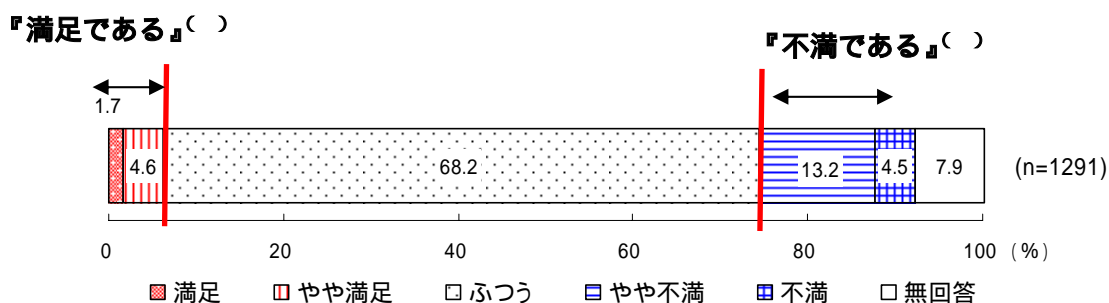
男女別にみると、男女ともに「スポーツ施設の整備・充実」を望む声が最も高くなっていますが、男性 34.9%、女性 27.0%で、男性の方が女性よりも大きく上回っています。反対に、「各年齢層に合ったスポーツ種目の普及」、「スポーツに関する広報活動」、「初心者向けスポーツ教室の充実」については、女性の方が男性よりも高くなっています。特に「初心者向けスポーツ教室の充実」については、男女間で格差が見られます。

10 . 現在のスポーツ行政に対する評価について

10 - 1 現在の松阪市のスポーツ政策に対する満足度【問30】

問30 . 現在の松阪市のスポーツに対する政策について、どのように感じていますか。
 () は1つだけ

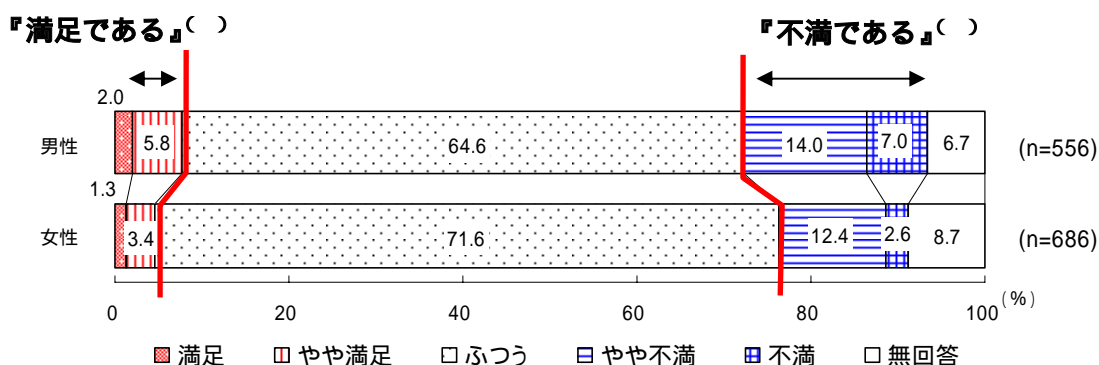
「ふつう」は7割弱、
 『満足である』()が1割弱、『不満である』()は2割弱



() 『満足である』は「満足」+「やや満足」。
 『不満である』は「やや不満」+「不満」。

「ふつう」の割合が68.2%で最も高くなっています。次いで「やや不満」13.2%、「やや満足」4.6%、「不満」4.5%、「満足」1.7%の順となっています。「満足」と「やや満足」を合わせると『満足である』()と考えている人は1割弱に留まっています。反対に、『不満である』()と思っている人は2割弱で、『満足である』を上回っています。

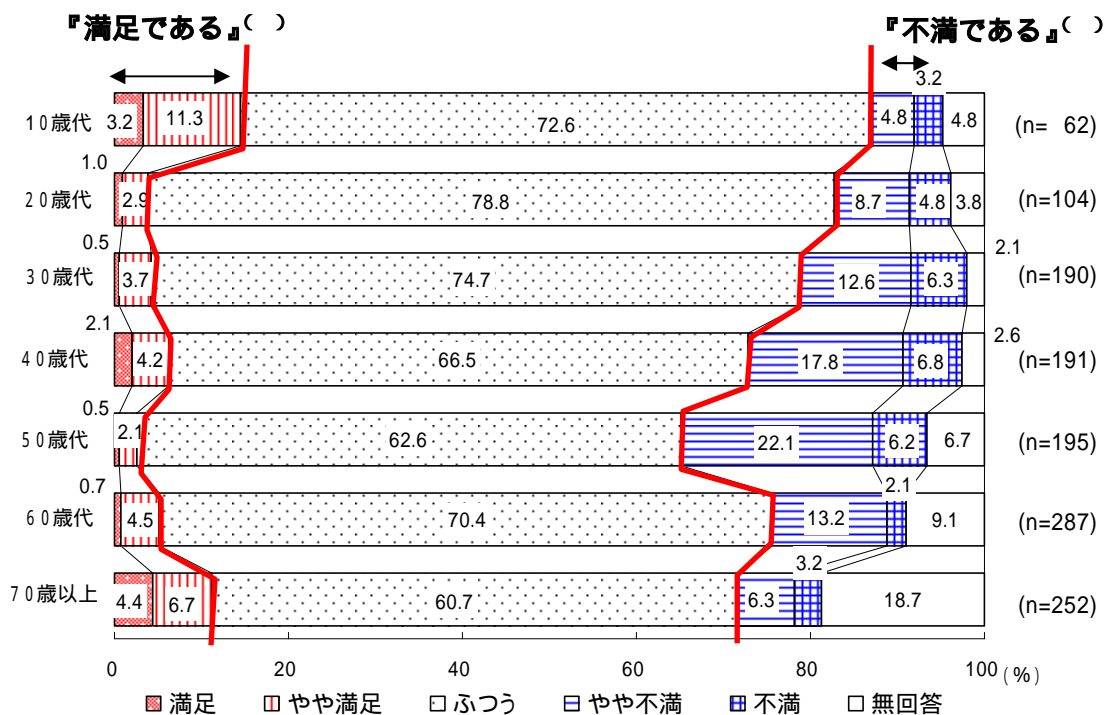
男性の方が女性よりも『不満である』の割合が若干高い



男女別にみると、男性の方が女性よりも『不満である』の割合が若干高くなっています。

・調査結果の分析

50歳代では『不満である』の割合が最も高い
 10歳代では『満足である』の割合が最も高い



年齢別にみると、50歳代では『不満である』の割合が最も高くなっており、次いで40歳代となっています。反対に、10歳代では『満足である』の割合が最も高くなっていきます。次いで70歳以上となっています。

11. 自由意見

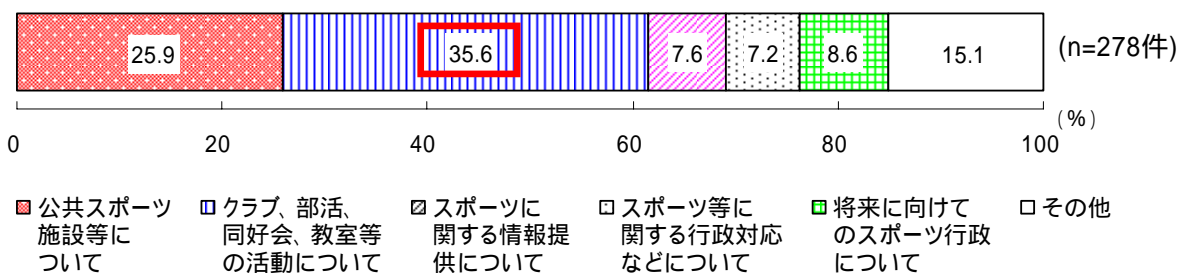
運動・スポーツに関してご意見やご要望などがございましたら、ご記入ください。

運動・スポーツに関するご意見やご要望などについては、1,291人の回答者のうち251人の方から278件のご意見やご要望などをいただきました。いただきましたご意見やご要望などは、下記に示す6つの項目に分類し、整理いたしました。

【項目別にみる件数】

日頃、運動やスポーツ活動に関する「2. クラブ、部活、同好会、教室等の活動について」に対する意見が35.6%で最も多く、次いで、公共スポーツ施設などのハード面を中心とした「1. 公共スポーツ施設等について」25.9%の順となっています。なお、「6. その他」については、アンケート調査に関する意見、回答者自身についての健康状態などが含まれています。

内 容 項 目	件 数	構成比(%)
1. 公共スポーツ施設等について	72	25.9
2. クラブ、部活、同好会、教室等の活動について	99	35.6
3. スポーツに関する情報提供について	21	7.6
4. スポーツ等に関する行政対応などについて	20	7.2
5. 将来に向けてのスポーツ行政について	24	8.6
6. その他	42	15.1
合 計	278	100.0



「2. クラブ、部活、同好会、教室等の活動について」では、子どもや生徒に対する運動・スポーツに関する意見から高齢者や誰もが参加できるイベント開催などさまざまな意見をいただきました。特に、夏の高校野球の話題もあり、競技スポーツに関する意見も見られました。

「1. 公共スポーツ施設等について」では、プールやトレーニングジムなどの施設の充実を望む声がありました。また、ウォーキングを行っている人が多いことから、公園や散歩道などの手軽に運動できる場所を望む声も見られました。小さな子どもが遊ぶことができる場所や犬などのペットと一緒に運動できる場所などの意見もありました。

「5. 将来に向けてのスポーツ行政について」では、手軽に身近にできるスポーツを望む意見がありました。また、運動に興味がない人や苦手な人に対していかにスポーツをする環境に導くかが課題であるという意見がありました。

12. 分析とりまとめ

ここで、運動・スポーツに関する市民の実態、意識、意向等について整理すると、次のとおりである。

1. 健康状態について

(1) 健康状態

- ・『健康である』が8割強、『健康でない』は2割弱。
- ・女性の方が男性よりも若干『健康である』が高い。
- ・年齢層が高くなるにつれて『健康でない』が高い。

(2) 体力に対する自信

- ・『自信あり』が4割弱、『不安あり』は5割を超える。
- ・女性の方が男性よりも体力に不安あり。
- ・40歳代で『不安あり』の割合が最も高い。

2. スポーツ活動の状況について

(1) 運動・スポーツへの関心

- ・『関心あり』が6割強、『関心なし』は3割弱。
- ・男性の方が女性よりも『関心あり』の割合が高い。
- ・10歳代、20歳代の若い人の方が『関心あり』の割合が高い。

(2) 運動・スポーツの実施状況（この1年間で）と実施頻度等

《実施しているスポーツ種目》

- ・最も行っているスポーツ「ウォーキング（散歩含む）」が4割強、次いで、「体操（健康体操など）」は1割強。
- ・運動・スポーツを行っていない人は3割強。
- ・ウォーキング以外では男女間で、スポーツ種目に若干違いが見られる。

スポーツを行っている人に対して

《実施頻度》

- ・スポーツを行っている人は、『週に1回以上』行っている人が7割弱。
- ・女性の方が男性よりも『週に1回以上』行っている人の割合は高い
- ・『週に1回以上』行っている人の割合は、60歳代で最も高い。

《主な目的》

- ・『健康・体力づくり』が5割、「運動不足解消」、「楽しみ・気晴らし」は4割弱。

《主な相手》

- ・『自分ひとり』が5割弱、「家族・親戚」は2割強。

スポーツを行っていない人に対して

《行わない理由》

- ・『仕事などで忙しく時間がない』が4割強、「始めるきっかけがない」は2割強。

《今後、運動・スポーツを行うための条件》

- ・『近所など通いやすい場所であれば』が2割強、「休暇が増えれば」、「一緒に行く仲間ができれば」で2割弱。

(3) 今後、行いたい主な運動・スポーツと主な目的

《今後、行いたいスポーツ種目》

- ・最も行いたいスポーツ 「ウォーキング(散歩含む)」が5割、
次いで、「体操(健康体操など)」は1割強。
- ・今後、運動・スポーツを行わない人は1割強。

《主な目的》

- ・「健康・体力づくり」が6割、「運動不足解消」、「楽しみ・気晴らし」は4割弱。

3. 公共スポーツ施設について

(1) 公共スポーツ施設の利用状況

- ・『利用している』が1割強、『利用していない』は8割強。
- ・男性の方が女性よりも『利用している』人の割合は若干高い。
- ・60歳以上の高齢者では『利用している』人の割合は低い。

(2) 公共スポーツ施設に対する満足度

- ・「ふつう」が2割強、『満足である』は1割弱、『不満である』は1割強、
「わからない」人は5割を上回る。
- ・公共スポーツ施設を利用している人は、利用していない人と比較して、『満足である』の割合は高い。
- ・「わからない」と答えた人の割合は、利用していない人の方が高い

(3) 松阪市体育施設予約システムの認知度

- ・『知っている』人が1割強、「知らない」人は9割弱。

(4) 公共スポーツ施設で充実させる点

- ・「施設や設備の充実」が3割弱、「初心者向けのスポーツ教室や行事の充実」、
「利用案内等の広報の充実」、「利用料金の値下げ」は2割弱。
「特になし」が1/4を占める

(5) 今後、整備すべきスポーツ施設

- ・「室内トレーニング施設」が3割強、「専用競技場」、「室内・野外プール」はおおむね2割。
ただし、「特に整備する必要はない」は2割弱。
- ・各地区ともに「室内トレーニング施設」が最も高いが、各地区間で整備・充実を望む声が若干異なる。

4. クラブや同好会、教室について

(1) 総合型地域スポーツクラブの認知度

- ・『知っている』人は1割強、「知らない」人は8割強。
- ・70歳以上、30歳代で『知っている』人の割合は高い。

(2) クラブや同好会、教室などの加入状況等

- ・「加入している」人は1割強、『加入していない』人は8割強。
- ・女性の方が男性よりも『加入している』人の割合は若干高い。
- ・10歳代、20歳代で「加入している」人の割合は高い。

加入している人に対して

〈加入しているクラブや同好会、教室について〉

- ・「友人や仲間で構成しているクラブや同好会」、「民間のスポーツ施設等が開設しているクラブや教室」がそれぞれ3割弱。
- ・男性では「友人や仲間」で構成しているクラブや同好会、女性では「民間のスポーツ施設等」が開設しているクラブや教室の割合が最も高い。

(3) 今後、クラブや同好会、教室などへの加入意向とその条件

- ・『加入したい』が5割弱、「加入したいとは思わない」は4割強。
- ・女性の方が男性よりも『加入したい』人の割合は高い。
- ・10歳代の若い人は『加入したい』人の割合が最も高い。

今後、加入したいと思っている人に対して

〈加入したいと思っているクラブや同好会、教室についての条件〉

- ・「自宅や通勤・通学先から近い」が4割強、「利用料金が安い」は4割弱。
- ・女性では「自宅や通勤・通学先から近い」、「利用料金が安い」が高い。
- ・男性では「仲間づくりができる」は最も高い。

5. 学校体育施設について

(1) 学校体育施設の利用状況（この1年間で）

- ・「ある」が1割、「ない」は9割弱。
- ・10歳代、20歳代の若い人の方が利用している。

(2) 学校体育施設利用に対する意向

- ・「利用手続き・料金支払いの簡略化」、「個人単位での利用」、「施設設備の充実」、「利用案内等の広報の充実」がそれぞれ1割超。ただし、「わからない」が4割、「特に要望はない」は2割弱。

6. スポーツ推進委員について

(1) スポーツ推進委員についての認知度

- ・『知っている』が2割強、「知らない」は7割強。
- ・年齢が高くなるにつれて、『知っている』人の割合は増加。

(2) 今後のスポーツ推進委員の活動

- ・「健康や高齢者を対象とした運動・スポーツ」が3割強、「誰もが参加できる、楽しいスポーツ大会」は3割弱。「特になし」は1/4を占める

7. スポーツボランティアについて

(1) スポーツボランティア活動参加の有無（この1年間で）

- ・「ある」が1割を大幅に下回る、「ない」は9割強。

(2) 今後、スポーツボランティア活動参加の意向とボランティア内容

- ・『参加したい』が3割弱、「参加したいとは思わない」は6割強。
- ・10歳代の若い人は『参加したい』の割合が最も高い。
- ・60歳以上の高齢者では『参加したい』の割合が低い。

今後、参加したいと思っている人に対して

〈今後、参加したいボランティア内容〉

- ・『自分にできることがあれば、何でも手伝いたい』が5割強、「地域のスポーツイベントの企画・運営の手伝い」は2割弱。

8. 障がい者スポーツについて

(1) 障がい者スポーツに対する関心度

- ・『関心あり』が3割弱、『関心なし』は4割弱、「どちらともいえない」は3割強
- ・70歳以上で関心度は最も高い。反対に、20歳代で『関心なし』の割合が最も高い。

(2) 障がい者スポーツ普及・振興に重要な点

- ・『身近なスポーツ施設のバリアフリー化の推進』が3割強、「障がい者が参加できるスポーツ大会の開催」は2割強。「わからない」が2割。

9. 今後のスポーツ振興のために必要な施策について

(1) 今後、松阪市がめざすスポーツ

- ・『交流、健康づくりを重視したスポーツの提供』、「誰もが参加できるスポーツの提供」、「レクリエーションやスポーツイベントの提供」がそれぞれ3割弱。
- ・60歳代、70歳以上では「交流、健康づくりを重視したスポーツの提供」、10歳代、30～50歳代では「誰もが参加できるスポーツの提供」、20歳代では「レクリエーションやスポーツイベントの提供」が最も高く、年齢層で若干異なる。

(2) 今後、スポーツ振興のために取り組むべき施策

- ・『スポーツ施設の整備・充実』が3割、「各年齢層に合ったスポーツ種目の普及」、「スポーツに関する広報活動」、「初心者向けスポーツ教室の充実」はそれぞれ2割強。
- ・なお、「特になし」は1割強。

10. 現在のスポーツ行政に対する評価について

(1) 現在の松阪市のスポーツ政策に対する満足度

- ・『ふつう』は7割弱、『満足である』が1割弱、『不満である』は2割強。
- ・男性の方が女性よりも『不満である』の割合が若干高い。
- ・50歳代では『不満である』の割合が最も高い。10歳代では『満足である』の割合が最も高い。

・調査結果の分析

以上により、これまでの調査結果を踏まえて、下記に示す4つの項目に分けて課題等を整理する。

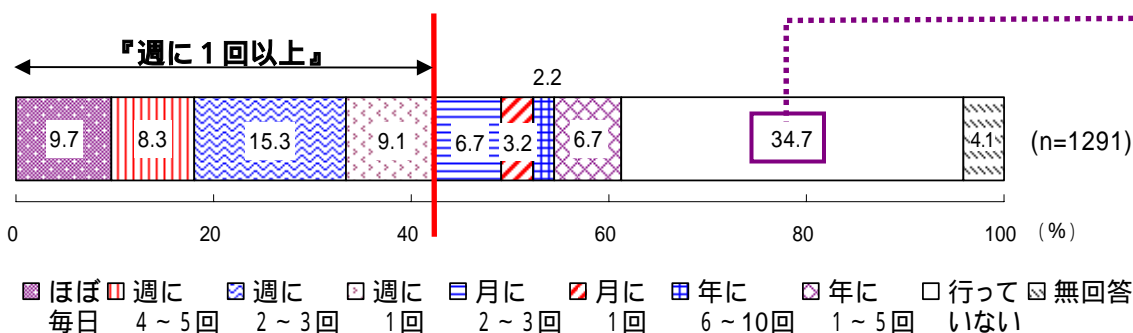
- () 健康とスポーツについての現状
- () 公共スポーツ施設利用（学校体育施設も含む）と評価
- () スポーツに関する行政サービス提供等と評価
- () 将来の運動・スポーツに対する考え方

() 健康とスポーツについての現状

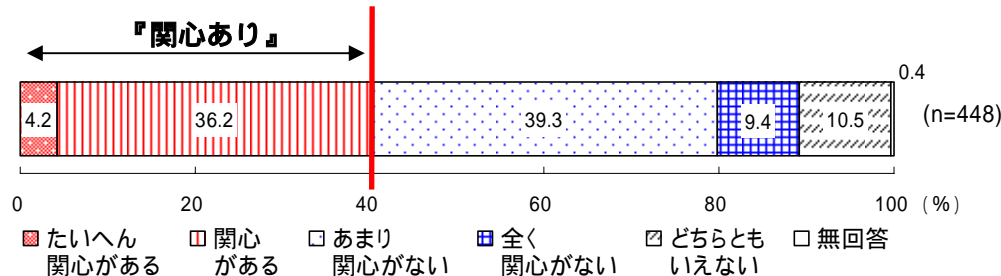
スポーツ実施頻度（この1年間で）

この1年間における運動・スポーツの実施頻度について、問4と問5より整理してみると、『週に1回以上』実施している人は42.4%で4割強となっています。一方、運動・スポーツを行っていない人は34.7%で3割強を占めています。

また、運動・スポーツを行っていない人では運動・スポーツに対して『関心あり』と考えている人は4割となっています。



【運動を行っていない人の運動・スポーツに対する関心度】

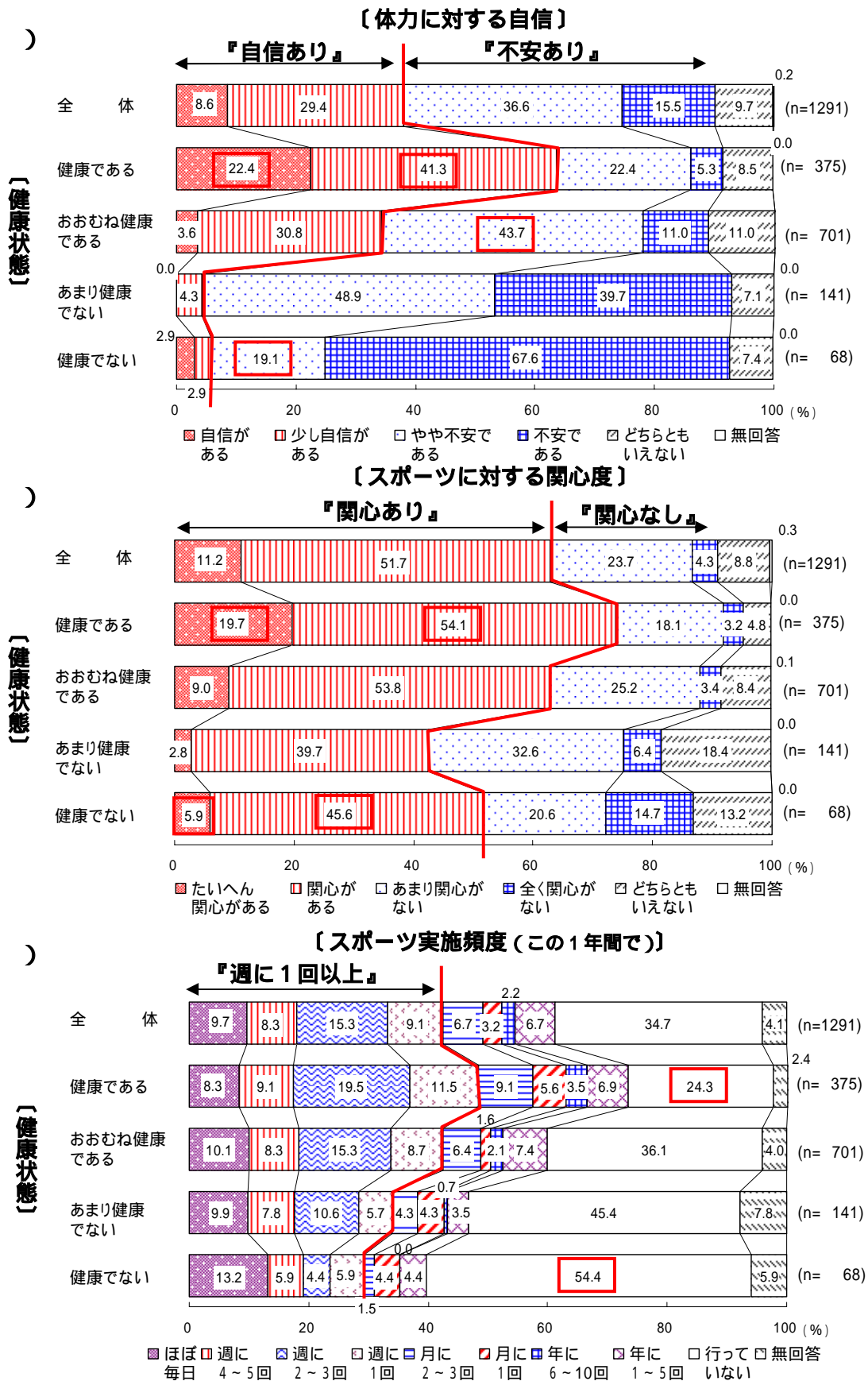


健康とスポーツとの関係

)“健康”と“体力に対する自信”についてみると 「健康である」と答えた人は、体力に『自信あり』が6割強となっていますが、「おおむね健康である」と答えた人では、体力に『自信がある』人の割合は3割強に留まっており、半数以上の方は『不安あり』と感じています。一方で、『健康でない』と答えた人は、圧倒的に体力に『不安』を感じている人が多くなっています。

)“健康”と“スポーツに対する関心度”についてみると 「健康である」と答えた人は、「健康でない」と答えた人よりも、どちらかといえば“スポーツに対する関心が高い人の割合は高くなっていますが、「健康でない」と答えた人でも5割を超える人がスポーツに『関心』があります。

「健康」と「スポーツ実施頻度(この1年間で)」についてみると「健康である」と答えた人では、この1年間でスポーツを行っていない人の割合は2割強となっています。反対に、「健康でない」と答えた人は、この1年間でスポーツを行っていない人の割合は5割を超えており、スポーツ実施頻度に格差が見られます。

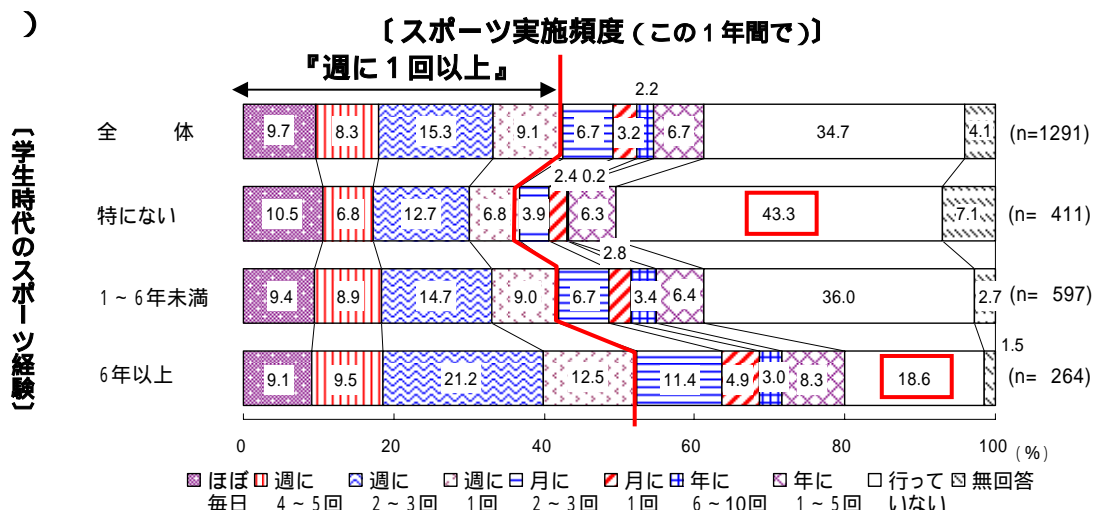
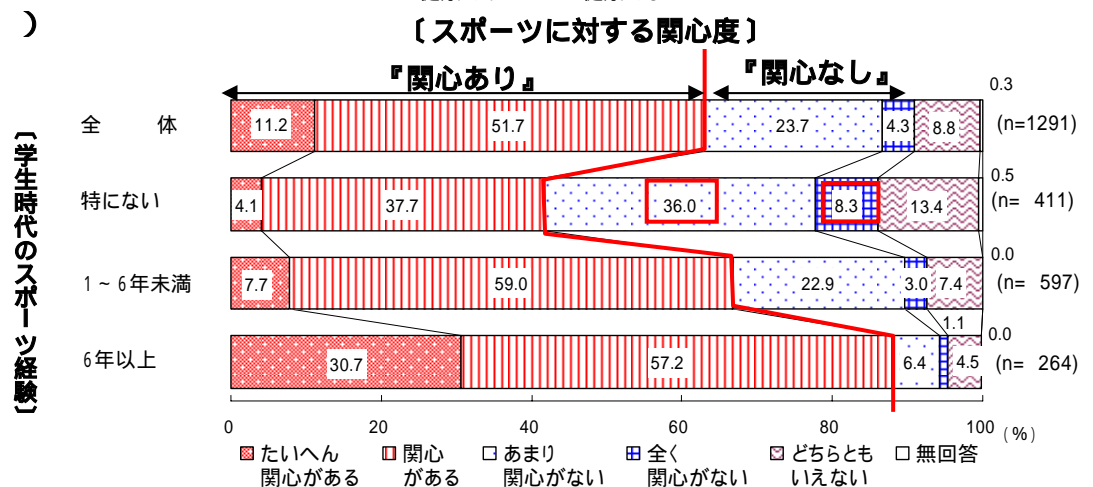
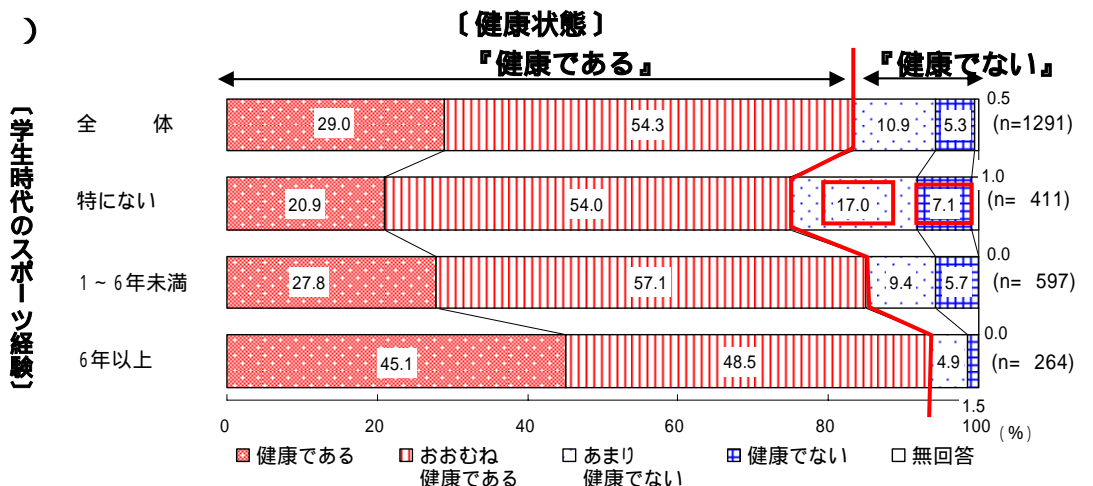


・調査結果の分析

）“学生時代のスポーツ経験”と“健康”についてみると 学生時代にスポーツ経験がない人は、『健康でない』の割合が2割強となっており、学生時代にスポーツ経験が6年以上の人は、『健康でない』の割合が1割を下回っています。

）“学生時代のスポーツ経験”と“スポーツに対する関心度”についてみると 学生時代にスポーツ経験がない人は、スポーツに対して『関心がない』の割合が4割強となっており、学生時代にスポーツ経験が6年以上の人は、『関心がない』の割合が1割を下回っています。

）“学生時代のスポーツ経験”と“スポーツ実施頻度(この1年間で)”についてみると 学生時代にスポーツ経験がない人は、この1年間で運動・スポーツを行っていない人の割合は4割強となっており、学生時代にスポーツ経験が6年以上の人では、「行っていない」人の割合が2割弱となっています。



これまでの結果を整理すると、健康と運動・スポーツには密接な関係が見られます。「健康である」と答えた人は体力に『自信あり』と考えている人の割合は高く、反対に、「健康でない」と答えた人は、体力に「不安を感じている」人の割合が高くなっています。当然、健康でなければ、運動やスポーツを行うことは容易なことではありません。一方で、健康を維持するためには、適度な運動が必要となります。「健康でない」と答えた人でも、半数の人が『関心あり』と答えており、適度な運動は必要であると考えていると思われます。さらに、「健康でない」と答えた人の半数以上でスポーツは行っていませんが、「ほぼ毎日」継続的に行っている人も見られます。健康状態に応じた適度な運動を継続的に実施することが求められています。

日頃、定期的に運動やスポーツをすることは、子どもの頃からの運動やスポーツをする習慣がひとつのポイントとなっていると考えられます。学生時代のスポーツ経験年数により、現在の健康状態に若干の違いが見てとれます。学生時代に6年以上スポーツに関わっていた人の方が『健康である』と答えています。また、学生時代に6年以上スポーツに関わっていた人は、スポーツに関心があり、現在も行っている人の割合が高くなっています。

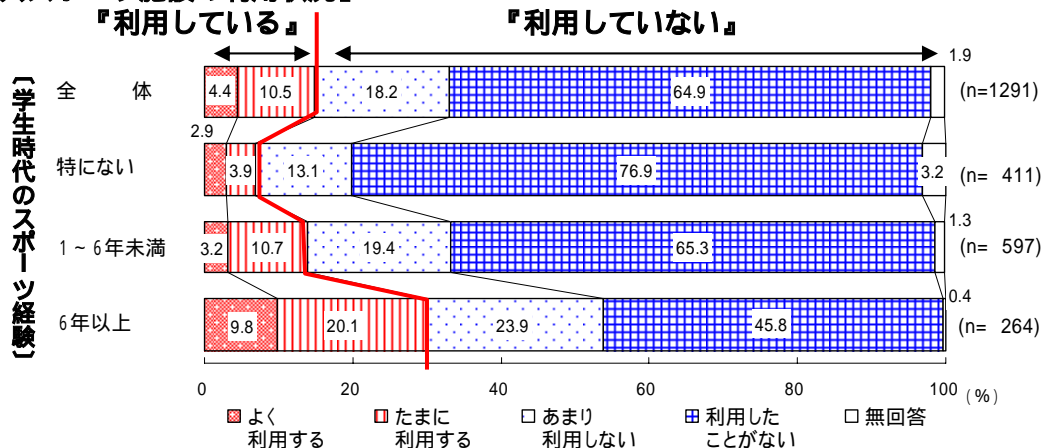
() 公共スポーツ施設利用（学校体育施設も含む）と評価

公共スポーツ施設利用状況（この1年間で）

この1年間における公共スポーツ施設の利用状況について、『利用している』人は1割強に留まっています。年齢別に利用者を見ると、学生が含まれる10歳代や子育て世代である30歳代、40歳代で高くなっています。反対に、60歳以上の高齢者の利用は1割を下回っています。（P29参照）

また、学生時代のスポーツ経験の有無別にみると、学生時代にスポーツ経験が6年以上の人では、『利用している』人の割合は3割となっています。学生時代にスポーツ経験がない人と比較して、公共スポーツ施設の利用状況に開きが見られます。

【公共スポーツ施設の利用状況】



学校体育施設利用状況（この1年間で）

この1年間における学校体育施設の利用状況について、「利用したことがある」と答えた人は1割となっています。年齢別に利用者を見ると、10歳代から30歳代の若い年齢層で高く、40歳以上の中高年齢層では1割を下回り低い結果となっています（P29参照）。また、学生時代のスポーツ経験の有無別にみると、学生時代にスポーツ経験が6年以上の人とない人では差が見られます。

公共スポーツ施設の評価

松阪市の公共スポーツ施設については、(1)施設・設備の内容と(2)施設の数 の2項目で聞いたところ、2項目ともに「わからない」と答えた人が半数を超えています。「ふつう」が2割強とな

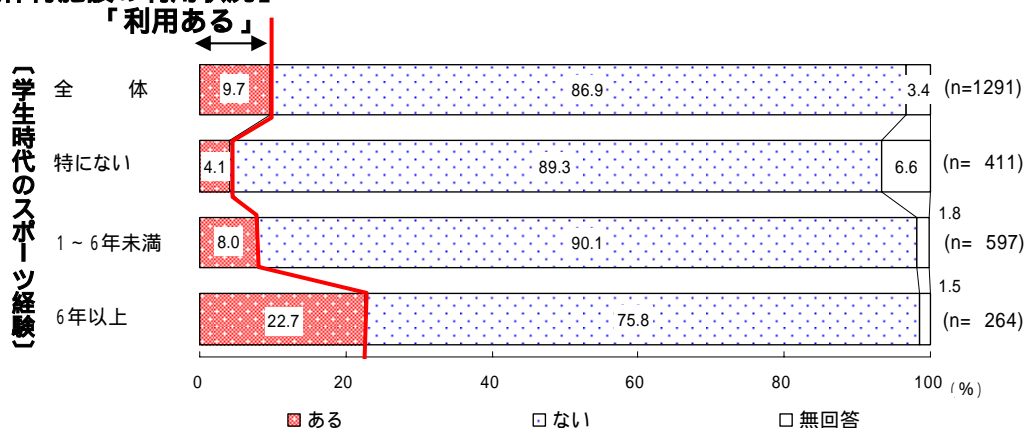
・調査結果の分析

っており、『不満である』は1割強で、『満足である』を上回る結果となっています。

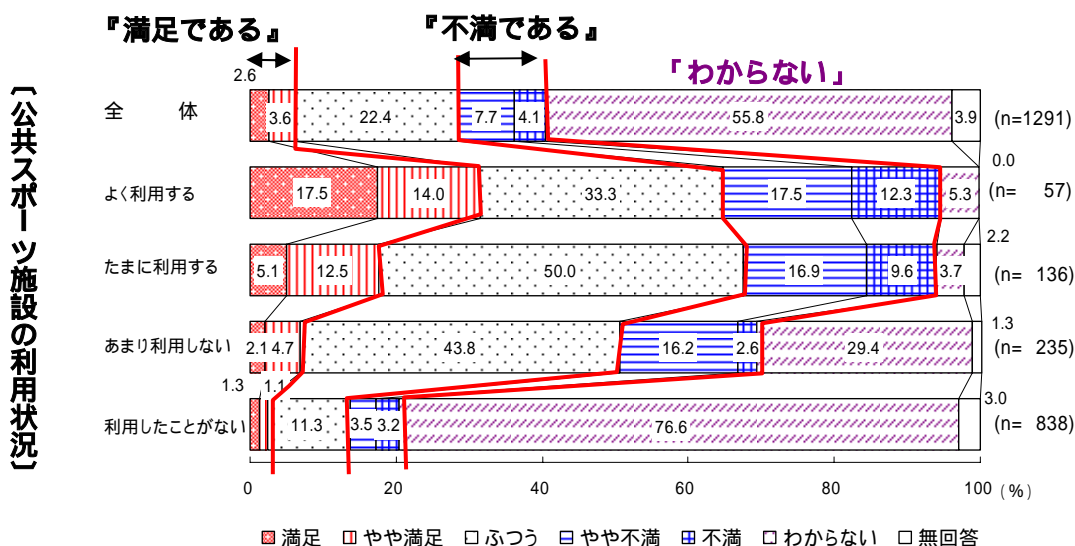
公共スポーツ施設の利用状況別に公共スポーツ施設の評価（満足度）をみると、「よく利用する」および「たまに利用する」人では、「わからない」と答えた人の割合は1割前後となっています。

「よく利用する」人の評価は、他の利用状況の人と比較して高い結果となっています。

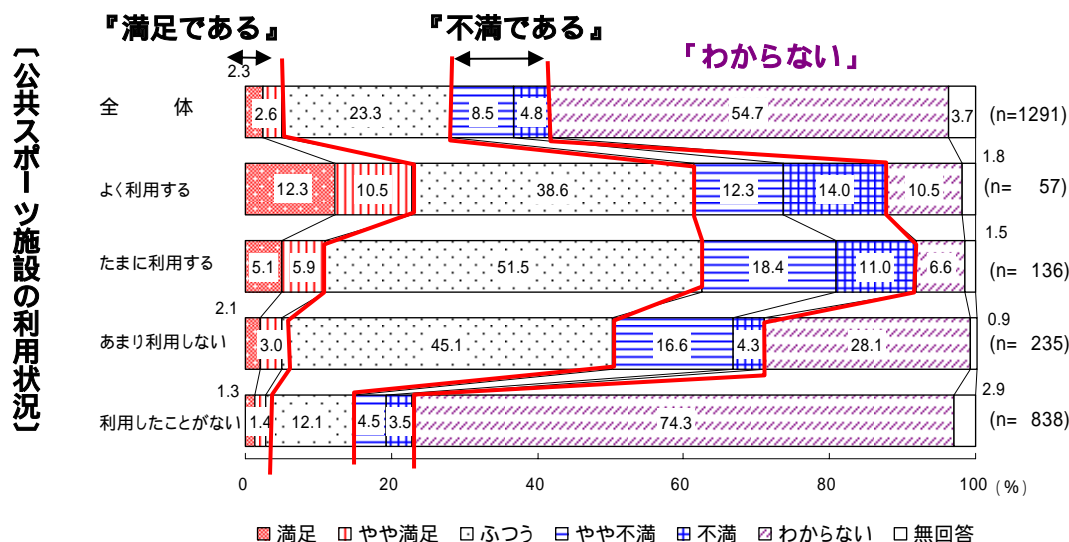
【学校体育施設の利用状況】



【(1) 公共スポーツ施設・設備の内容】



【(2) 公共スポーツ施設の数】



以上により、公共スポーツ施設および学校体育施設については、利用している人の割合が低い結果となっています。また、利用している人が少ないこともあり、現状では、公共スポーツ施設の評価をすることが難しい状況となっています。よって、より多くの市民に情報提供し、一度足を運んでいただくことが“ 第一歩である ”と考えられます。

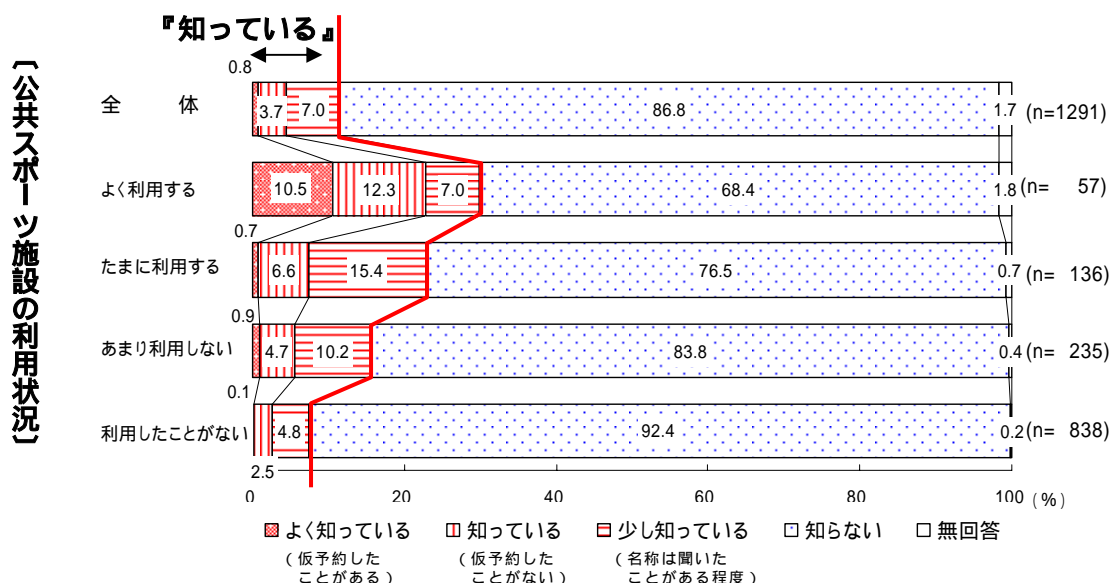
() スポーツに関する行政サービスの情報提供等と評価

() スポーツ関連に関する情報提供

松阪市体育施設予約システムの認知度

松阪市体育施設予約システムについては、『知っている』人は 1 割強に留まっています。また、これまでに仮予約したことがある(よく知っている)人は 1%未満となっており、「知らない」人は 9 割弱となっています。さらに、公共スポーツ施設をよく利用する人でも、『知っている』は 3 割であることから、市民および利用者に対する情報提供が不十分であることがうかがわれます。

【松阪市体育施設予約システムの認知度】



総合型地域スポーツクラブの認知度

松阪市内にある総合型地域スポーツクラブについては、『知っている』人は 1 割強となっています。70 歳以上、30 歳代で『知っている』人の割合は高くなっています。また、参加したことがある人は 1%程度に留まっています。(P38 参照)

スポーツ推進委員についての認知度

スポーツ推進委員については、『知っている』人は 2 割強となっています。また、スポーツ推進委員がどのようなことを行っているかなどを知っている人は 5.6%で 1 割を下回っています。70 歳以上の高齢者では『知っている』割合が最も高く、若い年齢層ほど「知らない」人の割合が高くなっています。(P51 参照)

以上により、スポーツ関連に関する認知度が低いことから、市民やスポーツをやりたい人に対して情報が十分に伝わっていない状況が見てとれます。

・調査結果の分析

その他（市民の今後の意向と情報提供）

ここで、市民の今後の意向を再整理してみます。

）今後、主に行いたい運動・スポーツ種目では： 「特にない」が1割強（22.8%減少）

この1年間で行っている運動・スポーツ種目と今後、主に行いたい運動・スポーツ種目についてみると、最も実施されている「ウォーキング」がおおむね5割で最も高くなっており、増加率も最も高くなっています。次いで2番目に体操（健康体操など）となっており、3.4ポイント増えています。3番目に「ヨガ、太極拳」で大幅に増加しています。次いで、「ジムトレーニング」、「水泳、水中ウォーキング」の順で、「水泳、水中ウォーキング」も大幅に増加していることが見てとれます。

一方で、この1年間でスポーツを行っていない人は34.7%から今後、「特にない」と答えた人が11.9%となり、2割強減少しています。

- この1年間で行ったスポーツ種目と今後、行いたいスポーツ種目

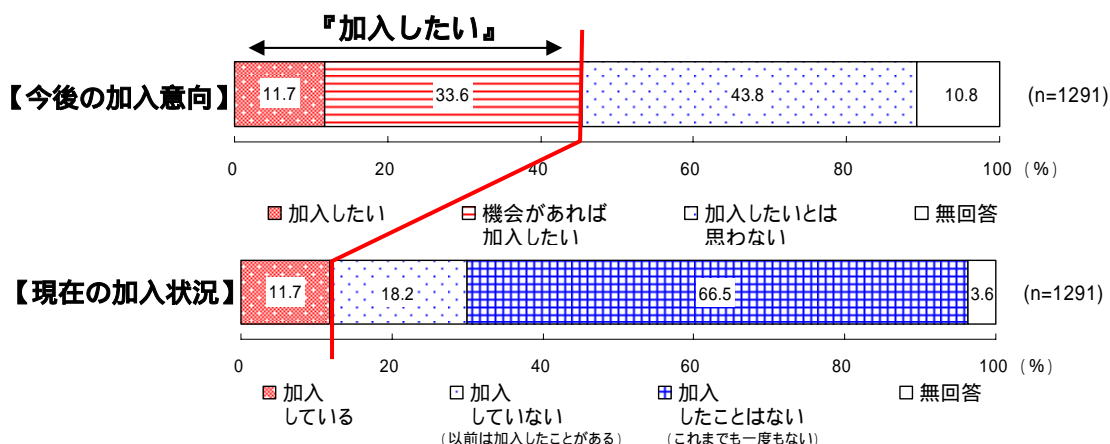
単位：(%)

順位	種目	この1年間で行ったスポーツ (a)	今後、行いたいスポーツ (b)	(b)-(a)
1	ウォーキング	41.3	49.7	8.4
2	体操(健康体操など)	12.2	15.6	3.4
3	ランニング・ジョギング	8.8	9.5	0.7
4	ボウリング	8.6	6.4	2.2
5	ゴルフ	7.4	9.1	1.7
6	ジムトレーニング	7.1	11.2	4.1
7	登山、ハイキング	6.2	9.5	3.3
8	野球、ソフトボール	4.8	4.3	0.5
9	ヨガ、太極拳	4.6	11.3	6.7
10	軽い球技(キャッチボールなど)	4.6	2.8	1.8
11	水泳、水中ウォーキング	4.2	10.2	6.0
-	特にない	34.7	11.9	22.8

() この1年間で行ったスポーツ種目(4%以上)を掲載

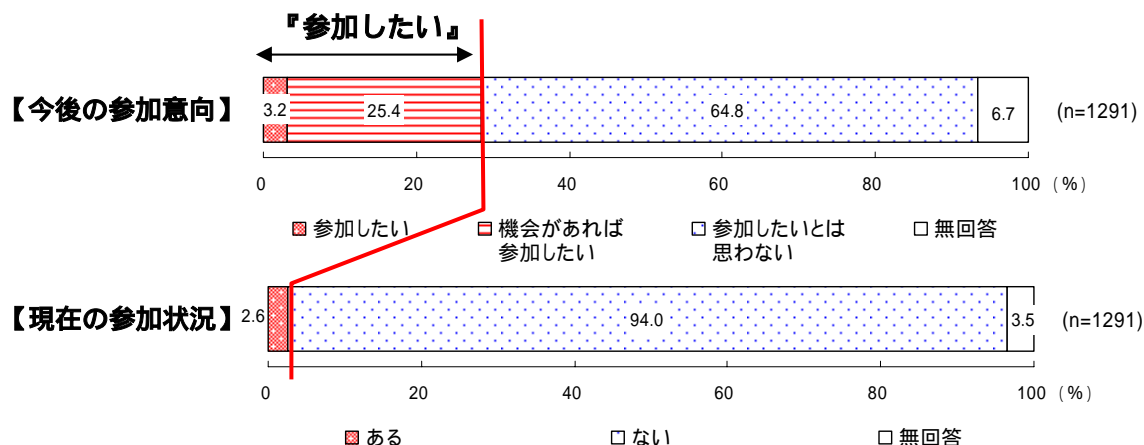
）今後、クラブや同好会、教室などへの加入意向では： 『加入したい』が5割弱

今後、運動やスポーツのクラブや同好会、教室などに『加入したい』と考えている人は5割弱となっています。いかに「機会があれば加入したい」と考えている人に対して、実際に機会を提供できるかが課題になると考えられます。



）今後、スポーツボランティア活動参加の意向では： 『参加したい』が3割弱

今後、スポーツボランティア活動に対して『参加したい』と考えている人は3割弱となっています。実際にスポーツボランティア活動を行ったことがある人は2.6%に過ぎず、ほとんどの人が関わったことがありません。「機会があれば参加したい」と考えている人に対して、今後、スポーツボランティアに関する情報を発信することが必要であると考えられます。特に、2021年（平成33年）秋には、三重県で第76回国民体育大会および全国障害者スポーツ大会が開催されます。開催にあたっては、大会を支える人たちが必要となります。大会を充実させるためにはスポーツボランティアの活動は重要であると考えられます。



また、全国障害者スポーツ大会の開催や大会の盛り上がりは、障がい者スポーツに対する関心度にも大きく関わってくると考えられます。障がい者スポーツに対して『関心あり』が3割弱となっており、「どちらともいえない」と答えた人は3割強となっています。どちらかといえば、関心が薄い傾向にあると感じられます。全国障害者スポーツ大会における障がい者スポーツは、障害のためのリハビリではなく、アスリートによるスポーツ競技です。これらも含めて、障がい者スポーツに対する情報発信をしていく必要があると思われます。(P58 参照)

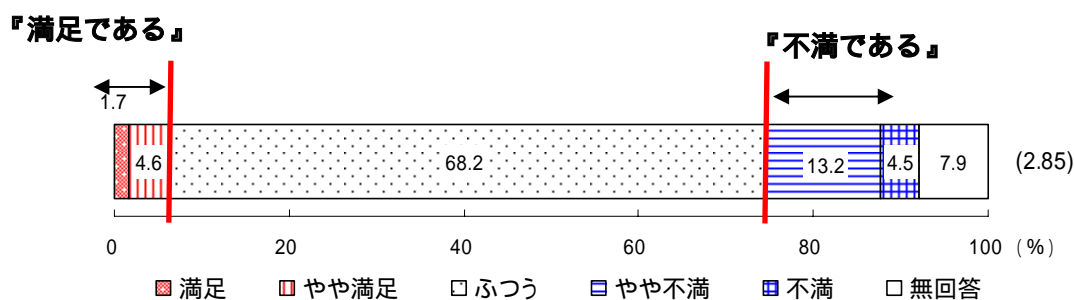
これまでのことを踏まえると、運動・スポーツに関する情報提供が、いろいろな面で十分でないと考えられます。また、運動・スポーツに関する情報を望んでいる人、関心がある人、今後、行っていこうと考えている人などが見受けられます。これらの人に対して、積極的に情報提供していくことが、日常生活の中に運動・スポーツを定着させる第一歩となると考えられます。

調査結果の分析

() 現在のスポーツ行政に対する評価

現在のスポーツ行政に対する評価については、『不満である』が『満足である』を上回っています。満足度の評価得点は 2.85 となっています。平成 24 年度に実施された市民幸せ調査結果と比較すると、同調査の「(21)気軽にスポーツやレクリエーション活動に参加できる環境づくり(スポーツ・レクリエーションの振興)」では 2.95^(注) となっており、満足度はやや低くなっています。

(注) 平成 24 年度市民幸せ調査報告書(松阪市市政戦略部戦略経営課)より



《評価得点算出式》

$$\text{満足度} = \frac{[\text{満足}] \times 5 \text{点} + [\text{やや満足}] \times 4 \text{点} + [\text{ふつう}] \times 3 \text{点} + [\text{やや不満}] \times 2 \text{点} + [\text{不満}] \times 1 \text{点}}{\text{全回答数}(n) - \text{無回答数}}$$

() 将来の運動・スポーツに対する考え方

() 今後、松阪市がめざすスポーツ

【全体では：】 今後、松阪市が“めざすスポーツ”として、次の 3 つの意見に分かれています。

「交流、健康づくりを重視したスポーツの提供(交流の場をつくる)」

「誰もが参加できるスポーツの提供(スポーツ、競技を多くの人に広げる)」

「レクリエーションやスポーツイベントの提供(楽しさ、ストレス解消などを目標に)」

【男性と女性では：】 男性では「誰もが参加できるスポーツの提供(スポーツ、競技を多くの人に広げる)」が最も高く、女性では「交流、健康づくりを重視したスポーツの提供(交流の場をつくる)」が最も高くなっています。

【年齢層では：】 10 歳代から 30 歳代までの若い年齢層では「誰もが参加できるスポーツの提供(スポーツ、競技を多くの人に広げる)」と「レクリエーションやスポーツイベントの提供(楽しさ、ストレス解消などを目標に)」の 2 つの意見で高くなっています。

40 歳代から 50 歳代の中年年齢層では「交流、健康づくりを重視したスポーツの提供(交流の場をつくる)」、「誰もが参加できるスポーツの提供(スポーツ、競技を多くの人に広げる)」、「レクリエーションやスポーツイベントの提供(楽しさ、ストレス解消などを目標に)」の 3 つの意見が均衡しています。

60 歳以上の高年齢層では「交流、健康づくりを重視したスポーツの提供(交流の場をつくる)」が他の 2 つの意見を上回っています。

- 年齢層別にみる「今後、松阪市がめざすスポーツ」 -

年齢層	今後、松阪市がめざすスポーツ		
	(第1位)	(第2位)	(第3位)
10歳代	誰もが参加できるスポーツの提供(32.3%)	レクリエーションやスポーツイベントの提供(29.0%)	競技スポーツの充実(21.0%)
20歳代	レクリエーションやスポーツイベントの提供(32.7%)	誰もが参加できるスポーツの提供(31.7%)	交流、健康づくりを重視したスポーツの提供(21.2%)
30歳代	誰もが参加できるスポーツの提供(29.5%)	レクリエーションやスポーツイベントの提供(28.9%)	交流、健康づくりを重視したスポーツの提供(18.4%)
40歳代	誰もが参加できるスポーツの提供(28.3%)	レクリエーションやスポーツイベントの提供(26.7%)	交流、健康づくりを重視したスポーツの提供(25.1%)
50歳代	誰もが参加できるスポーツの提供(30.8%)	レクリエーションやスポーツイベントの提供(28.7%)	交流、健康づくりを重視したスポーツの提供(24.6%)
60歳代	交流、健康づくりを重視したスポーツの提供(35.2%)	誰もが参加できるスポーツの提供(23.0%)	レクリエーションやスポーツイベントの提供(22.3%)
70歳以上	交流、健康づくりを重視したスポーツの提供(32.5%)	レクリエーションやスポーツイベントの提供(20.6%)	誰もが参加できるスポーツの提供(20.2%)
全体	交流、健康づくりを重視したスポーツの提供(26.9%)	誰もが参加できるスポーツの提供(26.5%)	レクリエーションやスポーツイベントの提供(25.6%)

(注) ・ 、 、 は全体の順位を示す。
 ・ () 内の数値は各年齢層に占める割合。 印は30%以上を占める。

ライフステージ	今後、松阪市がめざすスポーツ	ライフステージの背景
若年齢層 (10～30歳代)	と を重視	・競技スポーツに対して、中心となる年齢層 ・自分のライフステージの中がスポーツを最も純粋に楽しむことができる年齢層(体方面、精神面、経済面なども含め) ・家族などの絆をレクリエーションやスポーツなどを通じて培うことを自然に求める年齢層(子どもや友人などとの関係も含め)
中年年齢層 (40～50歳代)	と と が均衡	・一般的に、日常生活の中で運動・スポーツの時間が取りづらい年齢層 ・家庭の中で、家族それぞれが独自の時間を費やすことが多くなり、コミュニケーションが徐々に希薄になり、家族でのレクリエーションや運動の機会が減少傾向となる年齢層 ・そろそろ、健康に不安が出てきて、健康を意識しだす年齢層
高年齢層 (60歳以上)	を重視	・健康を意識し、行動に移す人が多くなる年齢層 ・一般的に、年齢が進むにつれて、仕事や育児などの主体から外れ、時間がとれるようになる年齢層 ・さらに、年齢が進むと、体方面などから日常生活への支障が発生する ・介護などの事象が発生し、介護をする側と介護を受ける側の2つの面で、どちらも経験可能な年齢層

年齢が進む ↓

以上により、今後、松阪市がめざすスポーツについては、市民の意見は3つに分かれています。男女により若干異なっていますが、年齢により体力、体調、健康などが変化していくため、それを支える運動・スポーツ・レクリエーションなども、ライフステージにより重視する点が変化していくものと考えられます。

・調査結果の分析

() 今後、スポーツ振興のために取り組むべき施策

今後、スポーツ振興のための最も取り組むべき施策として、「スポーツ施設の整備・充実」をあげている人は3割で最も高くなっています。次いで、「各年齢層に合ったスポーツ種目の普及」、「スポーツに関する広報活動」、「初心者向けスポーツ教室の充実」の順となっています。

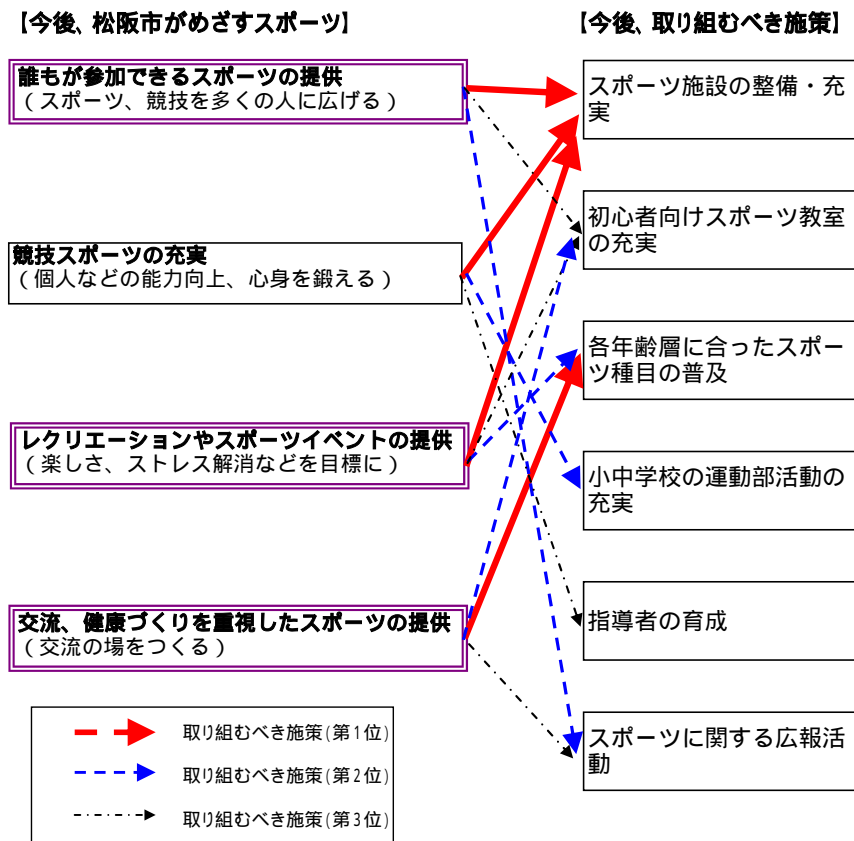
前述した“今後、松阪市がめざすスポーツ”の考え方と“今後、スポーツ振興のために取り組むべき施策”の関係についてみると、“今後、松阪市がめざすスポーツ”の考え方により、今後、スポーツ振興のために取り組むべき施策で重視する点が異なっています。よって、個別にめざす方針に合わせて、取り組むべき施策を展開していくことが考えられます。

例えば、下記に示すように、「誰もが参加できるスポーツの提供(スポーツ、競技を多くの人に広げる)」の場合、「スポーツ施設の整備・充実」、「スポーツに関する広報活動」、「初心者向けスポーツ教室の充実」の順であるのに対し、「競技スポーツの充実(個人などの能力向上、心身を鍛える)」の場合、「スポーツ施設の整備・充実」、「小中学校の運動部活動の充実」、「指導者の育成」の順となり、「スポーツ施設の整備・充実」が必要であると考えている人の割合が4割強で、最も高くなっています。

- 「今後、松阪市がめざすスポーツ」と今後、取り組むべき施策(上位3位) -

今後、松阪市がめざすスポーツ	今後、取り組むべき施策		
	(第1位)	(第2位)	(第3位)
誰もが参加できるスポーツの提供 (スポーツ、競技を多くの人に広げる)	スポーツ施設の整備・充実(37.7%)	スポーツに関する広報活動(29.8%)	初心者向けスポーツ教室の充実(25.7%)
競技スポーツの充実 (個人などの能力向上、心身を鍛える)	スポーツ施設の整備・充実(42.7%)	小中学校の運動部活動の充実(32.5%)	指導者の育成(26.1%)
レクリエーションやスポーツイベントの提供 (楽しさ、ストレス解消などを目標に)	スポーツ施設の整備・充実(30.5%)	各年齢層に合ったスポーツ種目の普及(26.9%)	初心者向けスポーツ教室の充実(25.4%)
交流、健康づくりを重視したスポーツの提供 (交流の場をつくる)	各年齢層に合ったスポーツ種目の普及(36.6%)	初心者向けスポーツ教室の充実(31.7%)	スポーツに関する広報活動(28.2%)

(注)()内の数値(%)は、各々の「今後、松阪市がめざすスポーツ」の項目で答えた人に対して、今後取り組むべき施策の割合を示す。



資 料

運動・スポーツに関する市民意識調査票

()あてはまる番号に 印をつけてください。()内には数字、具体的な名称などを記入してください。

最初に、あなたご自身のことについておたずねします。

各項目について、あなた自身が該当するものをそれぞれ1つずつ選び をつけてください。

(1) あなたの性別は	1. 男性	2. 女性						
(2) あなたの年齢は	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳以上	
(3) あなたのご職業は	1. 自営業(農林水産業などに従事する方も含みます) 2. 会社員(公務員・会社役員・専門職も含みます) 3. 学生・専門学校生							4. アルバイト・パート
	5. 無職(家事に従事する方も含みます)							
	6. その他(具体的に)							
(4) あなたのお住まいは	1. 本庁管内(旧松阪市内)	2. 嬉野管内	3. 三雲管内	4. 飯南管内	5. 飯高管内			
(5) 学生時代の スポーツ経験の() 年数は	1. 特にない	2. 1年未満	3. 1~3年未満	4. 3~6年未満	5. 6年以上			

()学生時代(小学校・中学校・高校など)でのクラブ活動やスポーツ少年団活動など

《1. あなたご自身の健康状態について》

問1. あなたはご自身の健康状態をどのように感じていますか。(は1つだけ)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 健康である | 2. おおむね健康である |
| 3. あまり健康ではない | 4. 健康でない(病気療養中も含む) |

問2. あなたはご自身の体力についてどのように思いますか。(は1つだけ)

- | | | |
|----------|--------------|------------|
| 1. 自信がある | 2. 少し自信がある | 3. やや不安である |
| 4. 不安がある | 5. どちらともいえない | |

《2. スポーツ活動の状況について》

問3. あなたは、運動・スポーツに関心がありますか。(は1つだけ)

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. たいへん関心がある | 2. 関心がある | 3. あまり関心がない |
| 4. 全く関心がない | 5. どちらともいえない | |

問4 . この1年間で、下記に示すような運動やスポーツを行っていますか。

行った運動やスポーツのあてはまる番号に、すべて 印をつけてください。(はいくつでも)

運動やスポーツを行っていない人は、「特になし」に 印をつけてください。

学生の場合は、通っている学校の体育授業は除いて、お答えください。

手軽にできる運動やスポーツ

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 . ウォーキング (散歩含む) | 2 . ランニング、ジョギング |
| 3 . 体操 (健康体操・美容体操など) | 4 . ダンス、エアロビクス |
| 5 . 社交ダンス、踊り | 6 . ヨガ、太極拳 |
| 7 . ジムトレーニング | 8 . 軽い球技 (キャッチボールなど) |
| 9 . 水泳、水中ウォーキング | 10 . ボウリング |
| 11 . ソフトバレーボール | 12 . ゲートボール |
| 13 . グラウンドゴルフ | 14 . その他軽スポーツ (具体的に) |

競技的スポーツ

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 15 . 陸上競技 (マラソン含む) | 16 . 野球、ソフトボール |
| 17 . サッカー・フットサル | 18 . ラグビー、アメフト |
| 19 . テニス、ソフトテニス | 20 . バドミントン |
| 21 . バレーボール | 22 . バスケットボール |
| 23 . ハンドボール | 24 . 卓球 |
| 25 . 競泳 (水泳競技) | 26 . 弓道、アーチェリー |
| 27 . 剣道、柔道、相撲、レスリング | 28 . 空手、拳法、合気道 |
| 29 . その他の競技的スポーツ (具体的に) | |

野外スポーツ

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 30 . ゴルフ | 31 . 登山、ハイキング |
| 32 . サイクリング | 33 . スキー、スノーボード |
| 34 . アイススケート | 35 . カヌー、ボート |
| 36 . サーフィン、スキューバダイビング | 37 . 乗馬 |
| 38 . キャンプなど野外活動 | 39 . その他 (具体的に) |

40 . 特になし **----->** [問8へお進みください\(次ページへ\)](#)

【問4で運動・スポーツを行っている」と回答した人にお聞きします】

(問4で、1～39のいずれかに 印をつけた人)

問5 . あなたは普段、問4であげられるような運動・スポーツを、どの程度行っていますか。

いろいろなスポーツを行っている人は、トータルで(合わせて)お答えください。(は1つだけ)

学生の場合は、通っている学校の体育授業は除いて、お答えください。

- | | | | |
|------------|------------|-------------|------------|
| 1 . ほぼ毎日 | 2 . 週に4～5回 | 3 . 週に2～3回 | 4 . 週に1回 |
| 5 . 月に2～3回 | 6 . 月に1回 | 7 . 年に6～10回 | 8 . 年に1～5回 |

問6．運動やスポーツを行う主な目的は何ですか。(は2つまで)

- | | |
|-------------|---------------------------|
| 1．健康・体力づくり | 2．楽しみ・気晴らし(スポーツが好きだからも含む) |
| 3．運動不足解消 | 4．自分の記録や能力の向上 |
| 5．友人や仲間との交流 | 6．家族とのふれあい |
| 7．美容・ダイエット | 8．精神修養や訓練 |
| 9．その他(具体的に |) |

問7．あなたは、主に誰と運動・スポーツをしていますか。(は2つまで)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1．自分ひとり | 2．家族・親戚 |
| 3．学校・職場の友人や知人 | 4．学校・職場以外の友人や知人 |
| 5．クラブ・サークルの仲間 | 6．その他(具体的に |
-)

問10へお進みください。(次ページへ)

【問4で、「40．特にない」と回答された方にお聞きします。】

問8．運動やスポーツを行わない理由は何ですか。(は3つまで)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1．仕事などで忙しく時間がない | 2．病気、高齢などの身体的な理由 |
| 3．場所や施設が近くにない | 4．施設などの利用時間が合わない |
| 5．一緒にする仲間がいない | 6．指導者がいない |
| 7．お金がかかる | 8．始めるきっかけがない |
| 9．スポーツに関する情報がない | 10．苦手、嫌い、興味がない |
| 11．その他(具体的に |) |
| 12．特に理由はない | |

問9．今後、どのような点が変われば運動やスポーツを行うようになると思いますか。
(は3つまで)

- | | |
|------------------------------|---------------------|
| 1．休暇が増えれば | 2．勤務時間が減れば |
| 3．育児や家事が軽減されれば | 4．保育環境が整えば |
| 5．一人で気軽にできれば | 6．一緒に行く仲間ができれば |
| 7．教えてくれる人がいれば | 8．近所など通いやすい場所でできれば |
| 9．利用料金や参加料金が安くなれば | 10．早朝や夜間に施設が利用できれば |
| 11．情報が入手しやすくなれば | 12．気軽に参加できるイベントがあれば |
| 13．生活費にゆとりがあれば | 14．体力や健康に不安がなくなれば |
| 15．その他(具体的に |) |
| 16．特にない(運動やスポーツを行うつもりはないも含む) | |

* * すべての方にお聞きします * *

問10. 今後、主に行いたい(続けていきたい)運動やスポーツは何ですか。(は3つまで)
運動やスポーツのあてはまる番号に3つまで 印をつけてください。

手軽にできる運動やスポーツ

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1. ウォーキング(散歩含む) | 2. ランニング、ジョギング |
| 3. 体操(健康体操・美容体操など) | 4. ダンス、エアロビクス |
| 5. 社交ダンス、踊り | 6. ヨガ、太極拳 |
| 7. ジムトレーニング | 8. 軽い球技(キャッチボールなど) |
| 9. 水泳、水中ウォーキング | 10. ボウリング |
| 11. ソフトバレーボール | 12. ゲートボール |
| 13. グラウンドゴルフ | 14. その他軽スポーツ(具体的に) |

競技的スポーツ

- | | |
|------------------------|---------------|
| 15. 陸上競技(マラソン含む) | 16. 野球、ソフトボール |
| 17. サッカー・フットサル | 18. ラグビー、アメフト |
| 19. テニス、ソフトテニス | 20. バドミントン |
| 21. バレーボール | 22. バスケットボール |
| 23. ハンドボール | 24. 卓球 |
| 25. 競泳(水泳競技) | 26. 弓道、アーチェリー |
| 27. 剣道、柔道、相撲、レスリング | 28. 空手、拳法、合気道 |
| 29. その他の競技的スポーツ(具体的に) | |

野外スポーツ

- | | |
|----------------------|----------------|
| 30. ゴルフ | 31. 登山、ハイキング |
| 32. サイクリング | 33. スキー、スノーボード |
| 34. アイススケート | 35. カヌー、ボート |
| 36. サーフィン、スキューバダイビング | 37. 乗馬 |
| 38. キャンプなど野外活動 | 39. その他(具体的に) |

40. 特にない -----> 問12へお進みください(次ページへ)

【問10で運動・スポーツを行いたいと回答した人にお聞きします】

(問10で、1~39のいずれかに 印をつけた人)

問11. 今後、運動やスポーツを行う場合に、重要と考える点(目的)は何ですか。
(は2つまで)

- | | |
|---------------|----------------------------|
| 1. 健康・体力づくり | 2. 楽しみ・気晴らし(スポーツが好きだからも含む) |
| 3. 運動不足解消 | 4. 自分の記録や能力の向上 |
| 5. 友人や仲間との交流 | 6. 家族とのふれあい |
| 7. 美容・ダイエット | 8. 精神修養や訓練 |
| 9. その他(具体的に) | |

《3. 公共スポーツ施設について》

松阪市内には、**中部台運動公園**（県営松阪野球場、さんぎんアリーナ、中部台テニスコート、ソフトボール場や流水プールなど）、**513BAKERY スタジアム松阪**、**阪内川スポーツ公園**（松阪牛の里オーシャンファーム武道館、多目的グラウンド、テニスコート）**嬉野体育センター**、**ハートフルみくもスポーツ文化センター**、**飯南体育センター**、**飯高 B&G 海洋センター**や**嬉野グラウンド**、**雲出川河川敷グラウンド**、**松阪市山村広場**（飯南グラウンド）**松ヶ崎公園グラウンド**などの**公共スポーツ施設**が整備されています。

問12. 最近（この2～3年間で）、松阪市の公共スポーツ施設を利用していますか。（は1つ）

1. よく利用する 2. たまに利用する 3. あまり利用しない
（年に数回程度利用する） （これまでに数回利用した程度）
 4. 利用したことがない

問13. 松阪市の公共スポーツ施設についてどのように思いますか。（それぞれに は1ずつ）

(1)公共スポーツ施設・設備の内容（質）	1. 満足 2. やや満足 3. ふつう 4. やや不満 5. 不満 6. わからない
(2)公共スポーツ施設の数	1. 満足 2. やや満足 3. ふつう 4. やや不満 5. 不満 6. わからない

市では、公共スポーツ施設を利用する場合、**松阪市体育施設予約システム**（平成24年12月3日稼動）により、**パソコン・携帯電話からインターネットで、体育施設の空き状況や仮予約が簡単になります。**

問14. 松阪市体育施設予約システムを知っていますか。（は1つ）

1. よく知っている 2. 知っている 3. 少し知っている 4. 知らない
（仮予約したことがある） （仮予約したことはない） （名称は聞いたことがある程度）

問15. 公共スポーツ施設を利用する上で、主にどのような点の充実を望みますか。（は2つまで）

1. 施設や設備の充実 2. 利用手続き、料金支払い方法の簡略化
 3. 利用時間の拡大 4. 利用料金の値下げ
 5. 交通の利便性（公共交通機関、駐車場の整備など）
 6. 初心者向けのスポーツ教室や行事の充実
 7. 利用案内等の広報の充実
 8. その他（具体的に ）
 9. 特にない

問16．松阪市では、今後どのようなスポーツ施設を整備・充実していくことが必要だと思いますか。(は2つまで)

- 1．専用競技場（陸上競技、野球、サッカー、テニスなど）
- 2．多目的グラウンド（ソフトボール、グラウンドゴルフ、ゲートボールなど）
- 3．体育館（バレーボール、バスケットボール、卓球など）
- 4．武道場（柔道、剣道、空手など）
- 5．室内トレーニング施設
- 6．室内・野外プール（流水プール含む）
- 7．アーチェリー場、弓道場
- 8．その他（具体的に)
- 9．特に整備は必要ない

《4．クラブや同好会、教室について》

総合型地域スポーツクラブとは、地域に根ざして、いつでも・どこでも・だれでもスポーツに親しめることを目指して設立されたスポーツクラブで、**地域が『地域のために運営するクラブ』です。**子どもから高齢者まで、初心者からトップレベルの競技者まで、それぞれの年齢・関心・技術レベルに応じてできるのが特徴です。松阪市には「まつさかT A K Y Oスポーツクラブ」、「うれしのスポーツクラブA F L E C」の2団体があります。

問17．総合型地域スポーツクラブを知っていますか。(は1つ)

- | | | | |
|--------------------------|------------------------|------------------------------|--------|
| 1．よく知っている
(参加したことがある) | 2．知っている
(参加したことはない) | 3．少し知っている
(名称は聞いたことがある程度) | 4．知らない |
|--------------------------|------------------------|------------------------------|--------|

問18．現在、運動やスポーツのクラブや同好会（学校や職場なども含む）、教室などに加入していますか。(は1つ)

- | | | |
|----------|-----------------------------|-----------------------------|
| 1．加入している | 2．加入していない
(以前は加入したことがある) | 3．加入したことはない
(これまでも一度もない) |
|----------|-----------------------------|-----------------------------|

→【問18で「1．加入している」と回答された方にお聞きします】

問18-1．どのようなクラブや同好会、教室に加入していますか。

(はいくつでも)

- 1．市が主催している講座や教室
- 2．職場または学校のクラブや同好会
- 3．地区・地域のクラブや同好会
- 4．友人や仲間で開催しているクラブや同好会
- 5．民間のスポーツ施設等が開催しているクラブや教室
- 6．その他（具体的に)

問19. 今後、運動やスポーツのクラブや同好会、教室などに加入したい（現在、加入している人は加入し続けたい）と思いますか。（は1つ）

1. 加入したい 2. 機会があれば加入したい 3. 加入したいとは思わない

【問19で「1. 加入したい」又は「2. 機会があれば加入したい」と回答された方にお聞きします】

問19-1. 加入したいと思うクラブや同好会、教室の条件は何ですか。（は2つまで）

1. 自宅や通勤・通学先から近い
2. 利用料金が安い
3. 専用の施設・設備が整っている
4. 種目が充実している
5. レベルに応じた指導が受けられる
6. 仲間づくりができる
7. その他（具体的に）
8. 特に（条件は）ない

《5. 学校体育施設について》

問20. あなたは、この1年間で、市内の学校体育施設（小・中・高校の体育館や運動場など）を利用したことがありますか。（は1つ）

学生の場合は、通っている学校以外でお答えください。

1. ある 2. ない

問21. 学校体育施設を利用する上で、どのようなことを望みますか。（は2つまで）

1. 利用手続き・料金支払いの簡略化
2. 利用時間の拡大
3. 個人単位での利用
4. 施設設備の充実
5. 利用案内等の広報の充実
6. その他（具体的に）
7. 特に要望はない
8. わからない（利用することはないのでわからないも含む）

《6. スポーツ推進委員について》

市では、市民の方がいつでも、どこでも気軽にスポーツに親しむことができるように、スポーツに関する指導や助言などを行うスポーツ推進委員を市内各地域から任命し、いろいろなスポーツ活動に取り組んでいます。現在60名のスポーツ推進委員（旧名称：体育指導委員）が地域スポーツの推進役として、松阪シティマラソンをはじめ、各地域のスポーツ大会などの開催・運営の活動を行っています。

問22. スポーツ推進委員について知っていますか。（は1つ）

1. 知っている 2. 少し知っている 3. 知らない
（名称は聞いたことがある程度）

問23．今後、スポーツ推進委員の活動^(注)について、どのような点に力を入れてほしいとお考えですか。(は2つまで)

- 1．健康や高齢者を対象とした運動・スポーツを充実させてほしい
- 2．地域の子どもや幼児の運動・スポーツ指導を充実させてほしい
- 3．競技スポーツに重点を置いた指導を充実させてほしい
- 4．誰もが参加できる、楽しいスポーツ大会を増やしてほしい
- 5．子どもや幼児が参加できる、楽しいスポーツ大会を増やしてほしい
- 6．各地域におけるスポーツ大会を増やしてほしい
- 7．各地域で行われるスポーツ大会やイベントの情報提供を充実させてほしい
- 8．その他(具体的に)
- 9．特にない

(注)地域のまちづくりの一環として、地域で(例えば、自治会、町内会、子ども会などとスポーツ推進委員が中心となって)、運動やスポーツをテーマに活動を充実させる。

《7．スポーツボランティアについて》

スポーツには、「する」「みる」「支える」の3つの大きな要素があります。そのなかで、様々なスポーツ活動の場において、共にスポーツを楽しみながら、お手伝いをするのが「支える」スポーツです。**地域のスポーツ大会やスポーツイベントの運営などを支える人たちが、スポーツボランティアです。2021年(平成33年)秋には、三重県で国体(第76回国民体育大会)が開催されます。**スポーツを行うには、必ずそれを支える人たちが必要です。

問24．あなたは、この1年間で運動・スポーツに関わるボランティア活動に参加したことがありますか。(は1つ)

- 1．ある
- 2．ない

問25．今後、運動・スポーツに関わるボランティア活動に参加したいと思いませんか。(は1つ)

- 1．参加したい
- 2．機会があれば参加したい
- 3．参加したいとは思わない

【問25で「1．参加したい」又は「2．機会があれば参加したい」と回答された方にお聞きします】

問25-1．今後、行いたいスポーツボランティアは何ですか。(は1つ)

- 1．日常的なスポーツの指導・審判の手伝い
- 2．日常的な団体・クラブの運営や管理の手伝い
- 3．地域のスポーツイベントの企画・運営の手伝い
- 4．全国的なスポーツイベントの運営の手伝い
- 5．自分にできることがあれば、何でも手伝いたい
- 6．その他(具体的に)

《8. 障がい者スポーツについて》

パラリンピックは、競技大会の中で世界最高峰の障がい者スポーツ大会です。オリンピックと同じ年に同じ場所で開催されています。**平成33年秋に、三重県では『全国障害者スポーツ大会』が開催されます。**全国障害者スポーツ大会は毎年、国民体育大会終了後に開催されています。

問26. 障がい者スポーツに関心がありますか。(は1つだけ)

- 1. たいへん関心がある
- 2. 関心がある
- 3. あまり関心がない
- 4. 全く関心がない
- 5. どちらともいえない

問27. 障がいのある人の運動・スポーツの普及・振興のために、主に何が重要であると思いますか。(は2つまで)

- 1. 既存の身近なスポーツ施設のバリアフリー化の推進
- 2. 障がい者優先のスポーツ施設の整備
- 3. 障がいのある人も参加できるスポーツ大会の開催
- 4. 障がい者スポーツの振興のための組織づくり
- 5. 障がい者スポーツを支えるボランティアの養成
- 6. 障がい者スポーツの競技団体への支援
- 7. 障がい者スポーツについて学ぶ機会の提供
- 8. その他(具体的に)
- 9. わからない

《9. 今後のスポーツ振興のために必要な施策について》

問28. 今後、松阪市が“めざすスポーツ”として、どのように考えたらよいと思いますか。(は1つ)

あなたの意見に最も近いものに 印をつけてください。

- 1. 誰もが参加できるスポーツの提供(スポーツ、競技を多くの人に広げる)
- 2. 競技スポーツの充実(個人などの能力向上、心身を鍛える。特に子どもや若年者などに)
- 3. レクリエーションやスポーツイベントの提供(楽しさ、ストレス解消などを目標に)
- 4. 交流、健康づくりを重視したスポーツの提供(交流の場をつくる)
- 5. その他(具体的に)

問29. 今後、スポーツ振興のために、松阪市として特にどのような施策に取り組むべきだと思いますか。(は3つまで)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. スポーツに関する広報活動 | 2. 小中学校の運動部活動の充実 |
| 3. スポーツ施設の整備・充実 | 4. 学校体育施設の開放・整備 |
| 5. 初心者向けスポーツ教室の充実 | 6. スポーツ少年団活動への支援 |
| 7. 総合型地域スポーツクラブの充実 | 8. 指導者の育成 |
| 9. スポーツボランティアの育成 | 10. 各年齢層に合ったスポーツ種目の普及 |
| 11. スポーツ交流の推進 | 12. 全国規模のスポーツ大会の誘致 |
| 13. 各種スポーツ大会やイベントの開催 | |
| 14. 競技力の向上 | |
| 15. その他(具体的に) | |
| 16. 特にない | |

《最後に、現在のスポーツ行政に対する評価について》

問30. 現在の松阪市のスポーツに対する政策について、どのように感じていますか。
(は1つだけ)

1. 満足 2. やや満足 3. ふつう 4. やや不満 5. 不満

運動・スポーツに関してご意見やご要望などがございましたら、ご記入ください。

アンケートは以上です。

ご協力ありがとうございました。

() 同封の返信用封筒に入れて、9月30日(火)までに、郵便ポストに投函してください。(切手は不要です)